

■子ども・子育て支援計画策定のための基礎調査

高石市子ども・子育て支援新制度 に関するニーズ調査報告書

平成26年3月

高 石 市

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の種類・方法	1
3 配布・回収状況	1
4 調査結果の表記に関する留意点	2

II 就学前子ども保護者調査

1 家族構成や保護者の就労状況	3
2 施設やサービスの利用状況	20
3 病児・病後児保育について	48
4 施設やサービスの利用意向	52
5 土曜・休日や長期休暇中の利用希望	56
6 仕事と子育ての両立について	62
7 5歳児の小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所	69
8 一時預かりについて	72
9 地域の子育て支援サービスの利用状況等	77
10 市役所などへの要望	80
11 子どもの生活習慣について	81
12 子育てを支援する生活環境の整備について	85
13 子育てに対する意識について	90

III 小学生保護者調査

1 家族構成や保護者の就労状況	103
2 放課後児童クラブの利用状況と利用意向	113
3 子どもの病気時の対応や一時預かりについて	132
4 仕事と子育ての両立について	139
5 市役所などへの要望	144
6 子どもの生活習慣について	145
7 子どもの普段の過ごし方について	149
8 地域での自然体験などへの参加について	152
9 子育てを支援する生活環境の整備について	157
10 子育てに対する意識について	160

I 調査の概要

1 調査の目的

平成22年3月策定の「高石市次世代育成支援行動計画（後期）」の計画期間が平成27年3月末で終了することから、新たに「高石市こども・子育て支援計画」を策定するため、その基礎資料として活用することを目的に、アンケート調査を実施しました。

2 調査の種類・方法

調査の種類・方法については、次表のとおりです。

■調査対象者及び調査方法等

項 目	就学前子ども保護者調査	小学生保護者調査
調査対象者	市内在住の就学前の子どものいるすべての世帯（保護者回答）	市内在住の小学生のいる世帯（保護者回答）で、各小学校の各学年1クラスを対象
調 査 方 法	郵送により配布・回収	小学校を通じて配布・回収
調 査 期 間	平成25年12月13日（金）～平成25年12月25（水）を基本とし、1月下旬まで回収	学校を通しては、平成25年12月13日（金）～平成25年12月20（金）を基本とし、1月下旬まで回収

3 配布・回収状況

両調査の配布・回収状況は、次表のとおりですが、有効回収率については、前回の「次世代育成支援に関するニーズ調査」より、就学前子ども保護者調査では23.3ポイント低く、小学生保護者調査では24.7イント高くなっています。

■配布・回収状況

調査名	配布数 （件）	有効回収数 （件）	有効回収率 （％）	参考 前回回収率
就学前子ども保護者調査	2,498	912	36.5	59.8
小学生保護者調査	1,320	1,107	83.9	59.2

4 調査結果の表記に関する留意点

- ① 図表中のNとは、質問に対する無回答を含む回答者総数のことです。ただし、就学前子ども保護者調査では、就学前の子どもがいるすべての世帯を対象とし、幼稚園や保育所などのサービス利用など、個別に聞く質問は子ども数で集計しています。その場合は、図表のタイトルに「(子ども数による集計)」と記載しています。これ以外は、世帯単位の集計としています。
- ② 集計は、小数点第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- ③ 回答の比率(%)は、該当質問の回答者数を基数として算出しています。したがって、複数回答の場合はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。
- ④ ある質問の「特定の回答」を選んだ人のみが答える質問は「限定質問」であり、その場合の回答者数は特定の回答者数となります。
- ⑤ 就学前子ども保護者調査の結果を「就学前」と表し、小学生保護者調査の結果を「小学生」としています。
- ⑥ クロス集計のグラフは、例えば、子どもの年齢別の場合、子どもの年齢が無回答の場合は省略しています。
- ⑦ 選択肢は「 」で表していますが、2つ以上を合わせた場合、【 】で表しています。
- ⑧ 前回調査とあるのは、平成21年2月から3月にかけて実施した「次世代育成支援に関するニーズ調査」のことです。

Ⅱ 就学前子ども保護者調査

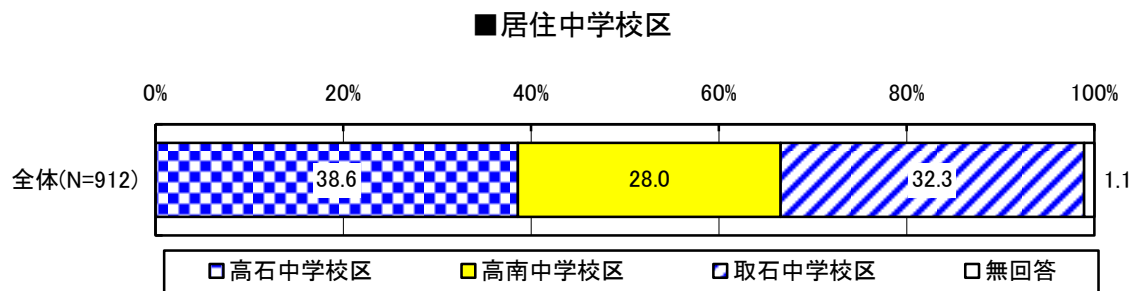
1 家族構成や保護者の就労状況

(1) 子どもと家族の状況

① 居住中学校区

問1 お住まいの地域の中学校区名はどちらですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

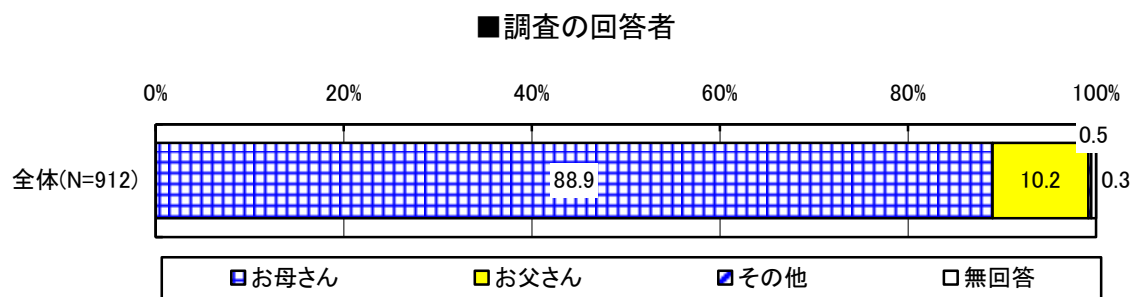
- 居住中学校区の構成は、「高石中学校区」が38.6%で最も高く、「取石中学校区」が32.3%、「高南中学校区」が28.0%となっています。



② 調査の回答者

問2 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係で、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 調査の回答者は、「お母さん」が88.9%と大部分を占め、「お父さん」が10.2%、「その他」が0.5%となっています。

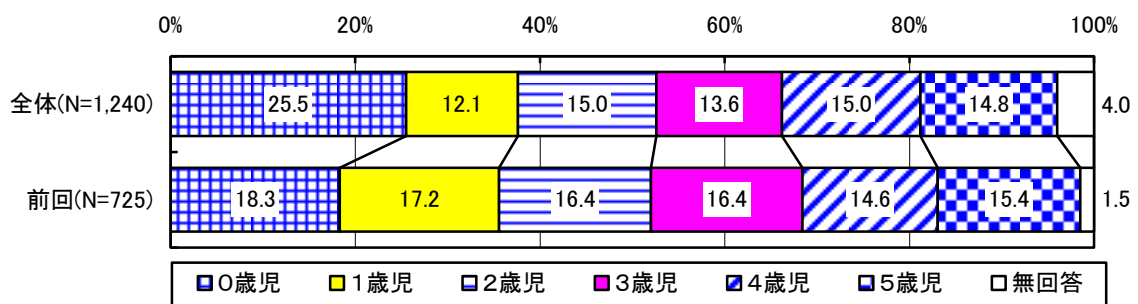


③ 子どもの年齢構成

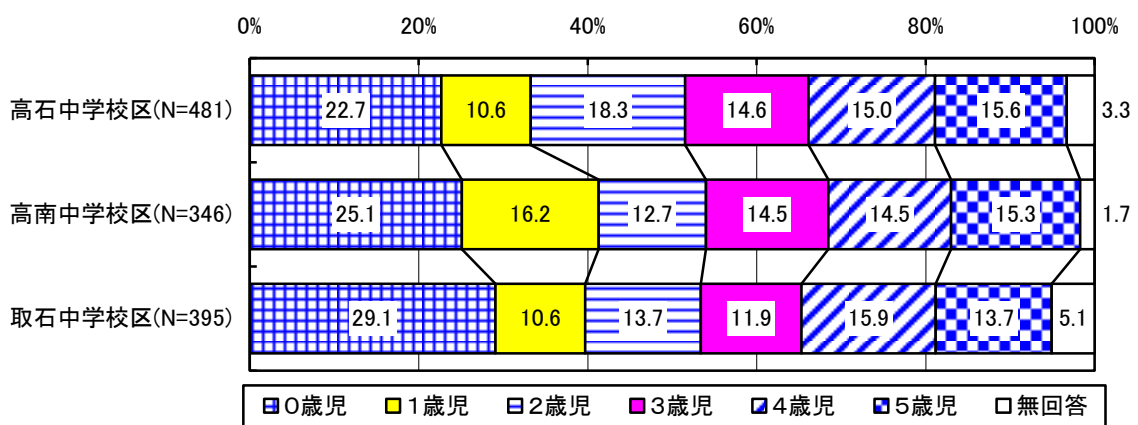
問3 未就学のすべてのお子さんの生年月について、「平成」か「西暦」に○をつけ、
 () 内に数字をご記入ください。ふたごのお子さんの場合も、別々にご記入ください。

- 子どもの年齢構成では、「0歳児」が25.5%で最も高く、前回調査に比べて7.2ポイント高くなっています。「2歳児」及び「4歳児」がそれぞれ15.0%、「5歳児」が14.8%、「3歳児」が13.6%、「1歳児」が12.1%で最も低いものの、「0歳児」以外の年齢は大差ありません。なお、各年齢は平成25年4月1日時点を基準とし、それ以降に生まれた子どもは「0歳」として区別しています。これは就学前の子どもを小学生の学年のように分類するためです。ただし、ここでの年齢構成では、前回調査と比較するため、「0歳」と「0歳児」を合算して表記しています。
- 中学校区別では、「0歳児」の率はどの校区でも最も高くなっていますが、特に取石中学校区では29.1%と高くなっています。

■ 子どもの年齢構成（子ども数による集計）／前回調査との比較



■ 中学校区別 子どもの年齢構成



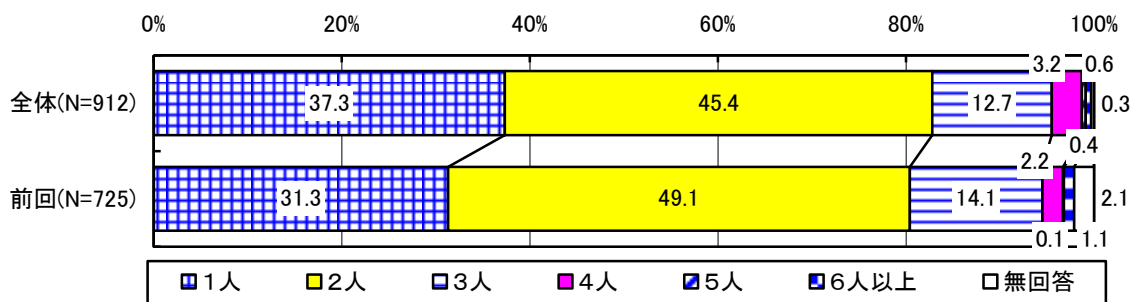
注) 0歳児は「0歳」と「0歳児」の合算

④ 子どもの人数

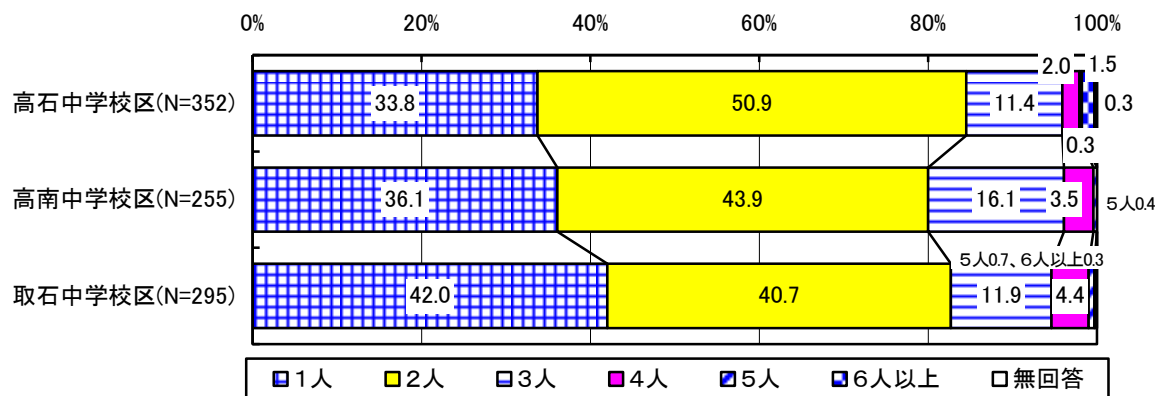
問4 現在、お子さんは何人ですか（年齢は問いません）。また、希望として、子どもが何人ほしいですか。

- 現在の子どもの人数は、「2人」が45.4%で最も高く、次いで「1人」が37.3%、「3人」が12.7%、【4人以上】が合わせて4.2%となっています。最大が8人、平均は1.86人となっています。
- 前回調査に比べて「1人」の率が高くなり、「2人」及び「3人」の率が低下しています。しかし、【4人以上】の率は、多少高くなっています。
- 中学校区別では、0歳児の率が高かった取石中学校区では、「1人」の率が42.0%と他校区に比べて高く、一方、【4人以上】の率も5.4%で、高石中学校区の3.8%や高南中学校区の3.9%より若干高くなっています。
- 同居の家族構成による世帯類型別では、二世帯は三世帯等に比べて「2人」の率が高く、47.0%となっています。一方、三世帯等は「3人」及び【4人以上】の率が二世帯に比べて高くなっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、回答数の少ないパート等共働きや共に未就労の家庭を除くと、「1人」の率はひとり親家庭が高く、「2人」は専業主婦（主夫）家庭が、「3人」はフルタイム・パート等共働き家庭が最も高くなっています。また、【4人以上】は、ひとり親家庭が7.0%、専業主婦（主夫）家庭が4.8%、アルバイト・パート等共働き家庭が3.4%、フルタイム共働き家庭が2.6%となっています。

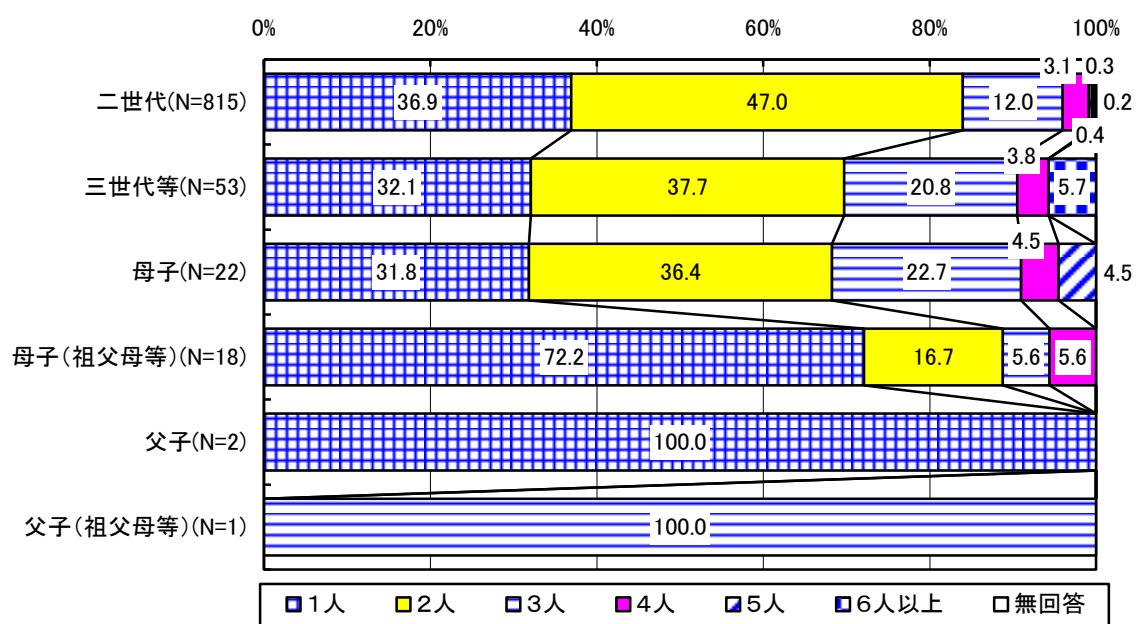
■ 現在の子どもの人数／前回調査との比較



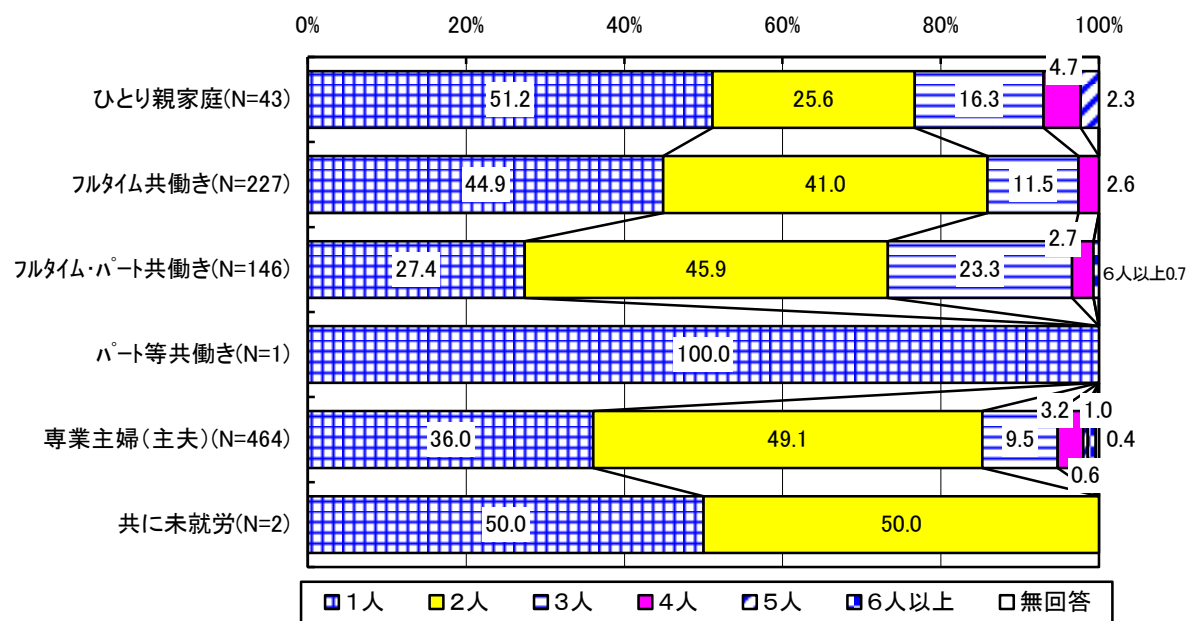
■ 中学校区別 子どもの人数



■世帯類型別 現在の子どもの人数

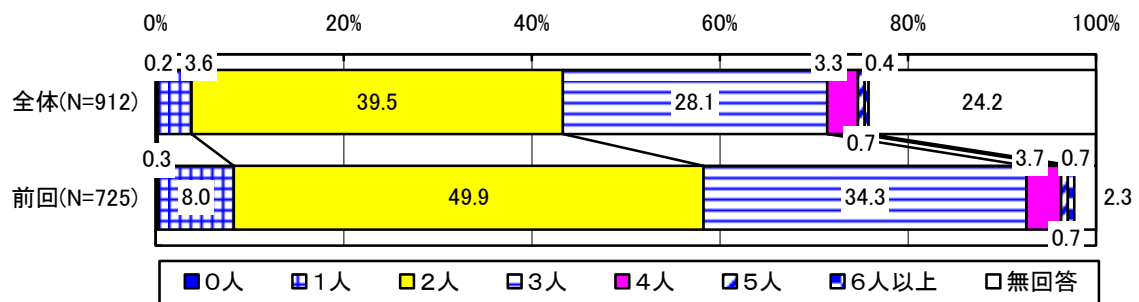


■家庭類型別 現在の子どもの人数

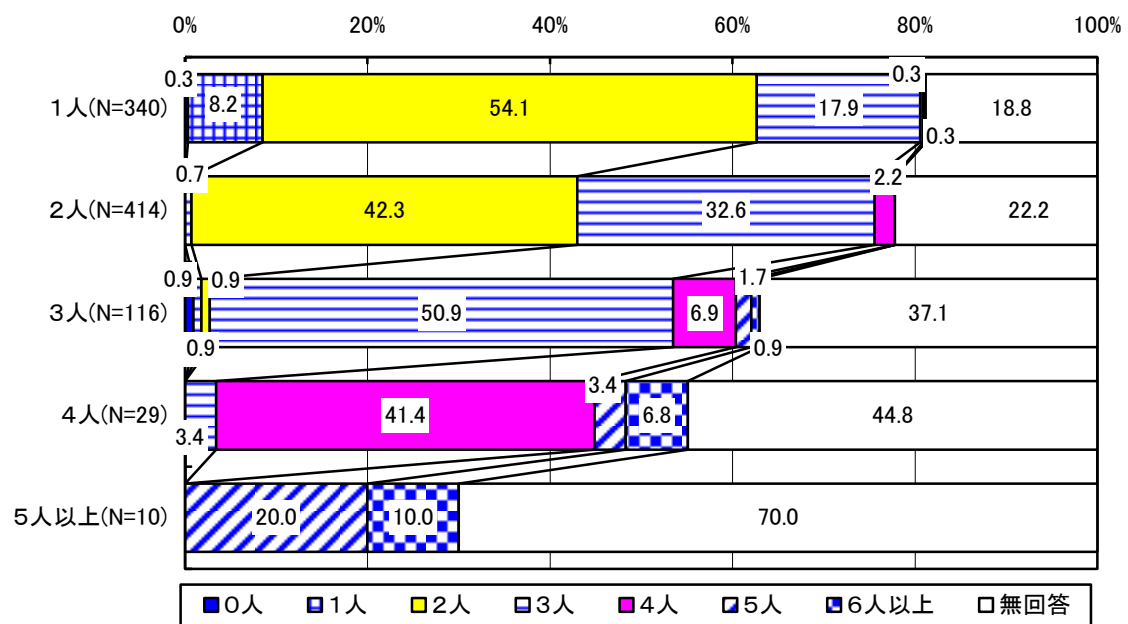


- 希望の子どもの人数は、「2人」の率が39.5%で最も高く、「3人」が28.1%などで、前回調査に比べて無回答が多いこともあり、「1人」及び「2人」「3人」の率がそれぞれ低下しています。しかし、【4人以上】の率は、同程度となっています。
- 現在の子どもの人数別では、現在1人及び2人の人では、希望は「2人」が最も高く、それぞれ54.1%、42.3%となっています。現在3人の人では、「3人」が、4人的人是「4人」というように、現在の人数を挙げる率が最も高くなっています。また、現在2人で【3人以上】は34.8%、3人で【4人以上】は9.5%、4人で【5人以上】は10.2%、5人以上で【6人以上】は10.0%となっています。

■希望の子どもの人数／前回調査との比較



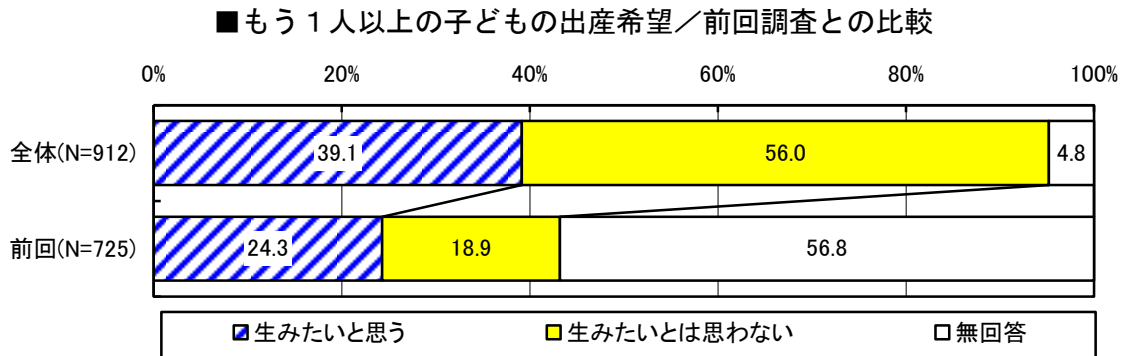
■現在の子どもの人数別 希望の子どもの人数



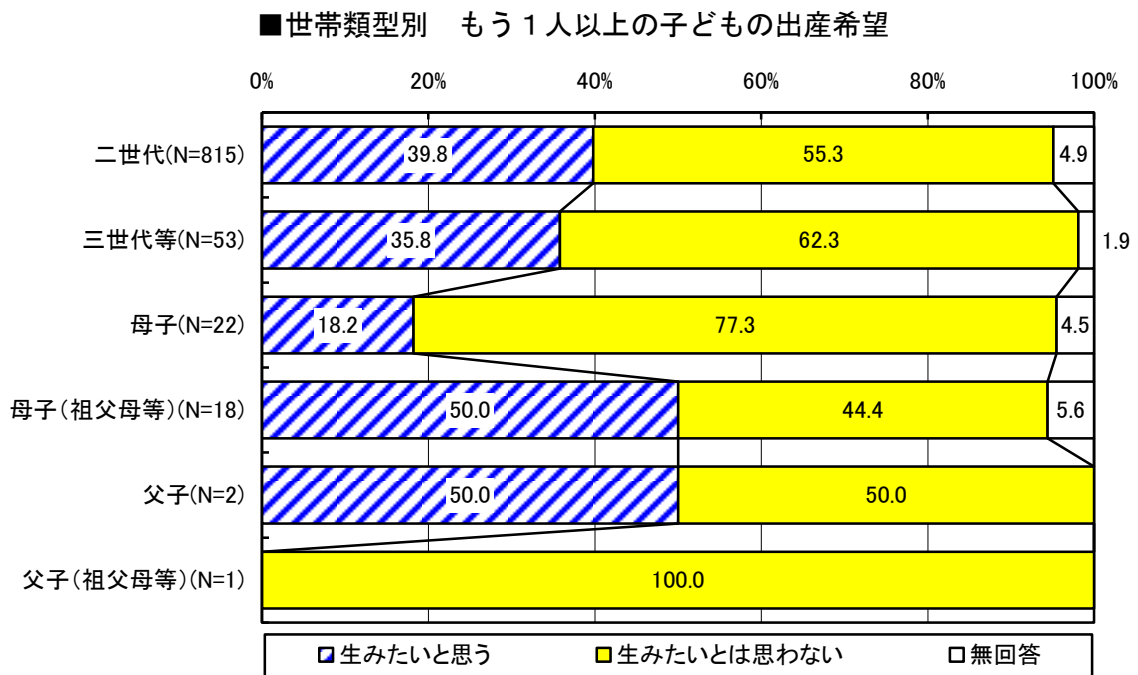
⑤ もう1人以上の子どもの出産希望

問5 もう1人以上の子どもの生みたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

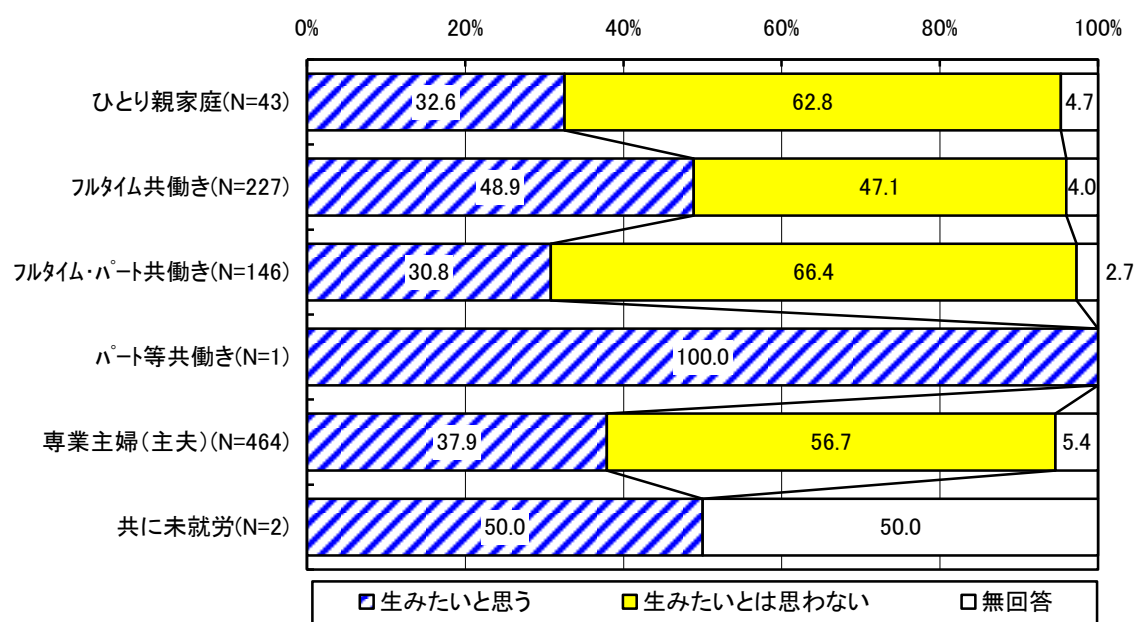
- もう1人以上の子どもの「生みたいと思う」率は39.1%で、前回調査に比べて14.8ポイント高くなっています。
- 同居家族の世帯類型別では、「生みたいと思う」率は、二世代のほうが三世代等よりも若干高くなっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、回答数の少ないパート等共働きや共に未就労の家庭を除くと、「生みたいと思う」率はフルタイム共働き家庭が48.9%で最も高くなっています。
- 現在の子どもの人数別では、現在1人の人は「生みたいと思う」率が70.9%となっていて、2人の人は24.2%、3人の人は8.6%、4人の人は13.8%、5人以上では20.0%となっています。



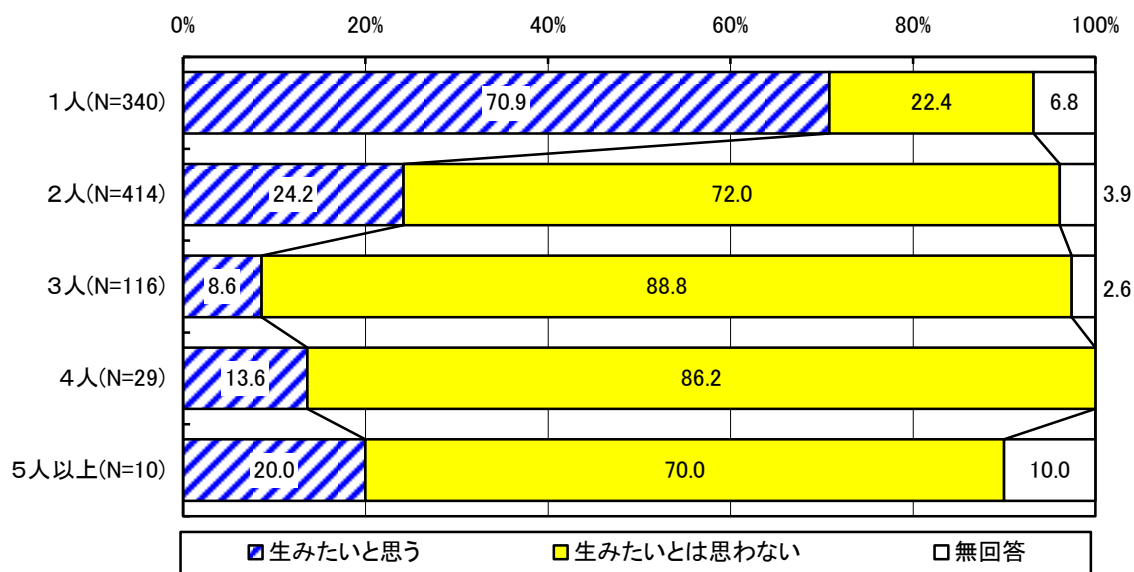
注) 前回の選択肢は「生み育てたいと思う」と「生み育てたいとは思わない」



■家庭類型別 もう1人以上の子どもの出産希望



■現在の子ども的人数別 もう1人以上の子どもの出産希望

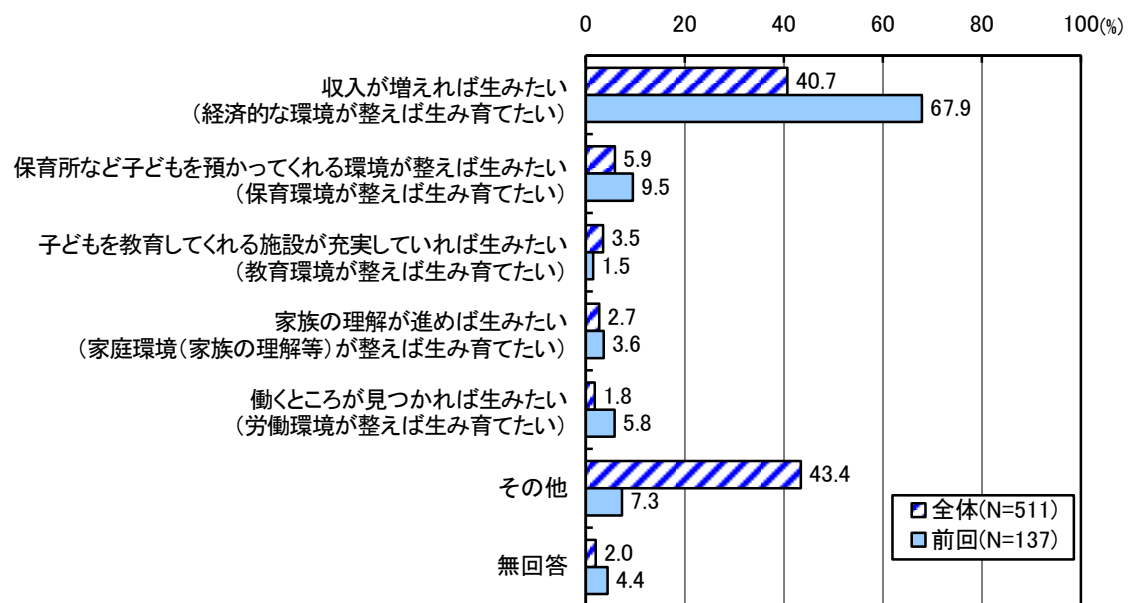


⑥ 出産したいと思える環境

問5-1 問5で「2. 生みたいとは思わない」を選択した方におうかがいします。どのような環境が整えばもう1人以上の子どもを生みたいと思いますか。もっともあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- もう1人以上の子どもを生みたいと思える環境としては、「その他」が43.4%、「収入が増えれば生みたい」が40.7%などとなっています。「その他」の内容は、「親の年齢の問題で難しい」や「希望通りの人数の子どもがいるから十分」「母親の気力・体力や病気があって難しい」などが多く、どちらかというと難しい条件を挙げています。

■ 出産したいと思える環境／前回調査との比較



注) ()内は前回の選択肢

■ 世帯類型別 出産したいと思える環境

	回答数	保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい	収入が増えれば生みたい	働くところが見つかれば生みたい	子どもを教育してくれる施設が充実していれば生みたい	家族の理解が進めば生みたい	その他	無回答
二世帯	451	6.2	41.5	2.0	3.8	2.4	42.6	1.6
三世帯等	33	3.0	33.3	—	3.0	3.0	54.5	3.0
母子	17	—	35.3	—	—	5.9	52.9	5.9
母子(祖父母等)	8	12.5	50.0	—	—	12.5	12.5	12.5

注) 網掛け 第1位 第2位

注) 父子(N=1)と父子(祖父母等)(N=1)は「その他」に各1件

■家庭類型別 出産したいと思える環境

	回 答 数	保育所など子どもを預かってくれる環境が整えば生みたい	収入が増えれば生みたい	働くところが見つかれば生みたい	子どもを教育してくれる施設が充実していれば生みたい	家族の理解が進めば生みたい	その他	無回答
ひとり親家庭	27	3.7	37.0	—	—	7.4	44.4	7.4
フルタイム共働き	107	7.5	37.4	0.9	6.5	2.8	43.0	1.9
フルタイム・パート等共働き	97	4.1	42.3	2.1	3.1	3.1	42.3	3.1
専業主婦(主夫)	263	6.1	42.2	2.3	2.7	2.3	43.7	0.8

注) 網掛け 第1位 第2位

注) パート等共働きと共に未就労は該当なし

【その他の内容】

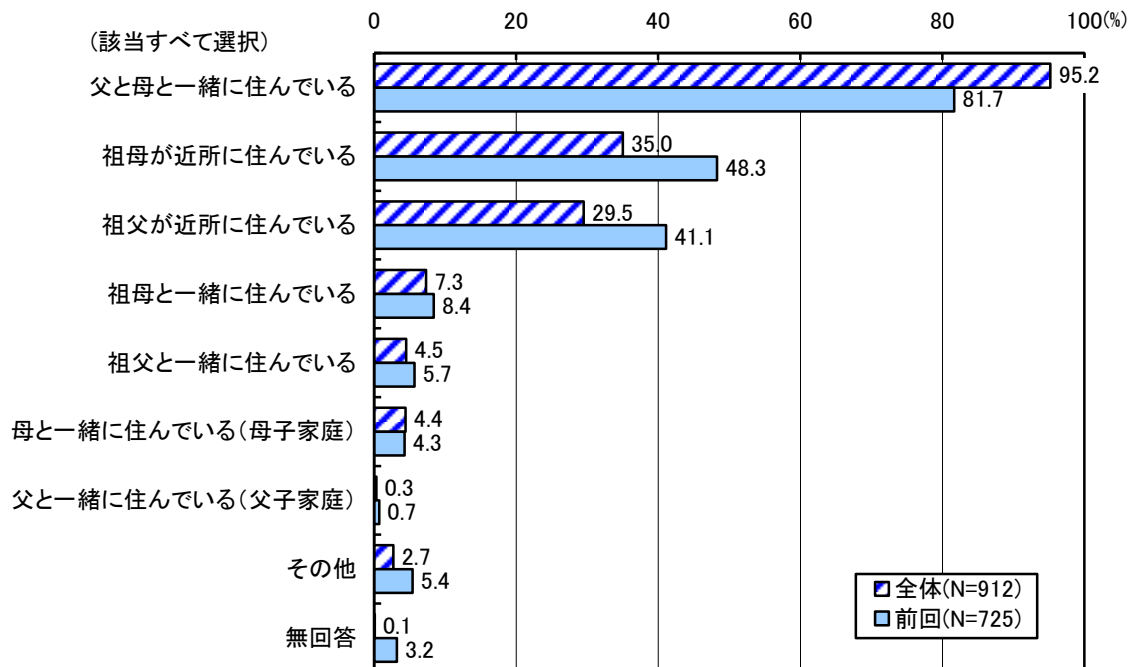
- 親の年齢の問題で難しい。(73件)
- 希望通りの人数の子どもがいるから十分。(53件)
- 母親の気力・体力や病気があって難しい。(19件)
- 生みたいと思わない。(8件)
- 乳幼児医療の延長や補助金等、公的な環境整備。(5件)
- 母子家庭。(5件)
- 高石市は子育て環境が悪く、生み育てたいと思わない。(2件)
- 仕事に融通がきけば生みたい。
- 育休をまた取得するのは気がひける。休みづらい。
- 安心して子どもを育てていける社会になれば(周りの大人が)。
- 公園がきれいになり、子どもを外で遊ばせられる環境があれば。
- 子育てによる妻の負担を減らすことができるように、自分が子育てにかかわれるなら。
- 今は3人目を出産したばかりだから、考えられない。
- 1人目の子が手がかからなくなった時に再度考える。
- 今いる子どもが大きくなれば。

⑦ 同居の世帯類型

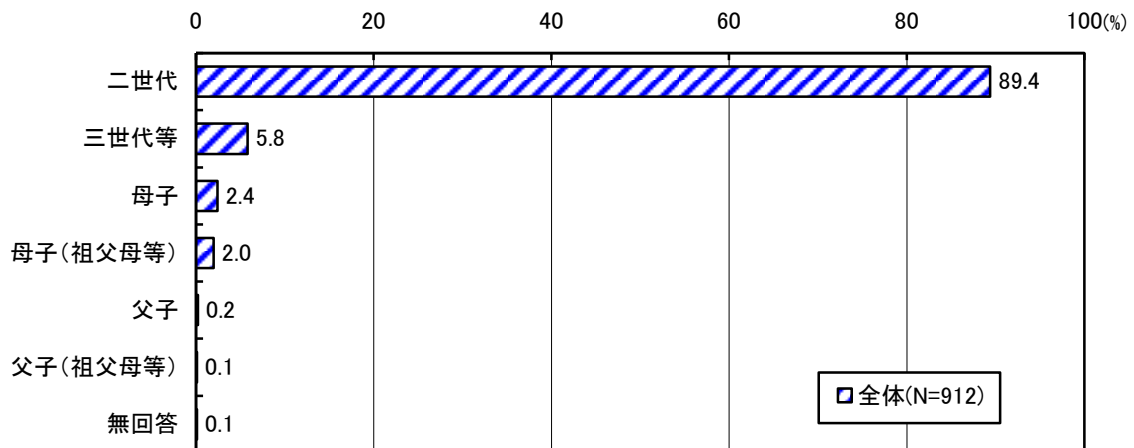
問6 未就学のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はお子さんからみた関係です。

- 同居の状況は、「父と母と一緒に住んでいる」が95.2%で、前回調査の81.7%より13.5ポイント高くなっています。「祖母と一緒に住んでいる」や「祖父と一緒に住んでいる」はそれぞれ7.3%、4.5%で、10%を割っています。また、「祖母が近所に住んでいる」や「祖父が近所に住んでいる」は、それぞれ35.0%、29.5%で、いずれも前回調査より低下しています。
- 同居の家族を類型化すると、両親と子どもの「二世帯」が89.4%、両親と祖父母等との同居の「三世帯等」が5.8%となっています。また、ひとり親家庭は、「母子家庭」が2.4%、祖父母等との同居の「母子家庭」が2.0%、「父子家庭」が0.2%、祖父母等との同居の「父子家庭」が0.1%で、合わせて4.7%となっています。
- 中学校区別の同居世帯類型では、「三世帯等」の率は高南中学校区が6.7%、取石中学校区が5.8%、高石中学校区が5.1%となっていて、各校区で大差はありません。また、「ひとり親」世帯の率は、取石中学校区が6.8%、高南中学校区が6.3%、高石中学校区が2.0%で、高石中学校区が他の2校区より低くなっています。

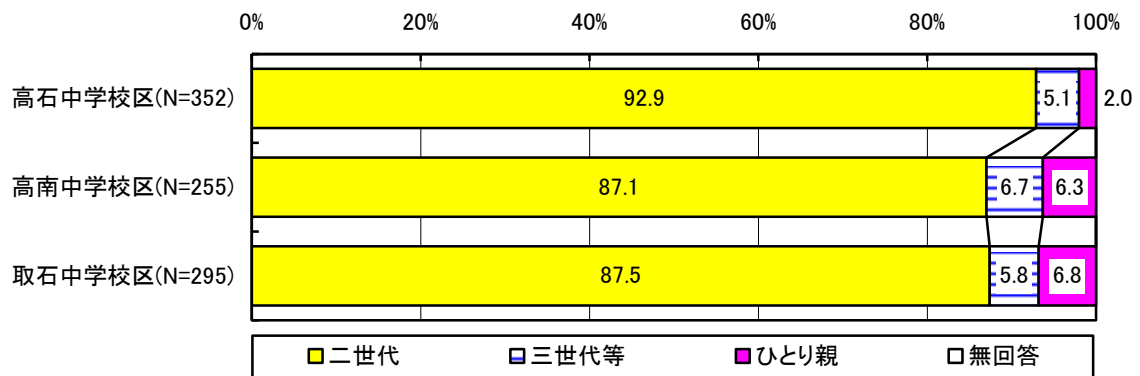
■同居・近居状況／前回調査との比較



■同居の世帯類型



■中学校区別 同居世帯類型

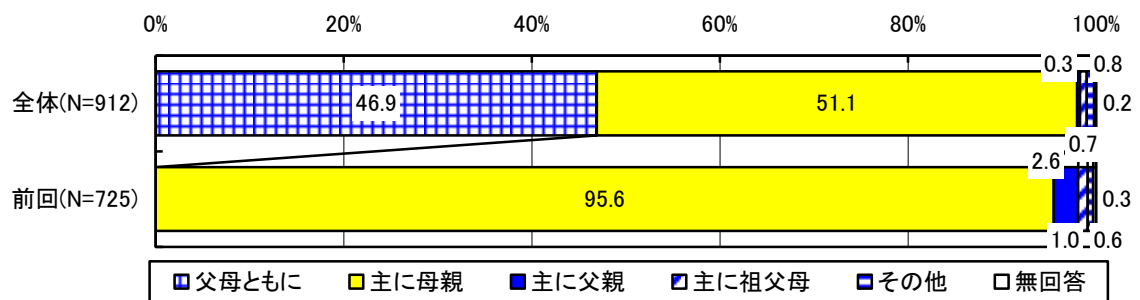


⑧ 子育てや教育を主に行っている方

問7 未就学のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。

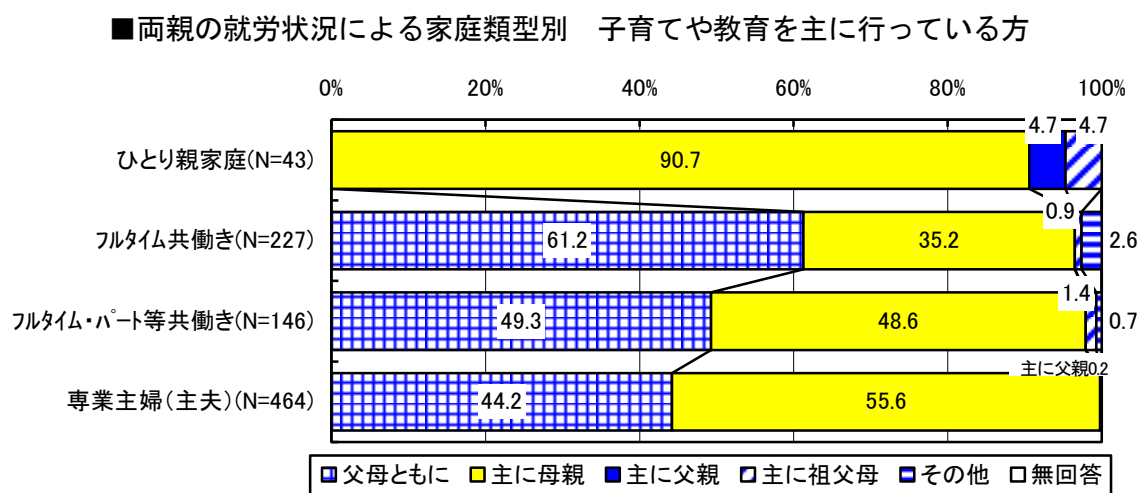
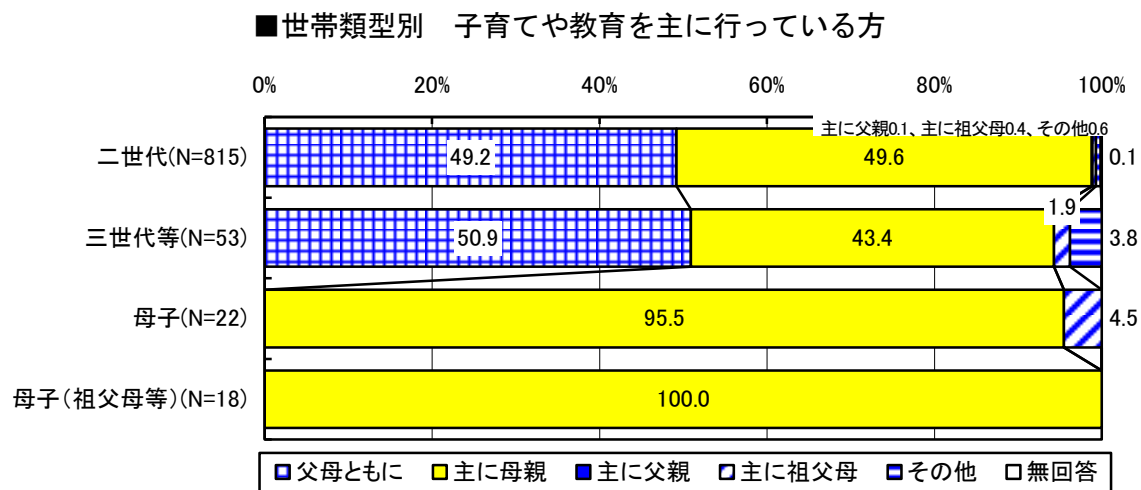
- 未就学の子どもの子育てや教育を主に行っている人は、「父母ともに」が46.9%で、「主に母親」の51.1%を若干下回っています。

■子育てや教育を主に行っている方／前回調査との比較



注) 前回は、質問が子どもの身の回りの世話などを主に行っている方で、また、「父母ともに」の選択肢がありません。

- 世帯類型別では、「父母ともに」は二世帯及び三世帯ではおよそ50%となっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、「父母ともに」は、フルタイム共働き家庭が61.2%と高く、専業主婦（主夫）家庭は44.2%で、「主に母親」が55.6%と半数を超えています。



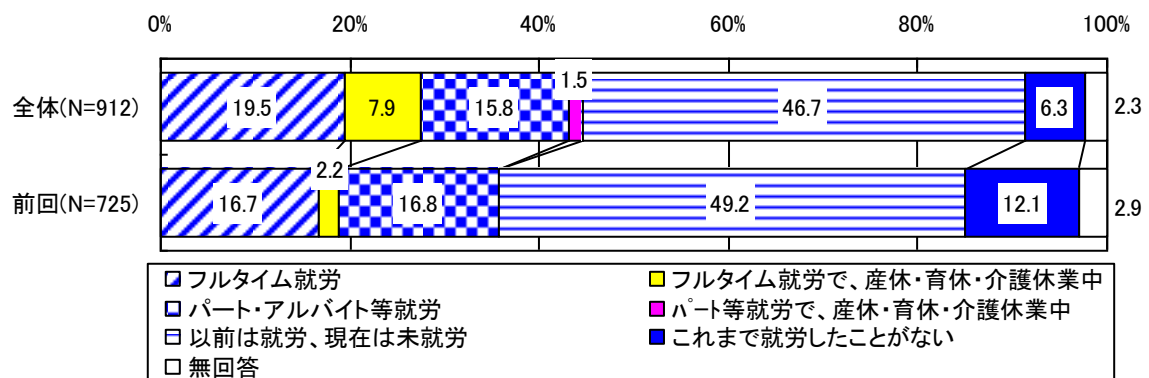
(2) 母親、父親の就労状況

① 母親の就労状況

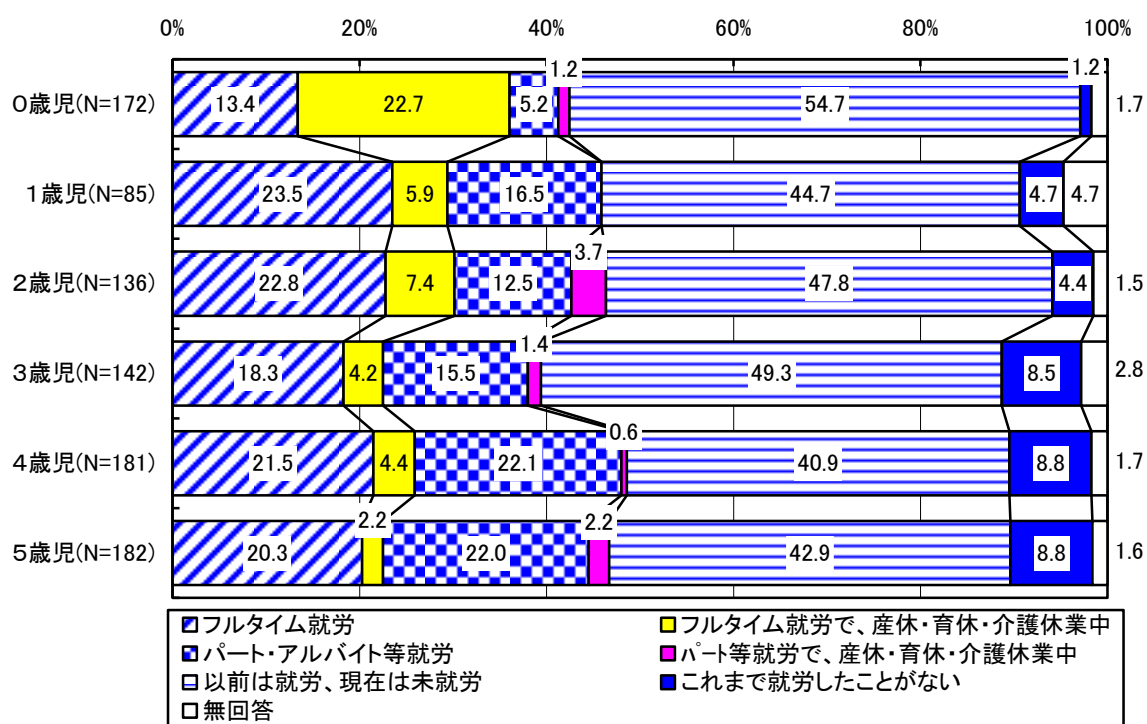
問8 未就学のお子さんの「母親、父親」の働いている状況についておうかがいします。
自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。あてはまる番号に1つだけ○をつけて
ください。また、父子家庭、母子家庭の場合は、母親または父親のみお答えください。

- 母親の就労状況では、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中ではない」が19.5%、「フルタイム就労で産休・育休・介護休業中である」が7.9%で、合わせて【フルタイム就労】が27.4%で、前回調査より8.5ポイント高くなっています。また、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中ではない」が15.8%、「パート・アルバイト等就労で産休・育休・介護休業中である」が1.5%で、合わせて【パート・アルバイト等就労】が17.3%で、前回調査の16.8%と同程度となっています。
- 一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が46.7%、「これまで就労したことがない」が6.3%で、合わせて【現在、未就労】が53.0%となっていて、前回調査の61.3%より低下しています。
- 一番上の子どもの年齢別では、【フルタイム就労】と【パート・アルバイト等就労】を合わせた就労率は、0歳児及び3歳児を除くと各年齢で大差なく、50%弱となっています。0歳児は42.5%、3歳児は39.4%で、3歳児が最も低くなっています。

■ 母親の就労状況／前回調査との比較



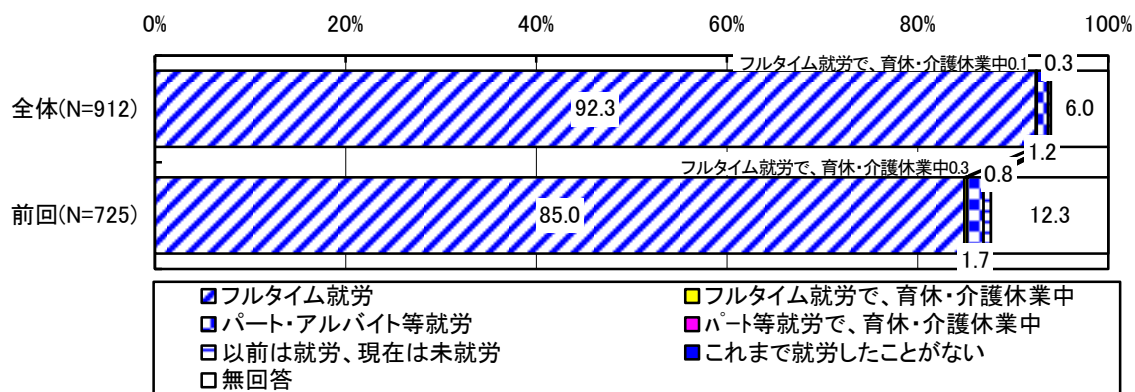
■一番上の子どもの年齢別 母親の就労状況



② 父親の就労状況

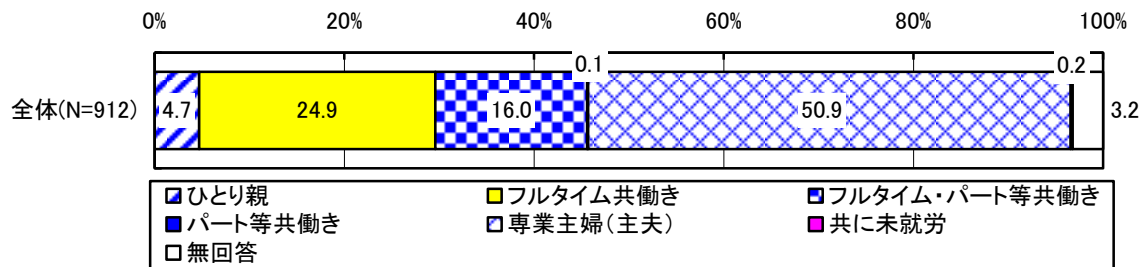
- 父親の就労状況では、「フルタイム就労で育休・介護休業中ではない」が92.3%で、前回調査より7.3ポイント高くなっています。

■父親の就労状況／前回調査との比較



- 親の就労状況による家庭類型では、「専業主婦（主夫）」が50.9%と半数を占め、「フルタイム共働き」が24.9%、「フルタイム・パート等共働き」が16.0%で、共働き家庭はフルタイムがフルタイム・パート等よりも高くなっています。

■ 母親と父親の就労状況による家庭類型



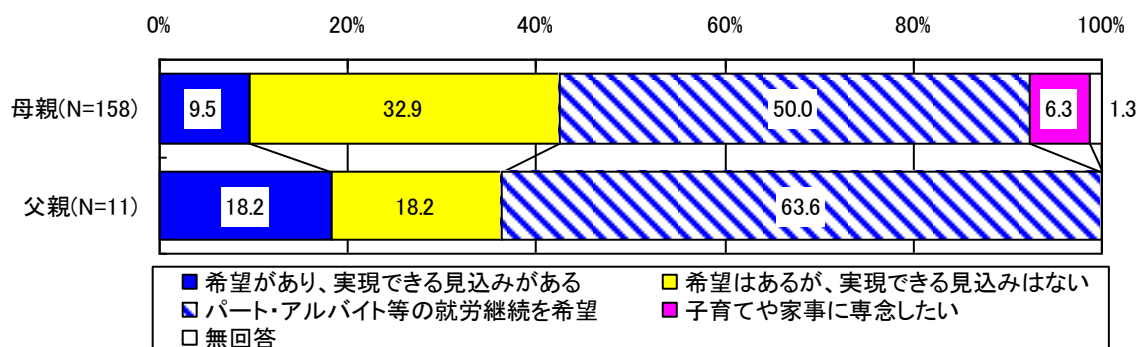
(3) 母親、父親の就労意向

① パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望

問9 問9で母親、父親のどちらか、または両方が「3.」または「4.」を選択した、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含みます）におうかがいします。フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。それ以外の方は問10へお進みください。

- 母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.0%で最も高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.5%などとなっています。
- 父親は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が63.6%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」及び「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ18.2%となっています。

■ パート・アルバイト等就労者のフルタイムへの転換希望



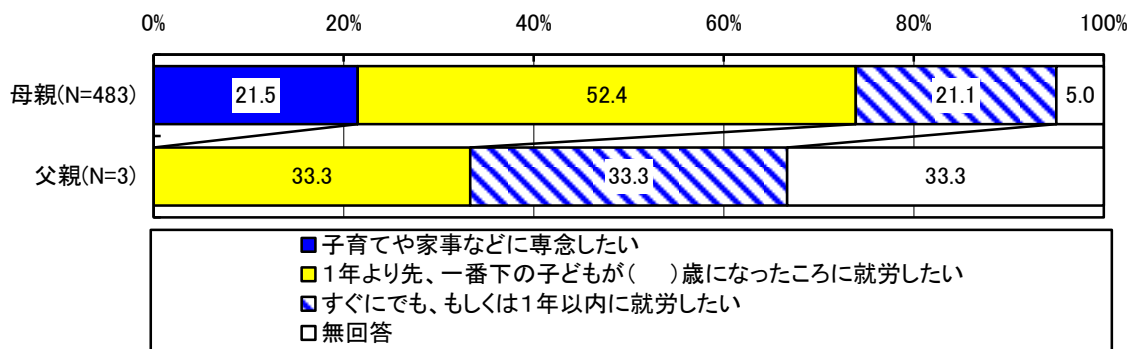
② 未就労者の就労意向

問10 問8で母親、父親のどちらか、または両方が「5.」または「6.」を選択した、仕事をお持ちでない方におうかがいします。働きたいという希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、() 内に具体的な数字を入れてください。それ以外の方は問11へお進みください。

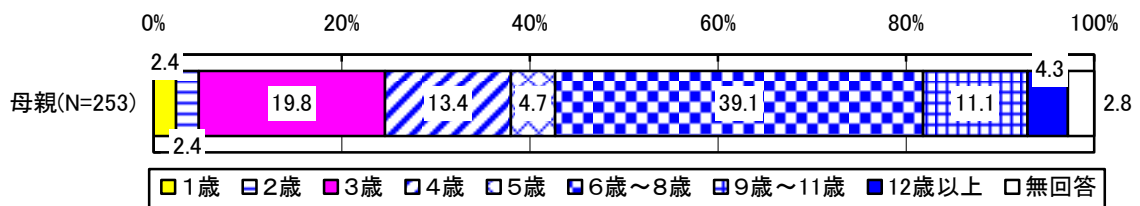
(1) 母親 (2) 父親

- 現在、未就労の人の就労意向では、母親の場合、「1年より先、一番下の子どもが() 歳になったところに就労したい」が52.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が21.1%、「子育てや家事などに専念したい」が21.5%で、就労希望が合わせて73.5%と高いものになっています。
- 「1年より先、一番下の子どもが() 歳になったところに就労したい」を選択した母親の場合、一番下の子どもの年齢は、「6歳～8歳」が39.1%で最も高く、次いで「3歳」が19.8%、「4歳」が13.4%、「9歳～11歳」が11.1%などで、就学前が合わせて42.7%、就学後が54.5%となっています。

■未就労者の就労意向



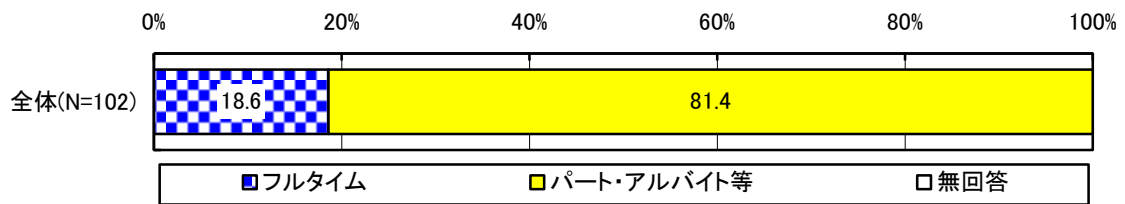
■就労を希望する場合の一番下の子どもの年齢



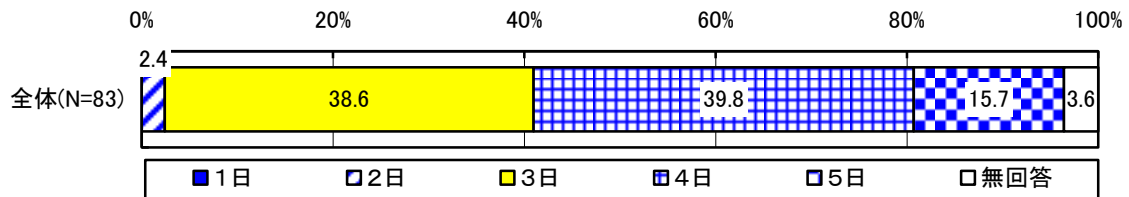
注) 父親は該当なし

- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した母親の希望する就労形態は、「フルタイム」が18.6%、「パート・アルバイト等」が81.4%となっています。
- 「パート・アルバイト等」を希望する場合、1週当たりの就労日数は、「4日」の39.8%と「3日」の38.6%が同程度で、「5日」は15.7%となっています。
- 1日当たりの就労時間は、「4時間台」の33.7%と「5時間台」の32.5%が同程度となっています。

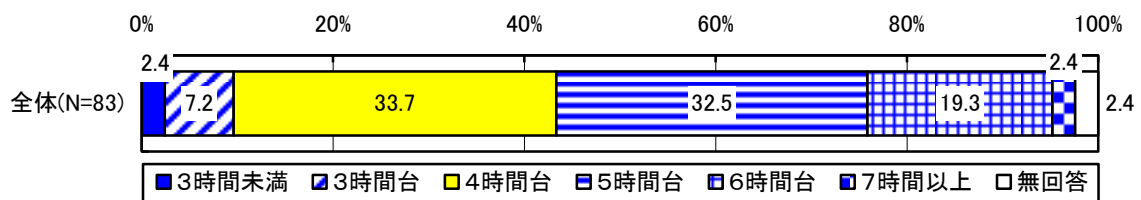
■ 母親ですぐにでも就労を希望する場合の就労形態



■ 1週当たりの就労日数



■ 1日当たりの就労時間

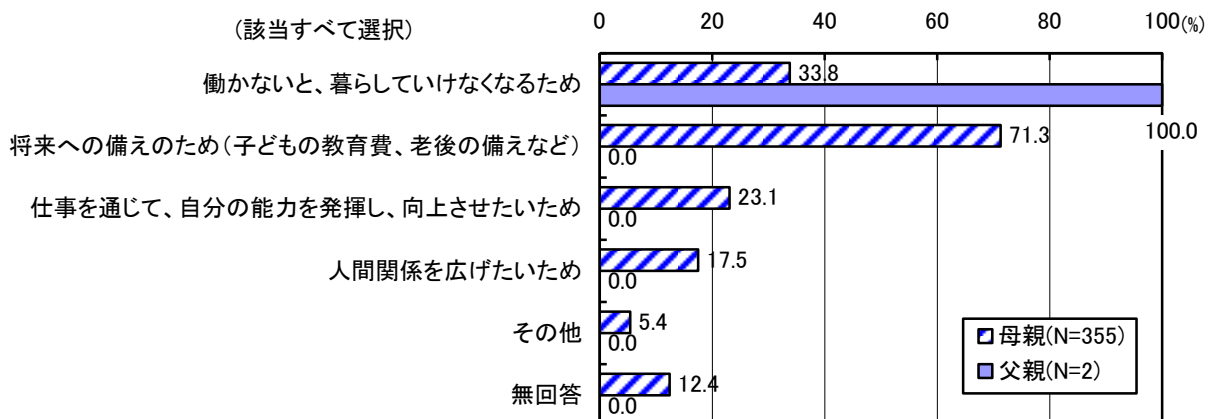


③ 就労希望者の働きたい理由

問10-1 問10の(1) 母親または(2) 父親で「2.」「3.」を選択した、今後働きたいと考えておられる方におうかがいします。働きたい理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 働きたい理由の第1位は、母親が「将来への備えのため」(71.3%)、父親が「働かないと、暮らしていけなくなる」(100.0%)となっています。

■ 就労希望者の働きたい理由



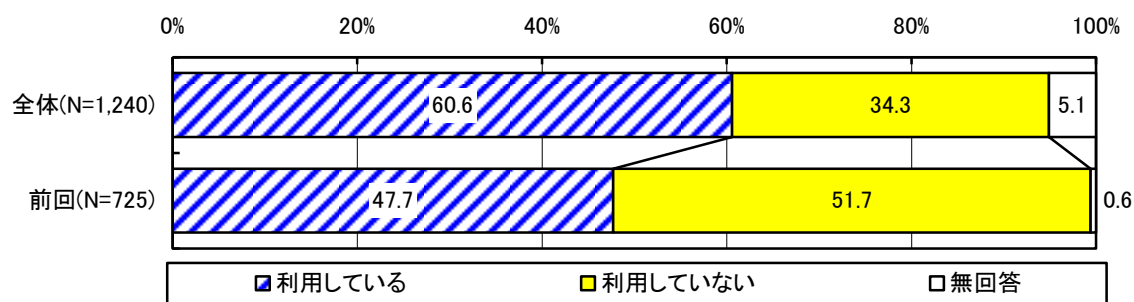
2 施設やサービスの利用状況

① 施設やサービスの利用状況

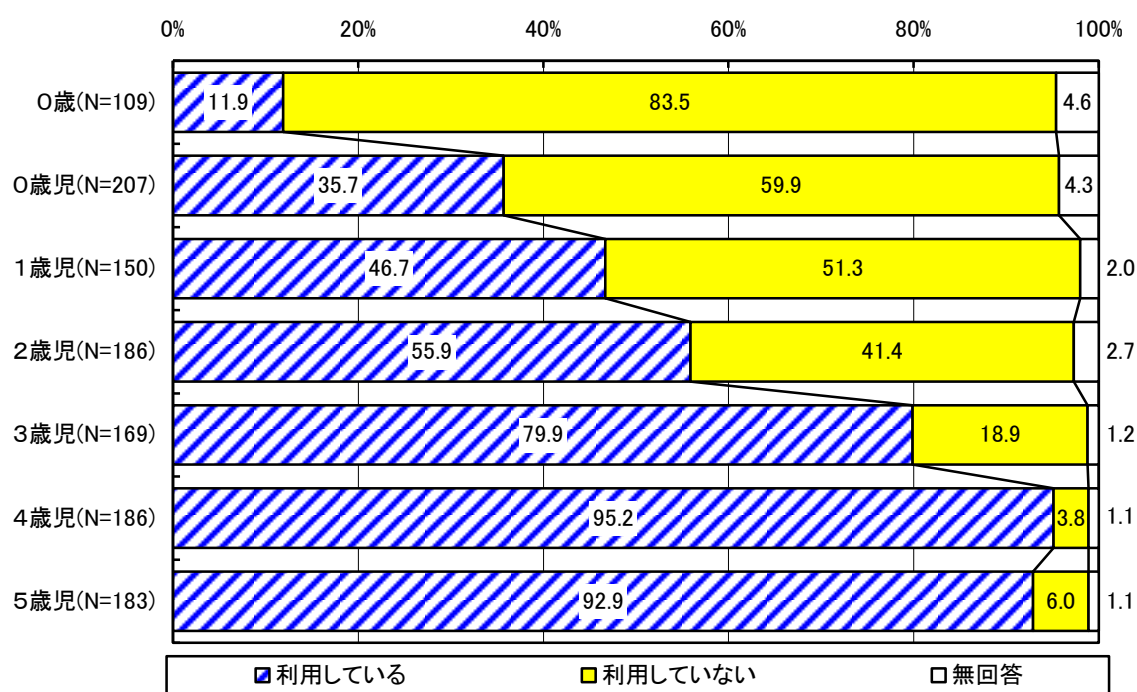
問11 平日（月曜日から金曜日）に、幼稚園や保育所などの子どもを預かる施設やサービスを「定期的に」利用されていますか。未就学のお子さん一人ひとりについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 「利用している」は全体が60.6%で、前回調査は世帯単位での集計のため、単純に比較できませんが、利用率は前回調査の47.7%より高くなっています。
- 子どもの年齢別では、年齢が上がるにつれ、利用率は高くなっていきますが、4歳児が95.2%で最も高くなっています。
- 中学校区別の利用率では、高石市中学校区が62.2%、高南中学校区が60.1%、取石中学校区が58.7%で、各中学校区で大差ありません。

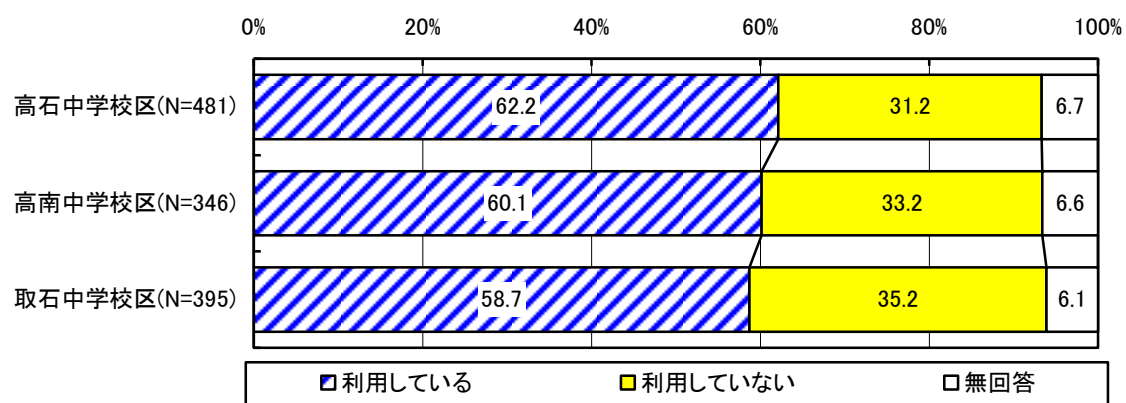
■施設やサービスの利用状況（子ども数による集計）／前回調査との比較



■子どもの年齢別 施設やサービスの利用状況（子ども数による集計）



■ 中学校区別 施設やサービスの利用状況（子ども数による集計）

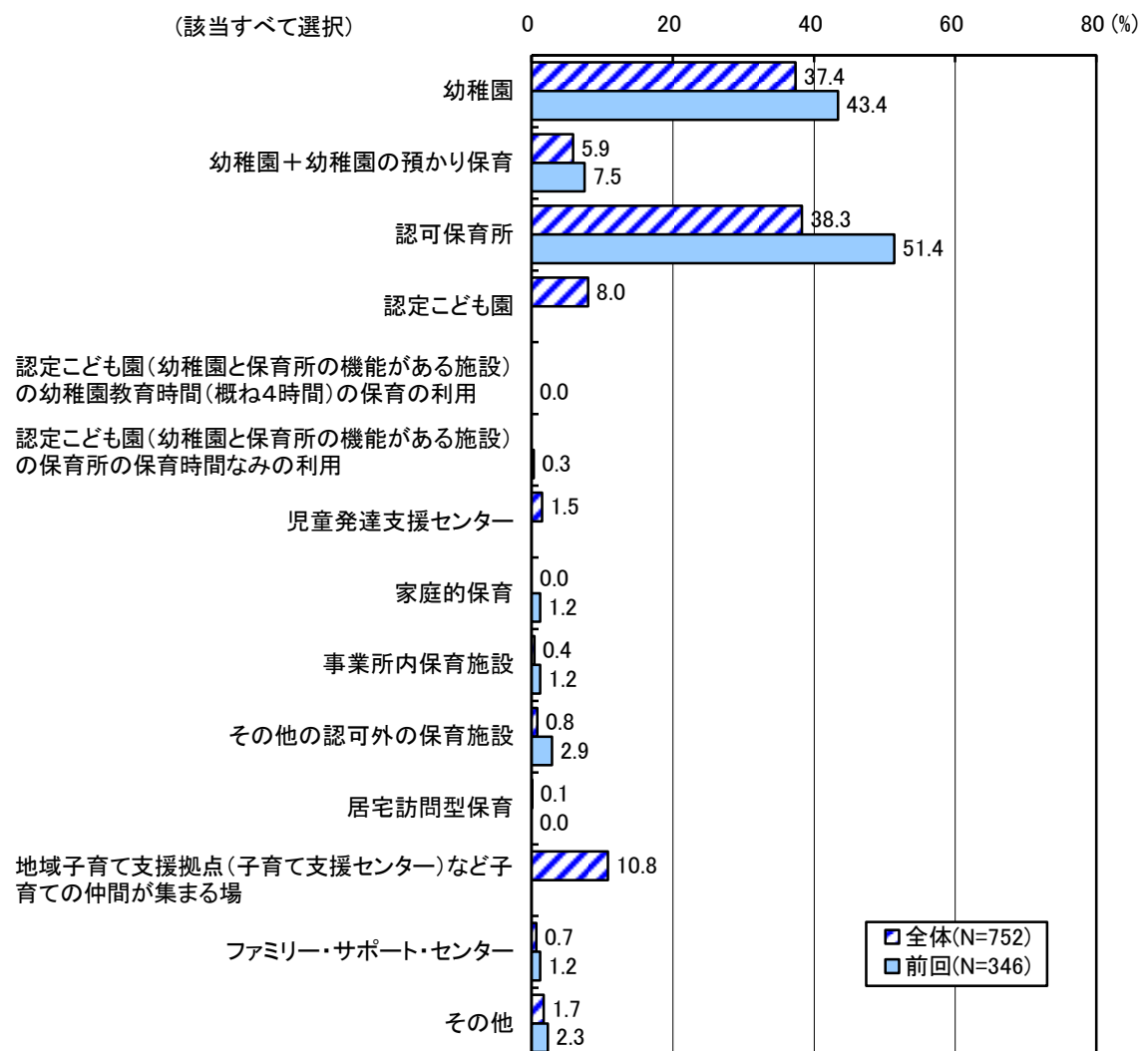


② 現在利用している施設やサービス

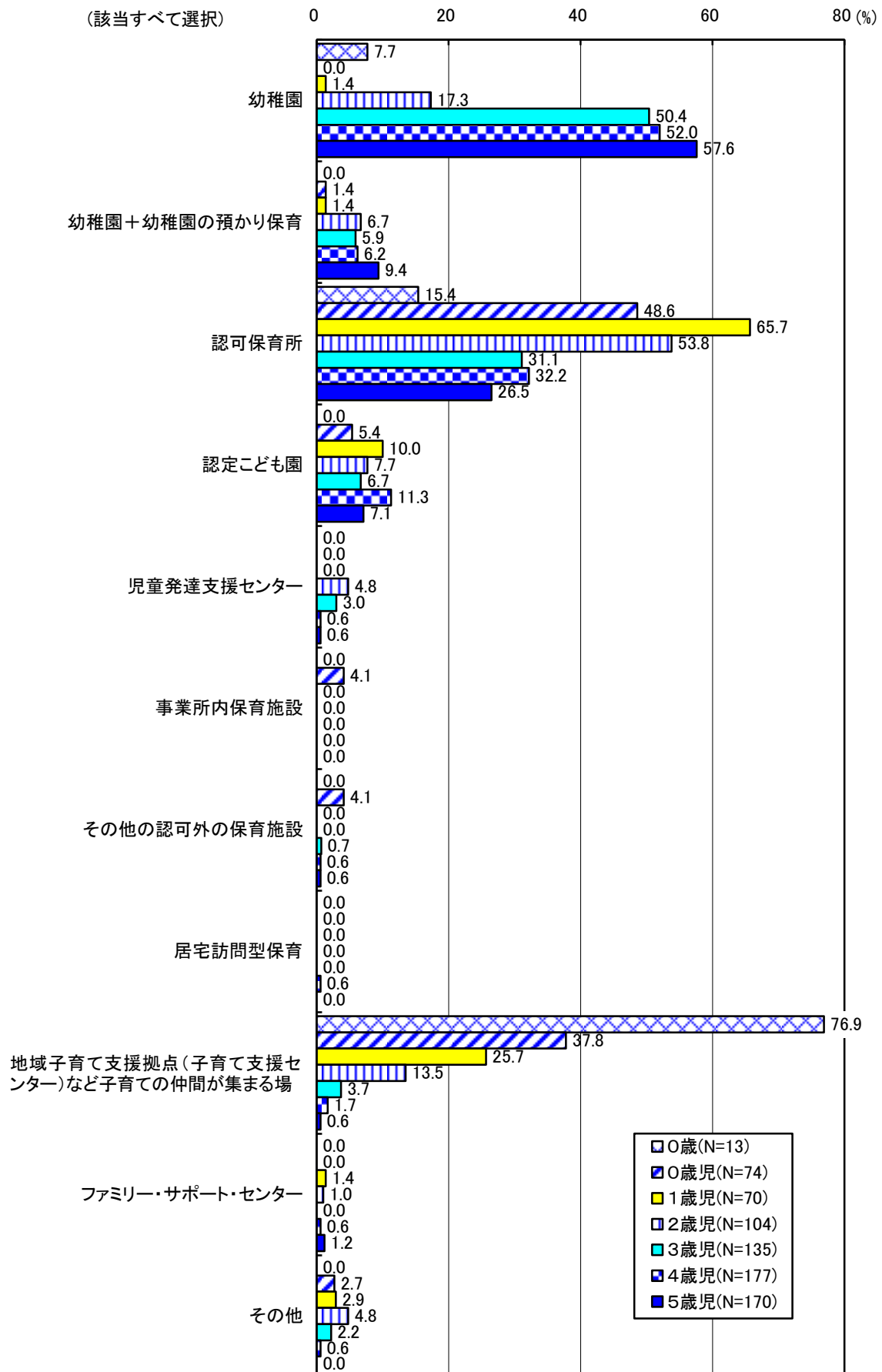
問11-1 問11で「1. 利用している」を選択した方におうかがいします。現在、どのような施設やサービスを利用していますか。お子さんの年齢の該当する欄について、年間を通じて平日（月曜日から金曜日）に定期的に利用されているサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「認可保育所」は38.3%ですが、前回調査の51.4%より13.1ポイント低下しています。「事業所内保育施設」が0.4%、「その他の認可外保育施設」が0.8%、「居宅訪問型保育」が0.1%で、合わせて【保育施設・サービス】は39.6%となっています。
- 「幼稚園」が37.4%、「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が5.9%で、合わせて【幼稚園】は43.3%で、前回調査の50.9%より7.6ポイント低下しています。
- 「認定こども園」が8.0%で、前回調査の0.3%より高くなっています。また、「児童発達支援センター」が1.5%、「地域子育て支援拠点（子育て支援センター）など子育ての仲間が集まる場」が10.8%、「ファミリー・サポート・センター」が0.7%、「その他」が1.7%などとなっています。

■現在利用している施設やサービス（子ども数による集計）／前回調査との比較

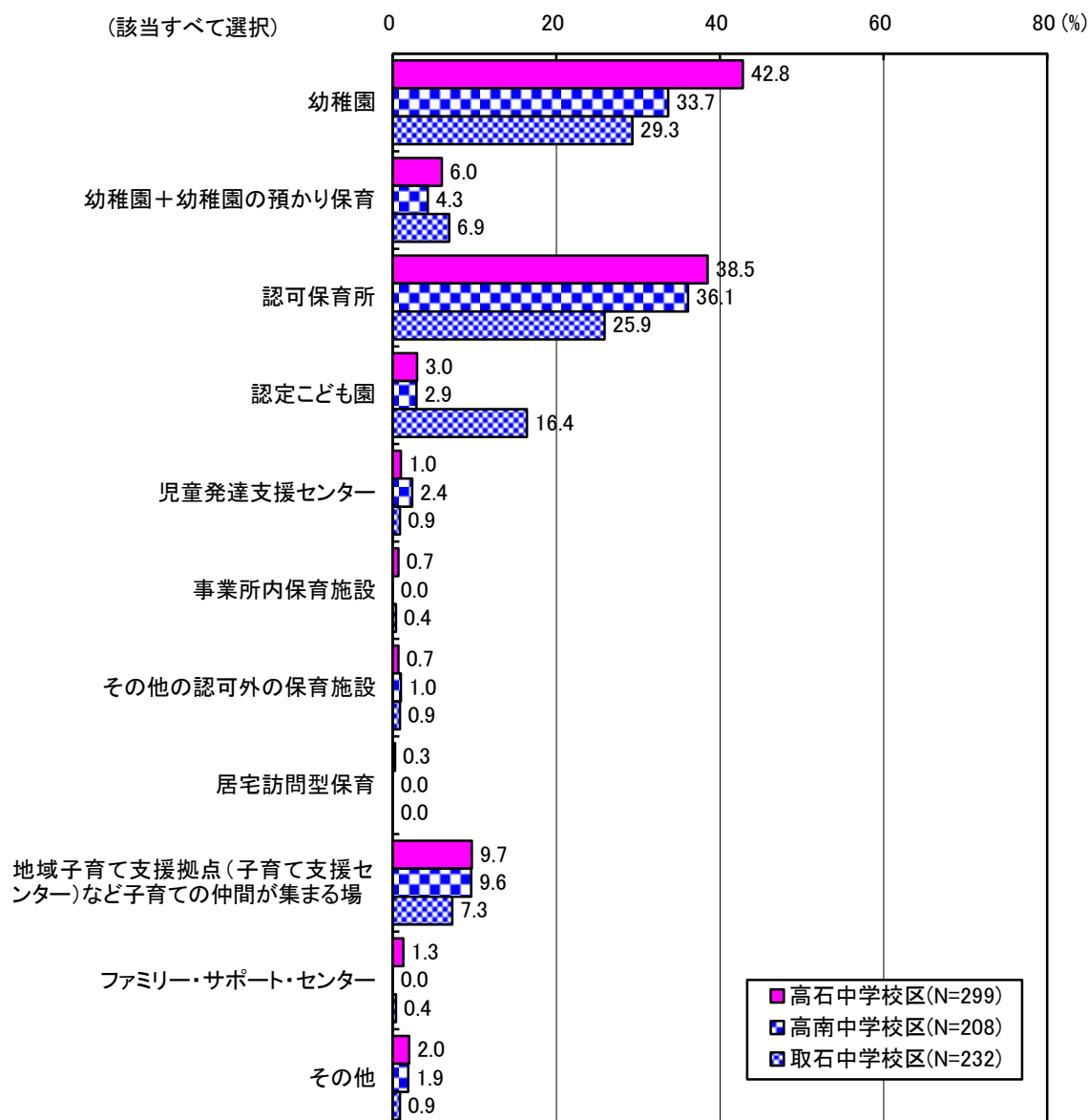


■子どもの年齢（児童数）別 現在利用している施設やサービス（子ども数による集計）



- 子どもの年齢別では、「幼稚園」は3歳児以上は50%を超えています。（0歳及び1歳児の利用は回答ミスと思われます。）「認可保育所」は1歳児が65.7%で最も高く、0歳児で48.6%とおおよそ半数を占めています。また、3歳児以上の利用は30%前後となっています。地域子育て支援拠点事業の利用は、0歳が76.9%で最も高くなっています。
- 中学校区別では、「幼稚園」及び「認可保育所」は、高石中学校区が最も高く、それぞれ42.8%、38.5%となっています。「認定こども園」は「取石中学校区」が16.4%で最も高くなっています。

■中学校区別 現在利用している施設やサービス（子ども数による集計）



③ 利用している施設やサービスの現在の利用時間等と利用希望

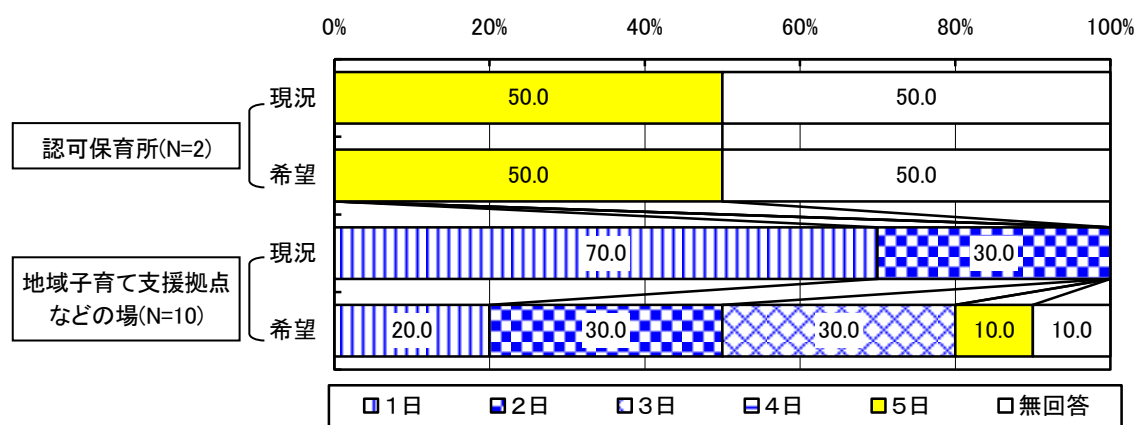
問11-2 問11で「1. 利用している」を選択した方に引き続きおうかがいします。現在利用している幼稚園や保育所などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日当たり何時間（何時から何時まで）利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。お子さんの年齢の該当する欄について、() 内に具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。

- 0歳は利用している施設やサービスが少ないですが、地域子育て支援拠点などの場では、現在は週「1日」の率が高いものの、希望は【3日以上】が合わせて40.0%となっています。
- 0歳児では、認可保育所の利用は、週「5日」が86.1%で最も高くなっています。また、地域子育て支援拠点などの場では、週「1日」あるいは「2日」の利用が、それぞれおよそ40%程度ですが、希望は【3日以上】が現況より高くなっています。
- 1歳児では、認可保育所及び認定こども園の利用は、週「5日」がそれぞれ95.7%、85.7%となっています。地域子育て支援拠点などの場では、週「1日」の利用が61.1%と高くなっていますが、希望は【3日以上】が現況より高くなっています。
- 2歳児では、幼稚園は、週「3日」が44.4%で最も高く、「1日」や「2日」を合わせると72.2%とおおよそ3/4が週【3日以内】となっています。認可保育所は週「5日」が96.4%、認定こども園は週「2日」及び「5日」が半々となっています。

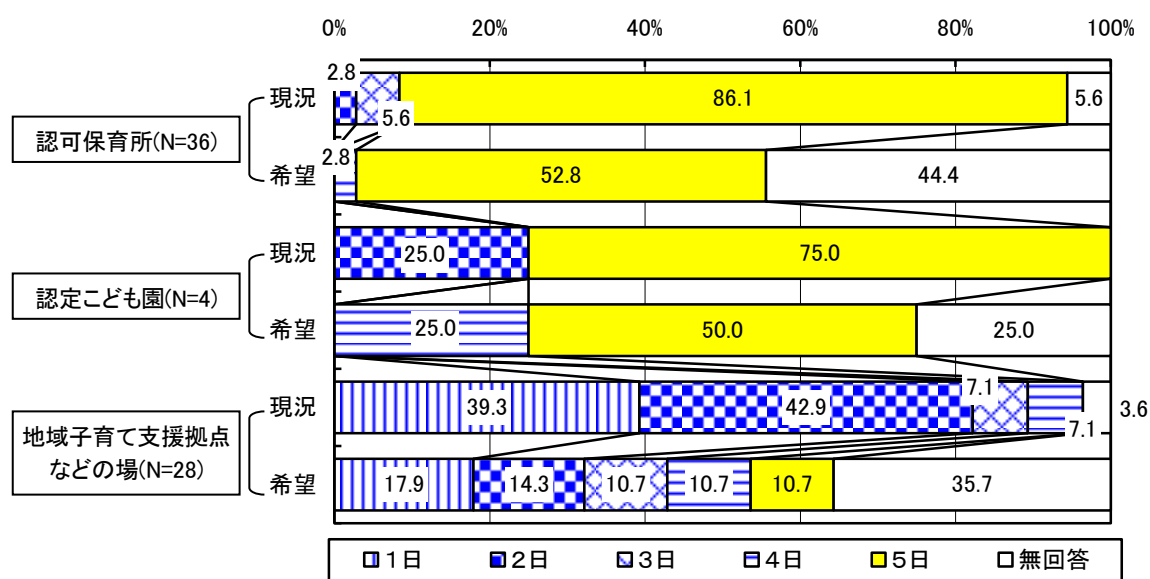
■子どもの年齢別・利用施設やサービス別 1週当たりの利用日数と希望日数
(子ども数による集計)

< 0歳 (N=13) >



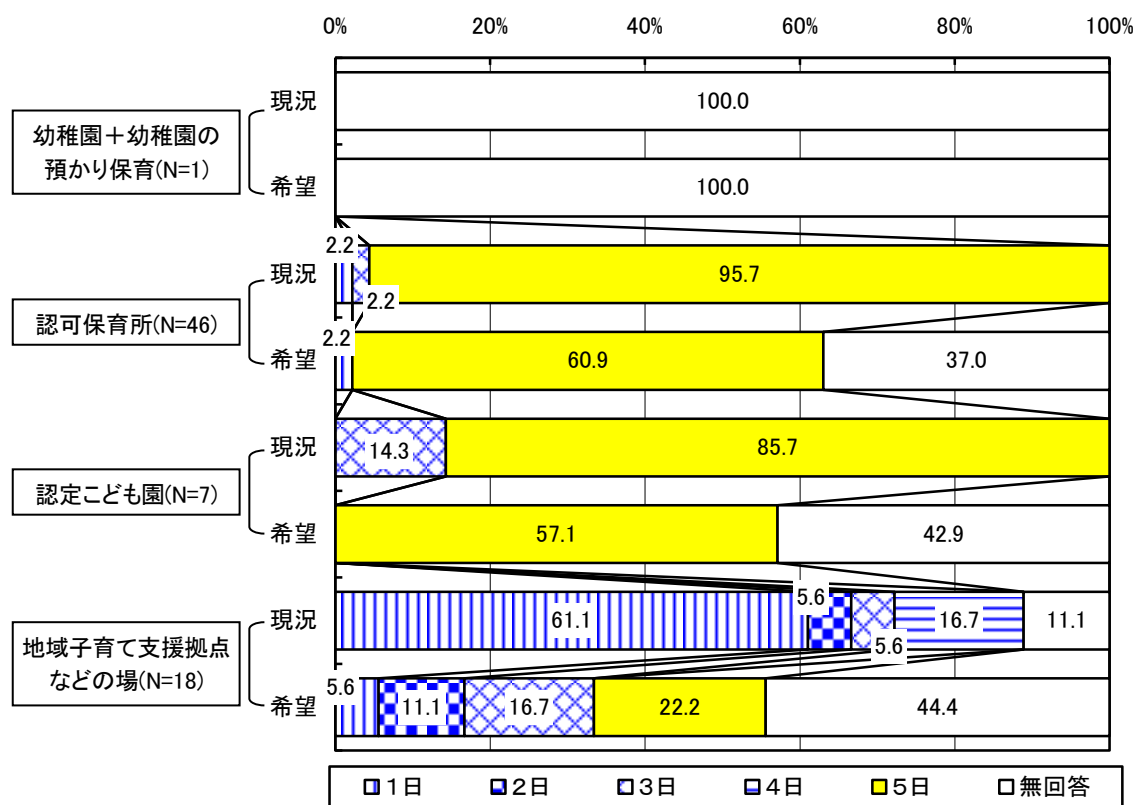
注) 幼稚園は1件の回答がありましたが、ミス回答と思われるため省略しています。

< 0 歳児 (N=74) >

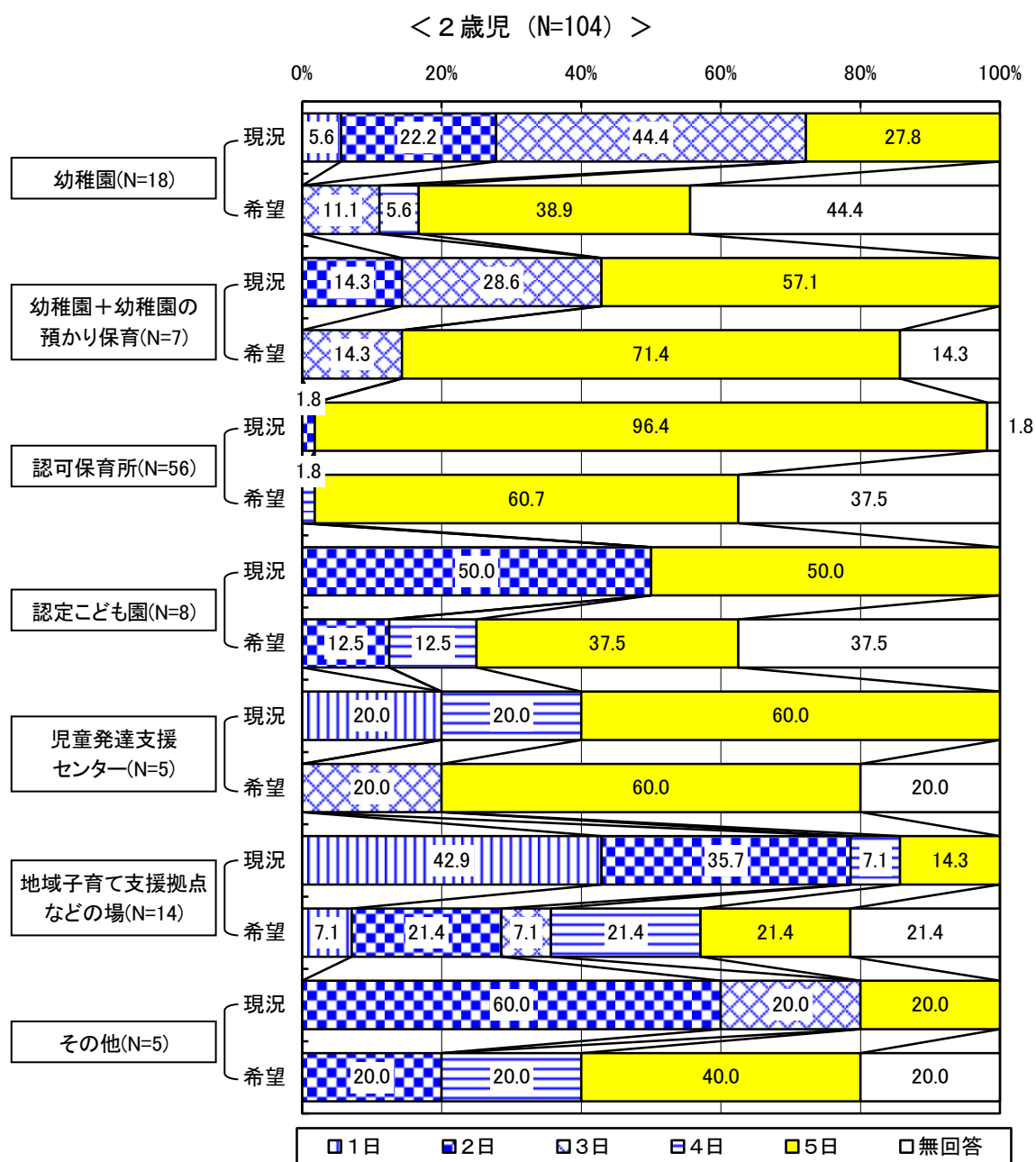


注)「幼稚園+幼稚園の預かり保育」は1件の回答がありましたが、ミス回答と思われ省略しています。
「事業所内保育施設(N=3)」は、現状、希望共に「2日」(33.3%)、「5日」(66.7%)
「その他の認可外の保育施設(N=3)」は、現状が「5日」(100.0%)、希望が「5日」(66.7%)、無回答(33.3%)、「その他(N=2)」は、現状、希望共に「2日」(50.0%)、「3日」(50.0%)

< 1 歳児 (N=70) >



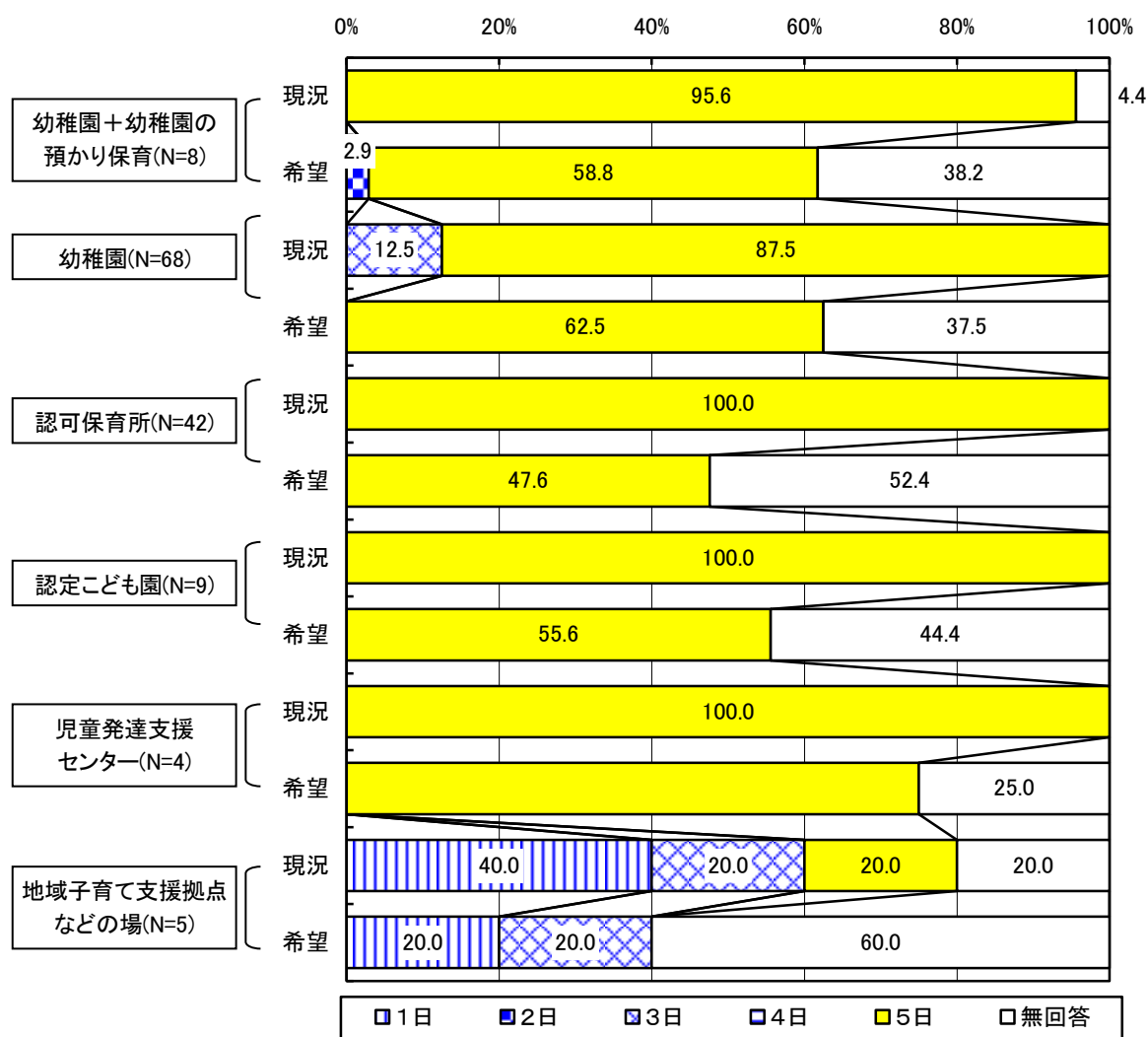
注)「幼稚園」は1件の回答がありましたが、ミス回答と思われ省略しています。
「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現状、希望共に「5日」(100.0%)
「その他(N=2)」は、現状が「1日」(100.0%)、希望が「2日」(50.0%)、「3日」(50.0%)



注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)

- 3歳児では、幼稚園、認可保育所、認定こども園、児童発達支援センターのいずれも現況は週「5日」が100.0%となっています。幼稚園+幼稚園の預かりでは、週「5日」が87.5%、「3日」が12.5%となっています。
- 4歳児では、幼稚園、認可保育所の現況は週「5日」が100.0%となっています。幼稚園+幼稚園の預かりでは、週「5日」が54.5%、「1日」が18.2%、「2日」が18.2%、「4日」が9.1%となっています。
- 5歳児では、週「5日」が幼稚園は96.9%、認可保育所は95.6%、認定こども園は100.0%となっています。幼稚園+幼稚園の預かりでは、週「5日」が87.5%、「4日」が6.3%となっています。

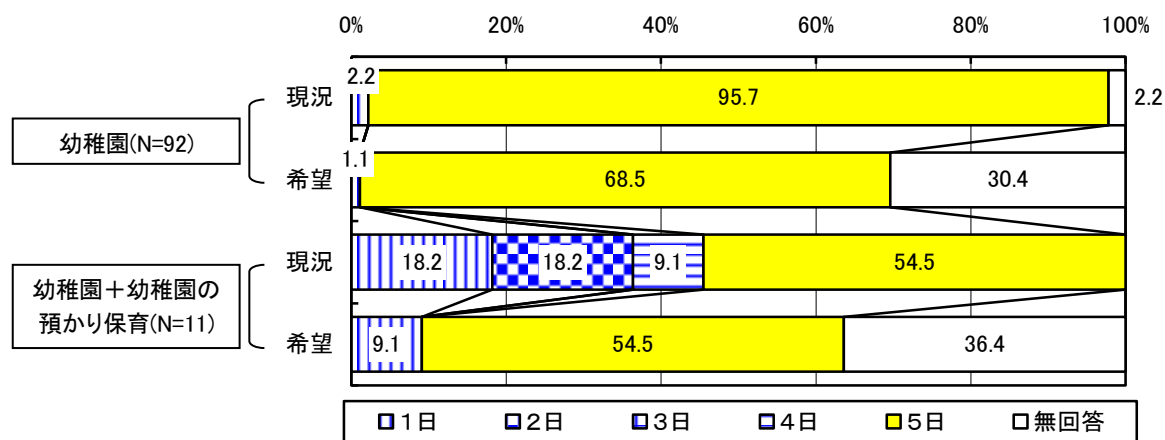
< 3 歳児 (N=135) >



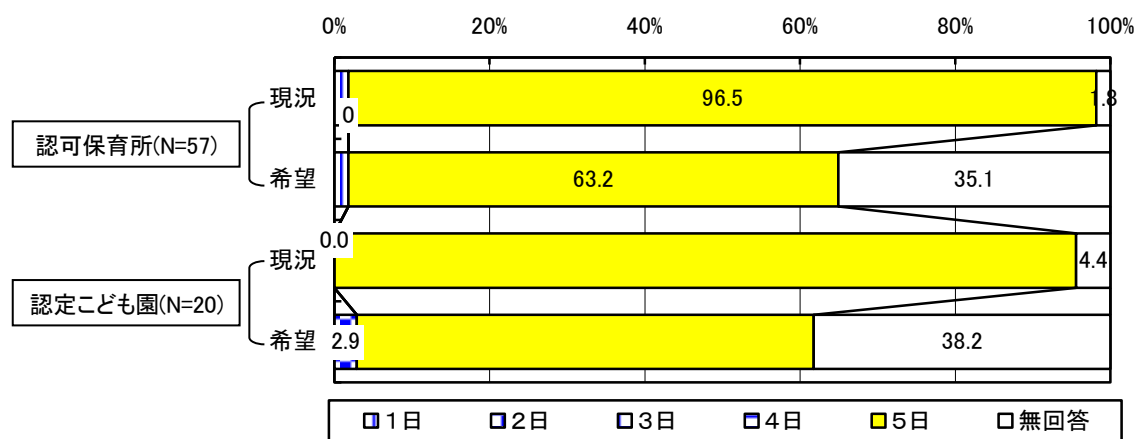
注)「その他の認可外の保育施設 (N=1)」は、現在、希望共に「5日」(100.0%)

「その他 (N=3)」は、現在が「1日」(66.7%)、「5日」(33.3%)、希望が「1日」及び「5日」、無回答 (各 33.3%)

< 4 歳児 (N=177) >

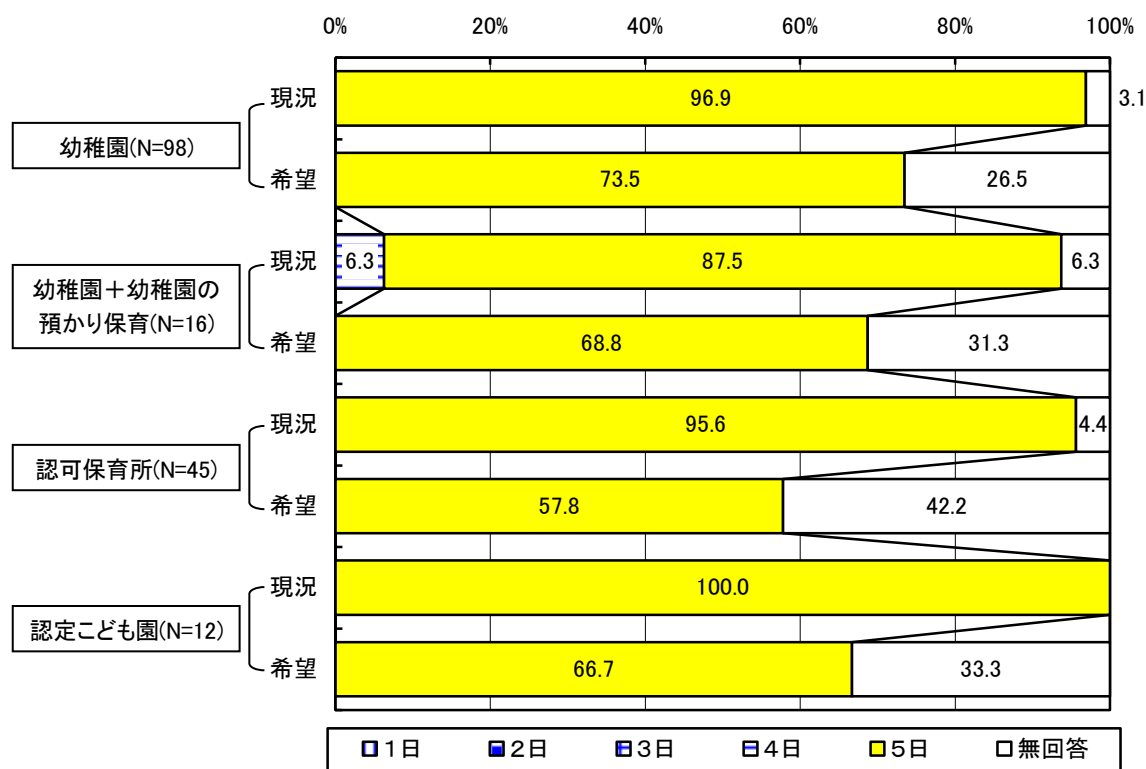


Ⅱ 就学前子ども保護者調査
2 施設やサービスの利用状況



注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)
「居宅訪問型保育(N=1)」は、現況が「2日」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=3)」は、現況、希望共に「1日」(33.3%)、「5日」(66.7%)
「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)
「その他(N=2)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)

< 5 歳児 (N=170) >

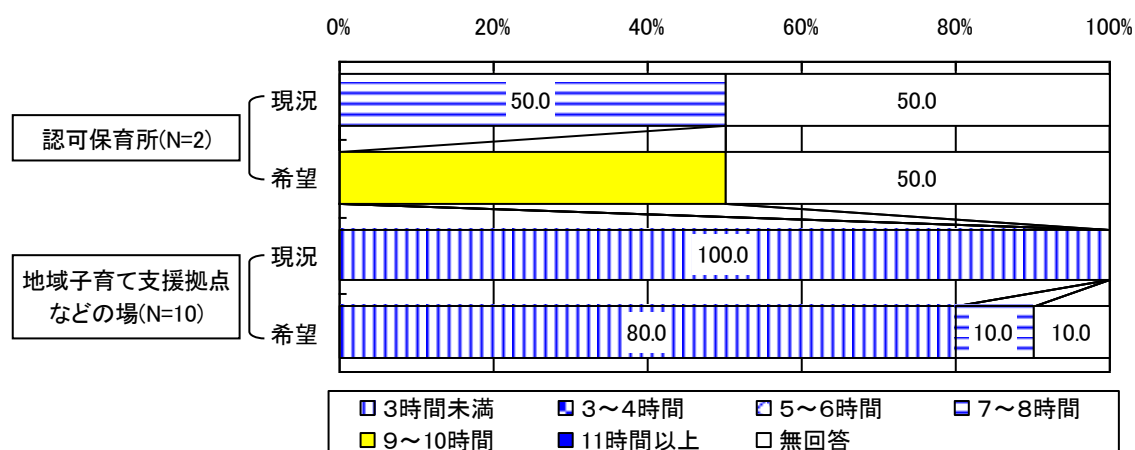


注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況が「5日」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況、希望共に「5日」(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=1)」は、現況が「5日」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「ファミリー・サポート・センター(N=2)」は、現況が「5日」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

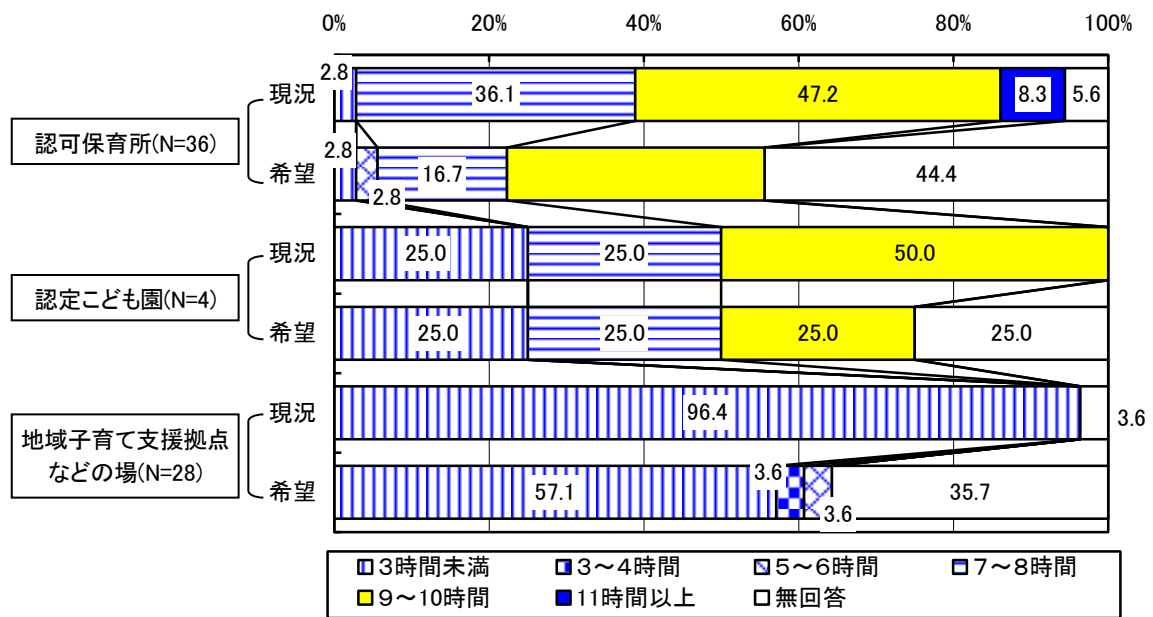
- 1日当たりの利用時間と希望時間では、0歳の地域子育て支援拠点などの場合は、「3時間未満」が100.0%の利用となっています。
- 0歳児では、認可保育所の利用は、「9～10時間」が47.2%とおおよそ半数で、「11時間以上」が8.3%となっています。地域子育て支援拠点などの場では、「3時間未満」が96.4%の利用となっています。
- 1歳児では、認可保育所の利用は、「9～10時間」が45.7%、「7～8時間」が41.3%などで、「11時間以上」が8.7%となっています。希望は無回答が多い中で、「11時間以上」が23.9%と現況の2倍以上となっています。
- 2歳児では、幼稚園の利用は、「5～6時間」が77.8%で、希望は無回答が多い中で、「7～8時間」が22.2%、「9～10時間」が5.6%となっています。また、認可保育所の利用は、「9～10時間」が50.0%、「7～8時間」が33.9%などで、「11時間以上」が12.5%となっています。希望の「11時間以上」は16.1%となっています。
- 3歳児では、幼稚園の利用は、「5～6時間」が61.8%、「7～8時間」が20.6%で、希望は「7～8時間」が39.7%と現況のおよそ2倍となっています。また、認可保育所の利用は、「7～8時間」が45.2%、「9～10時間」が42.9%などで、「11時間以上」が7.1%となっています。「11時間以上」の希望は11.9%となっています。
- 4歳児では、幼稚園の利用は、「5～6時間」が76.1%、「7～8時間」が9.8%で、希望は「7～8時間」が34.8%と現況の3倍以上となっています。また、認可保育所の利用は、「9～10時間」が50.9%、「7～8時間」が33.3%などで、「11時間以上」が12.3%となっています。「11時間以上」の希望は14.0%となっています。認定こども園の利用は、「5～6時間」及び「7～8時間」がそれぞれ35.0%、「9～10時間」が20.0%となっています。
- 5歳児では、幼稚園の利用は、「5～6時間」が77.6%、「7～8時間」が9.2%、「9～10時間」が1.0%などで、希望は「7～8時間」が33.7%、「9～10時間」が4.1%となっています。認可保育所の利用は、「9～10時間」が51.1%、「7～8時間」が33.3%、「11時間以上」が15.6%で、「11時間以上」の希望は17.8%となっています。

■子どもの年齢別・利用施設やサービス別 1日当たりの利用時間と希望時間
(子ども数による集計)

< 0歳 (N=13) >



< 0 歳児 (N=74) >

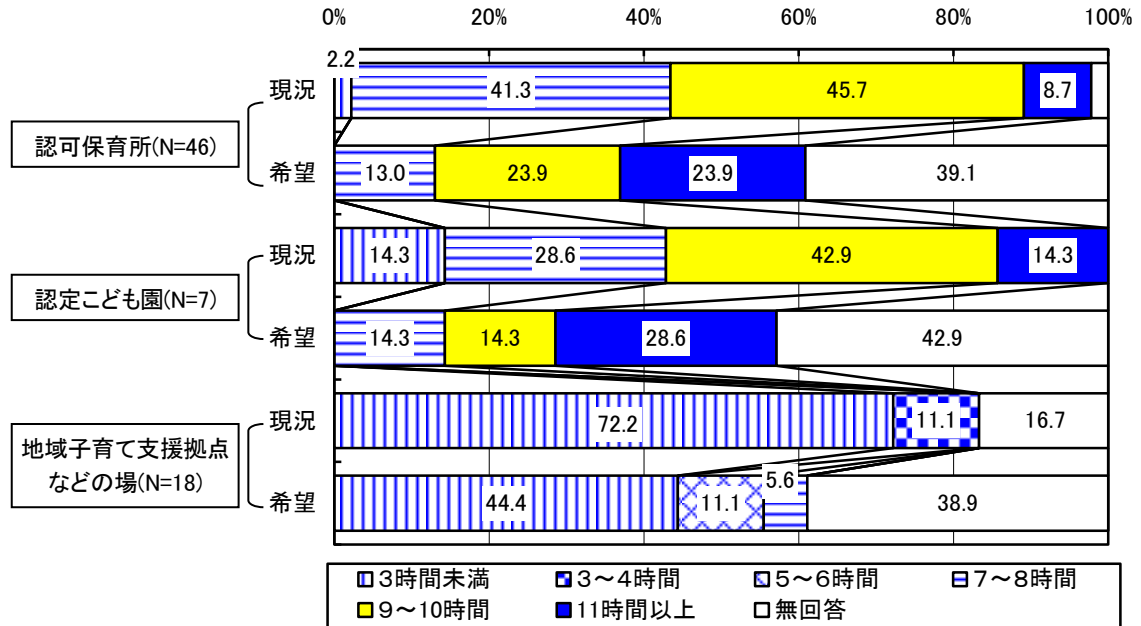


注)「事業所内保育施設(N=3)」は、現況が「9~10時間」(100.0%)、希望が「7~8時間」(33.3%)、「9~10時間」(66.7%)

「その他の認可外の保育施設(N=3)」は、現況が「9~10時間」(66.7%)、「11時間以上」(33.3%)、希望が「9~10時間」及び「11時間以上」、無回答(各33.3%)

「その他(N=2)」は、現況、希望共に「3時間未満」及び「3~4時間」(各50.0%)

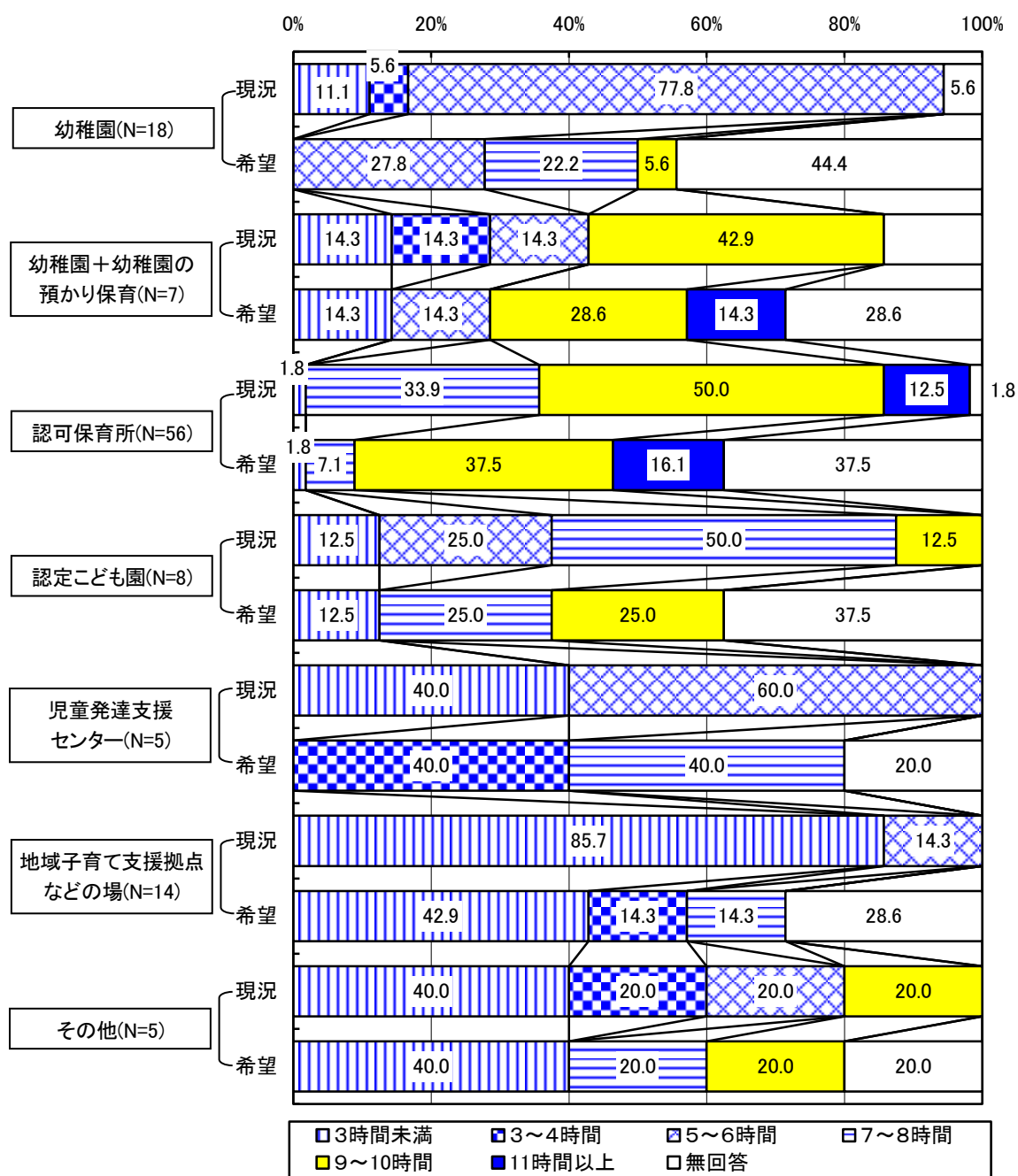
< 1 歳児 (N=70) >



注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況が「9~10時間」(100.0%)、希望が「11時間以上」(100.0%)

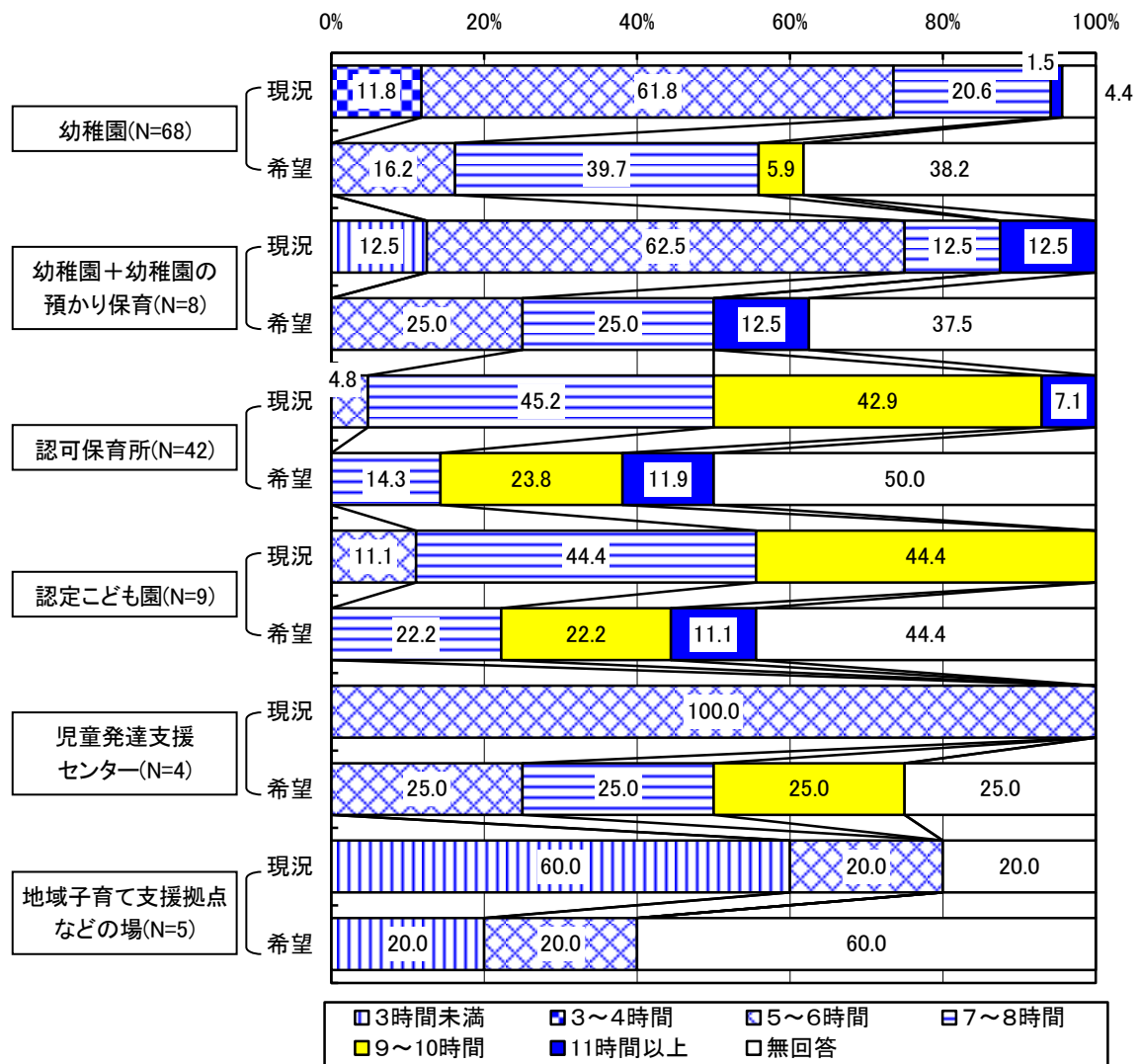
「その他(N=2)」は、現況が「3~4時間」(100.0%)、希望が「5~6時間」及び「7~8時間」(各50.0%)

< 2 歳児 (N=104) >



注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況が「5~6時間」(100.0%)、希望が「7~8時間」(100.0%)

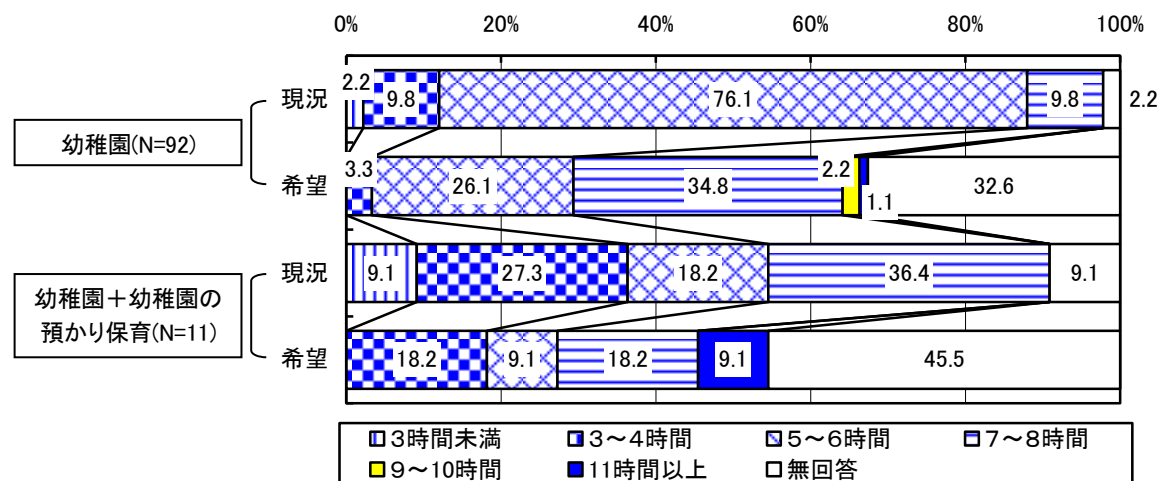
< 3 歳児 (N=135) >

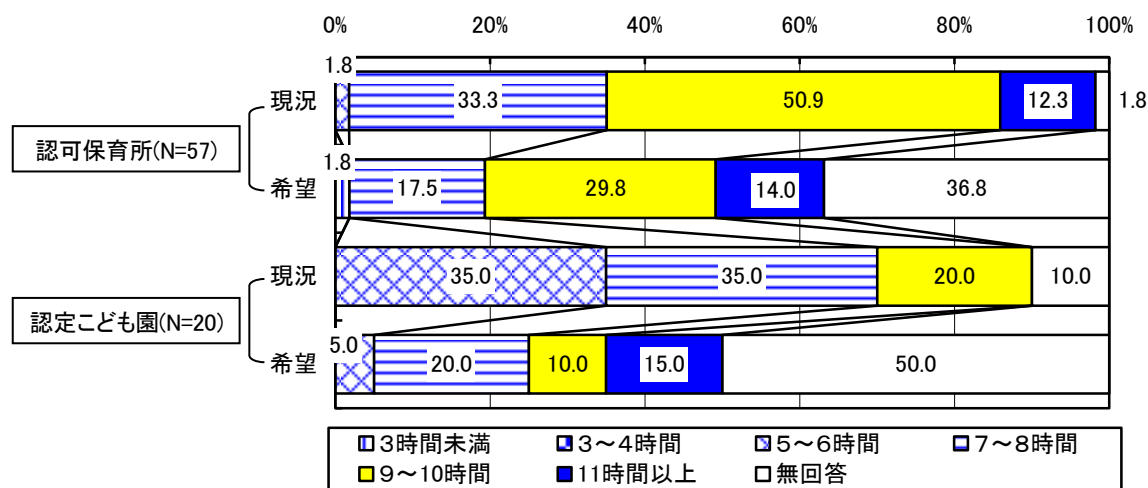


注)「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況、希望共に「5~6時間」(100.0%)

「その他(N=3)」は、現況が「3時間未満」(66.7%)、「7~8時間」(33.3%)、希望が「3時間未満」及び「7~8時間」、無回答(各33.3%)

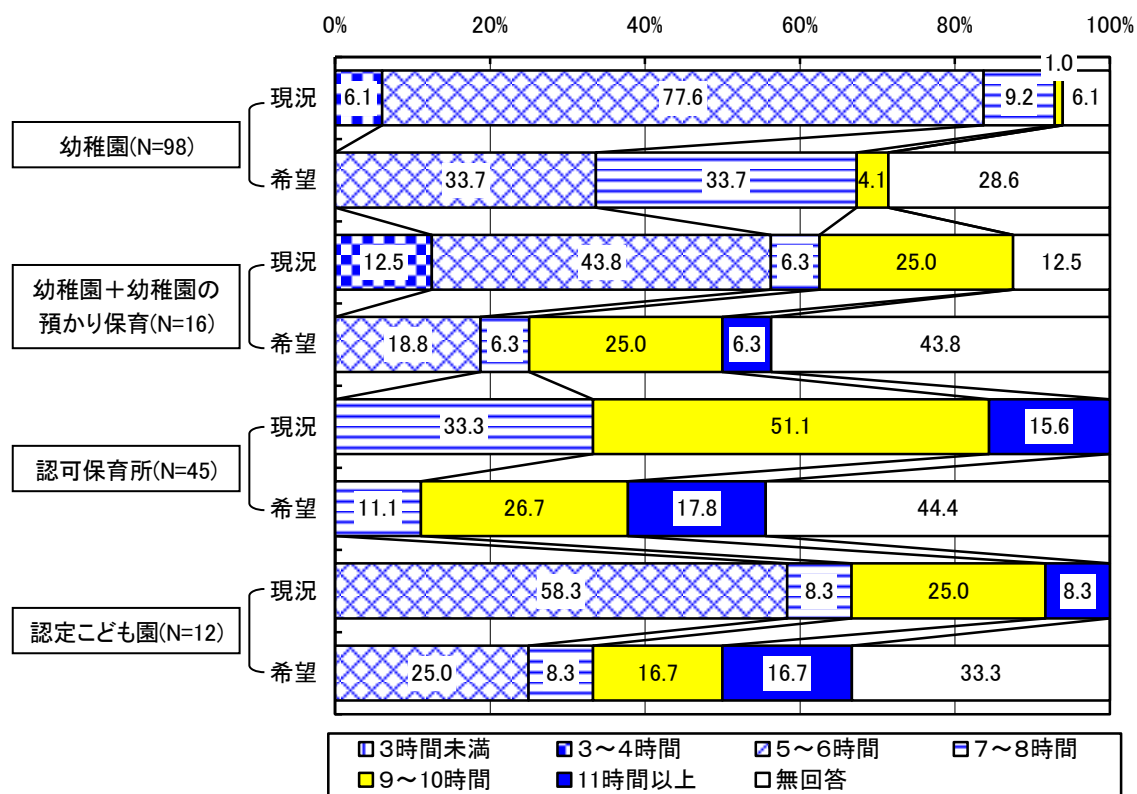
< 4 歳児 (N=177) >





注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が「7～8時間」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が「7～8時間」(100.0%)
「居宅訪問型保育(N=1)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=3)」は、現況が「3時間未満」(100.0%)、希望が「3時間未満」及び「5～6時間」、「7～8時間」(各33.3%)
「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「9～10時間」(100.0%)
「その他(N=2)」は、現況が「7～8時間」(100.0%)、希望が「11時間以上」(100.0%)

< 5 歳児 (N=170) >

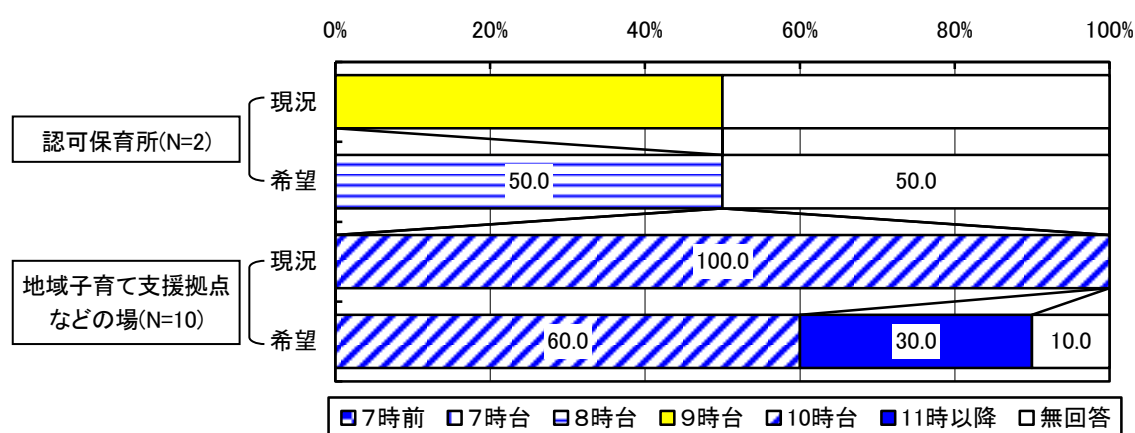


注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が「7～8時間」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況、希望共に「9～10時間」(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=1)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「ファミリー・サポート・センター(N=2)」は、現況が「5～6時間」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

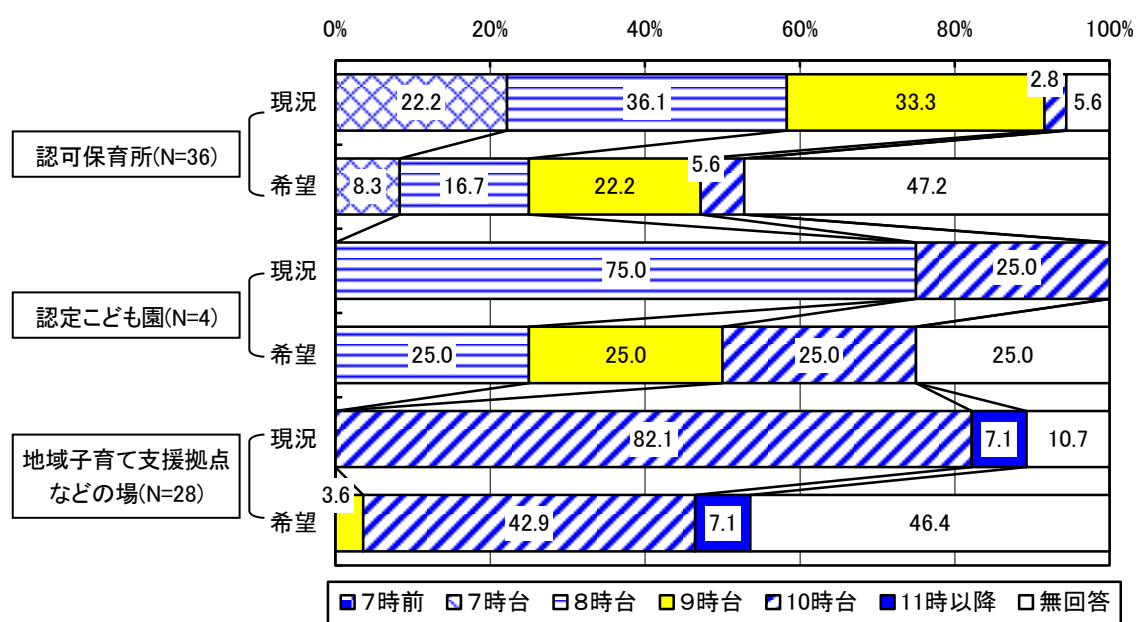
- 利用開始時間と希望時間では、0歳の地域子育て支援拠点などの場合は、「10時台」が100.0%の利用となっています。希望では「10時台」が60.0%、「11時以降」が30.0%となっています。
- 0歳児では、認可保育所の利用は、「8時台」が36.1%、「9時台」が33.3%、「7時台」が22.2%などとなっています。地域子育て支援拠点などの場では、「10時台」が82.1%、「11時以降」が7.1%となっています。
- 1歳児では、認可保育所の利用は、「8時台」及び「9時台」がそれぞれ37.0%、「7時台」が15.2%などとなっています。希望は無回答が多い中で、「7時台」が17.4%と現況より若干高くなっています。
- 2歳児では、幼稚園の利用は、「9時台」が77.8%、「10時台」が22.2%で、希望は無回答が多い中で、「8時台」が22.2%などとなっています。また、認可保育所の利用は、「8時台」が35.7%、「9時台」が33.9%、「7時台」が23.2%などとなっています。
- 3歳児では、幼稚園の利用は、「9時台」が54.4%、「8時台」が19.1%、「10時台」が11.8%などとなっています。希望は「8時台」が29.4%と現況に比べて高くなっています。また、認可保育所の利用は、「8時台」が42.9%、「9時台」が35.7%、「7時台」が11.9%などで、「7時台」の希望は14.3%となっています。
- 4歳児では、幼稚園の利用は、「8時台」が47.8%、「9時台」が35.9%などとなっています。また、認可保育所の利用は、「8時台」が47.4%、「9時台」が36.8%、「7時台」が12.3%で、「7時台」の希望は10.5%、「7児前」の希望が1.8%となっています。認定こども園の利用は、「8時台」及び「9時台」がそれぞれ45.0%となっています。
- 5歳児では、幼稚園の利用は、「8時台」が40.8%、「9時台」が39.8%などとなっています。認可保育所の利用は、「8時台」が40.0%、「9時台」が31.1%、「7時台」が26.7%などで、「7時台」の希望は17.8%となっています。

■子どもの年齢別・利用施設やサービス別 利用開始時間と希望開始時間
(子ども数による集計)

< 0歳 (N=13) >

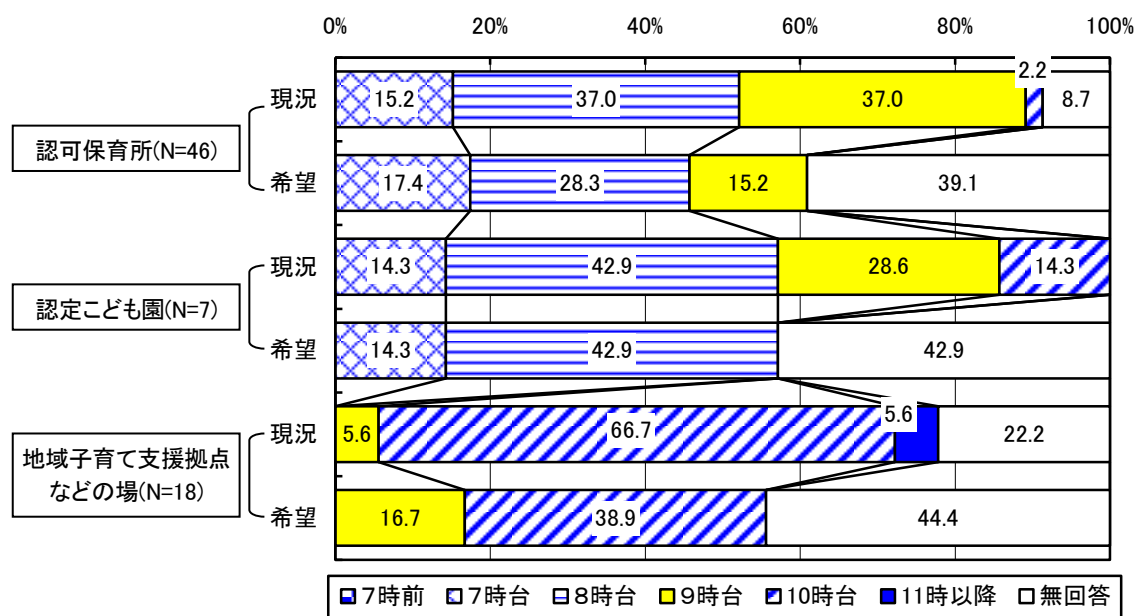


< 0 歳児 (N=74) >



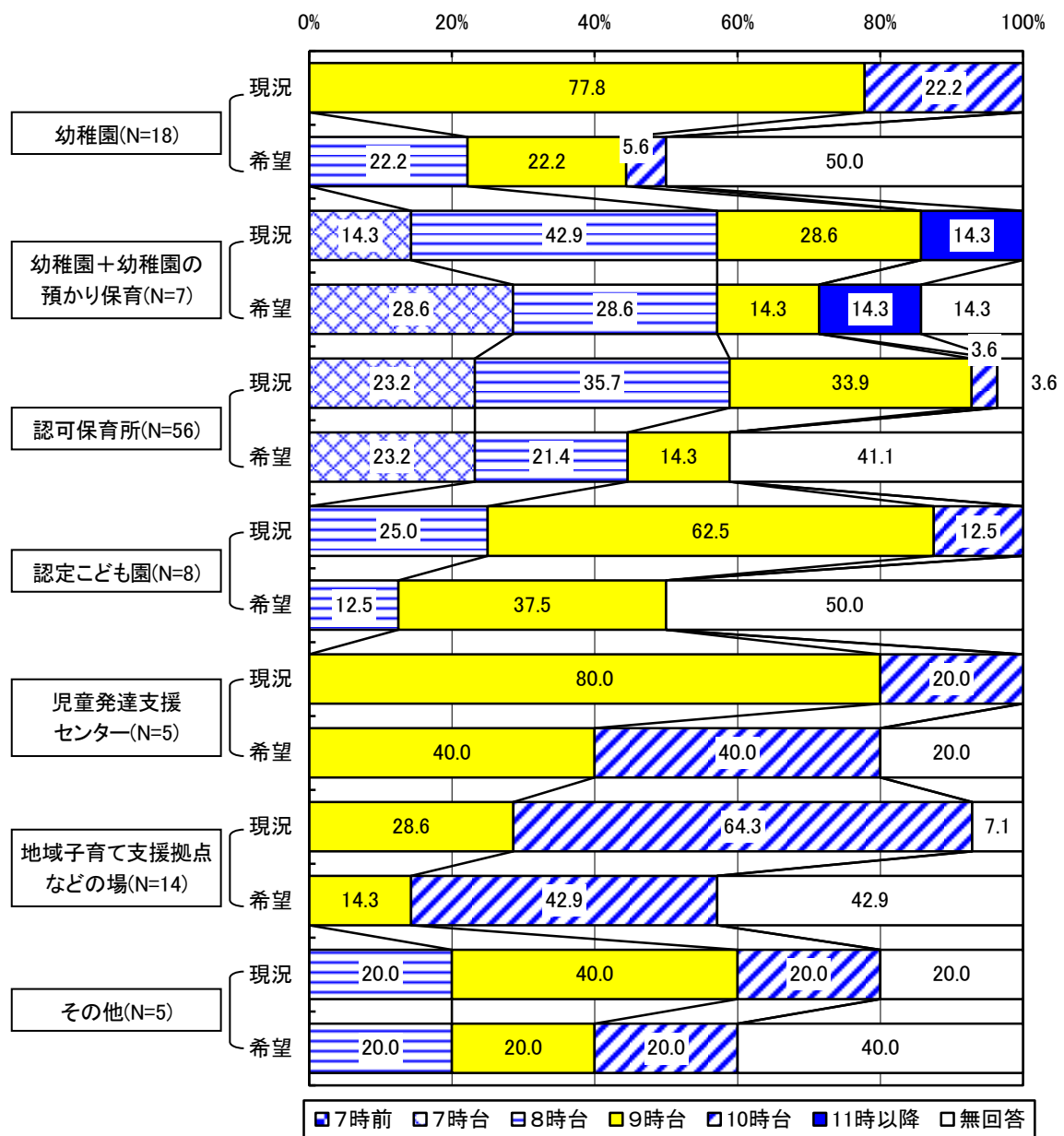
注)「事業所内保育施設(N=3)」は、現況が「8時台」及び「9時台」、無回答(各33.3%)、希望が「8時台」(33.3%)、「9時台」(66.7%)
「その他の認可外の保育施設(N=3)」は、現況が「7時台」及び「8時台」、「9時台」(各33.3%)、希望が「8時台」及び「9時台」、無回答(各33.3%)
「その他(N=2)」は、現況、希望共に「11時以降」及び無回答(各50.0%)

< 1 歳児 (N=70) >



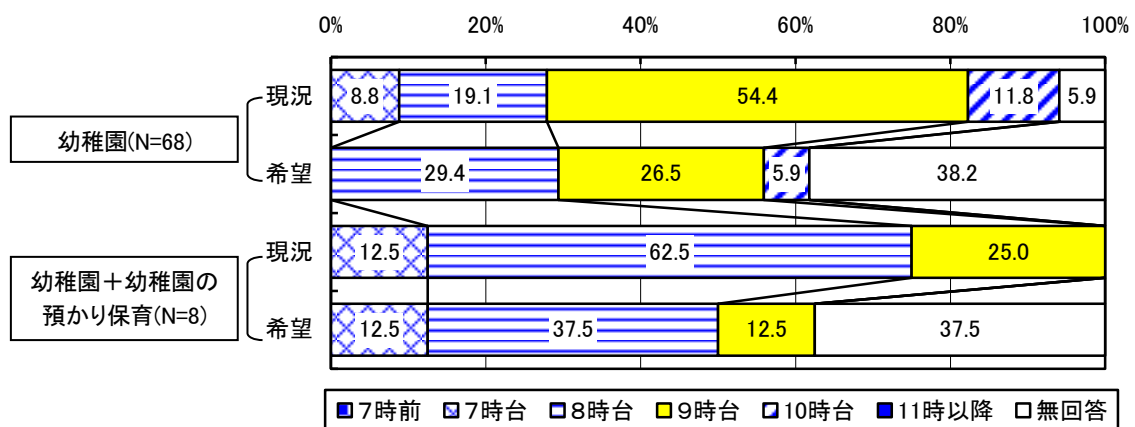
注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「8時台」(100.0%)
「その他(N=2)」は、現況が「9時台」及び「11時以降」(各50.0%)、希望が「9時台」(100.0%)

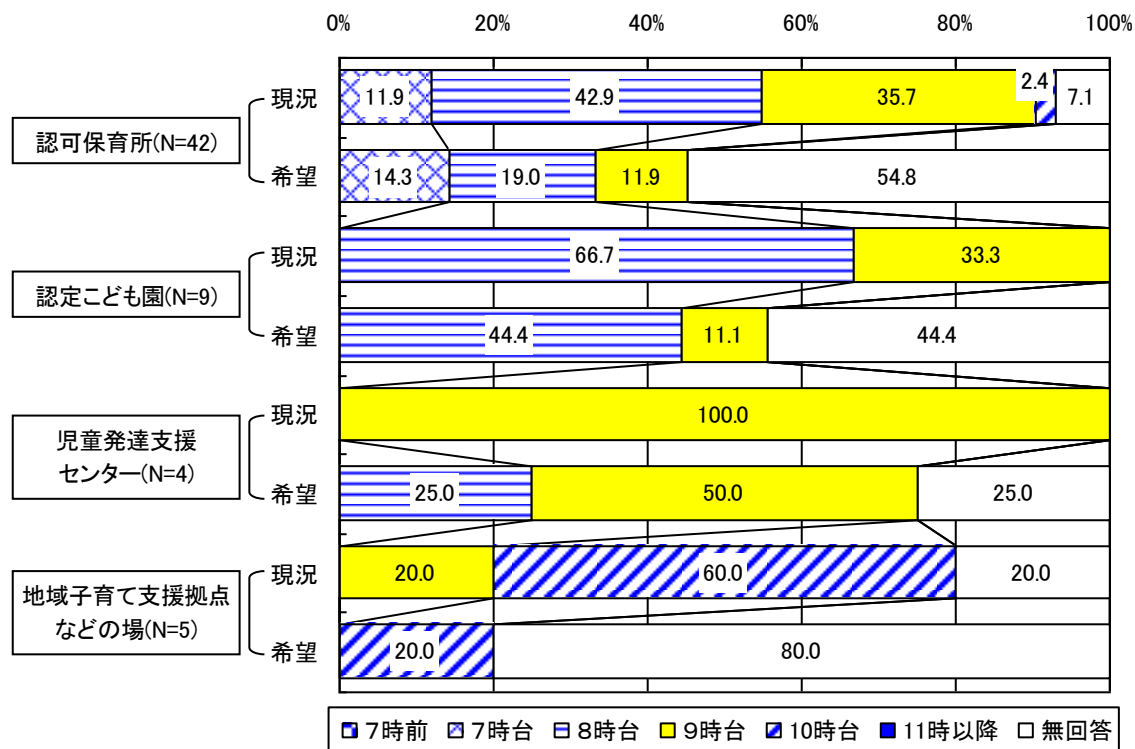
< 2 歳児 (N=104) >



注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「9時台」(100.0%)

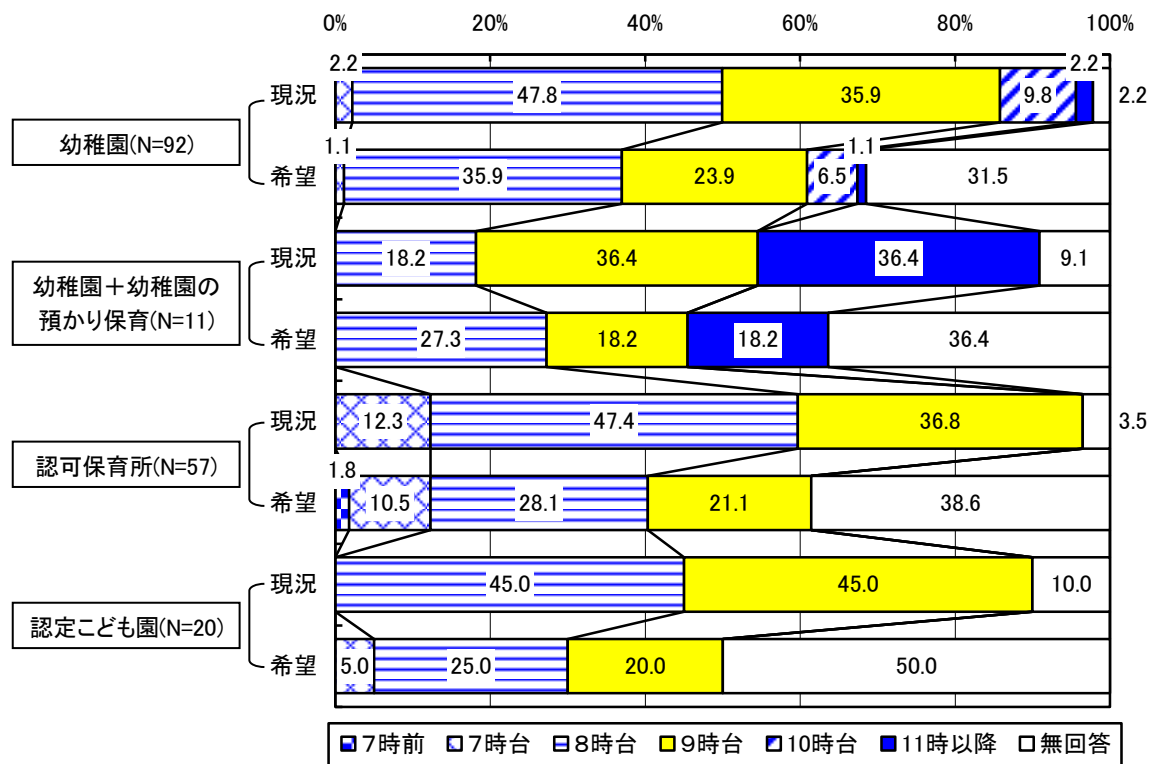
< 3 歳児 (N=135) >





注)「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況が「9時台」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「その他(N=3)」は、現況が「8時台」(33.3%)、「10時台」(66.7%)、希望が「8時台」及び「10時台」、無回答(各33.3%)

< 4 歳児 (N=177) >



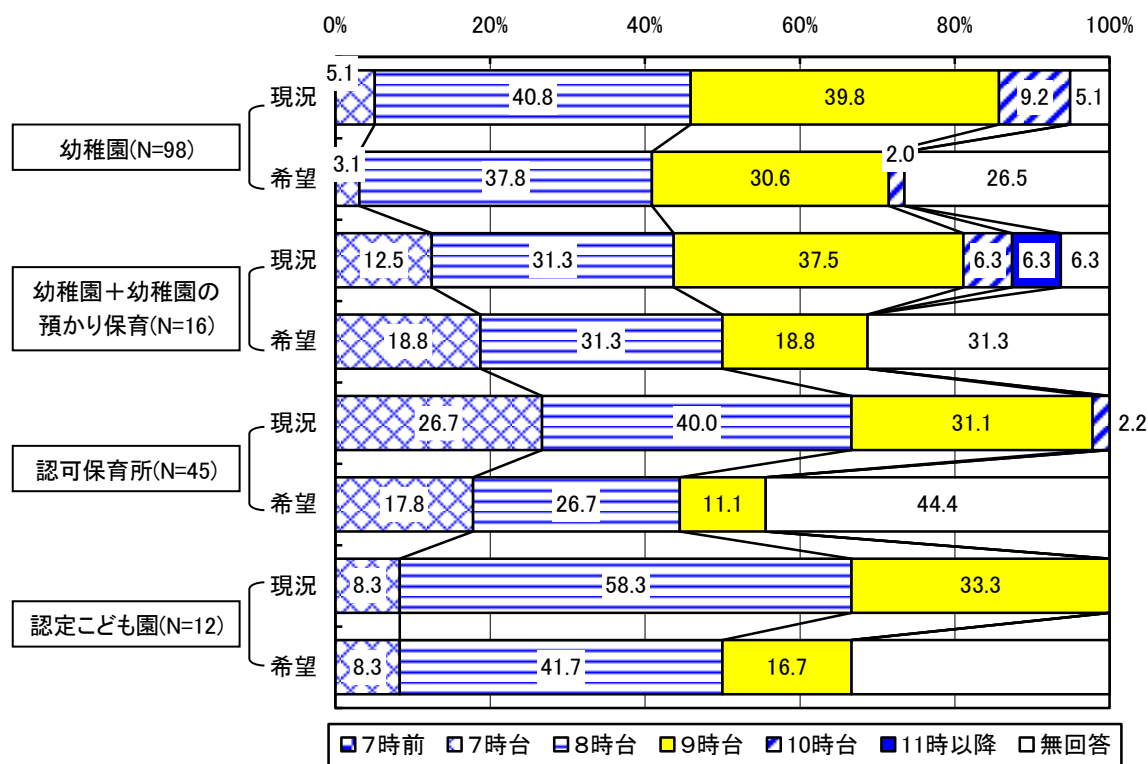
注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況が「9時台」(100.0%)、希望が「8時台」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況が「9時台」(100.0%)、希望が「8時台」(100.0%)
「居宅訪問型保育(N=1)」は、現況が「11時以降」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

「地域子育て支援拠点などの場(N=3)」は、現況が「8時台」(66.7%)、「10時台」(33.3%)、希望が「8時台」及び「9時台」、無回答(各33.3%)

「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「8時台」(100.0%)

「その他(N=2)」は、現況が「9時台」(100.0%)、希望が「8時台」(100.0%)

< 5 歳児 (N=170) >



注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況、希望共に「9時台」(100.0%)

「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況、希望共に「8時台」(100.0%)

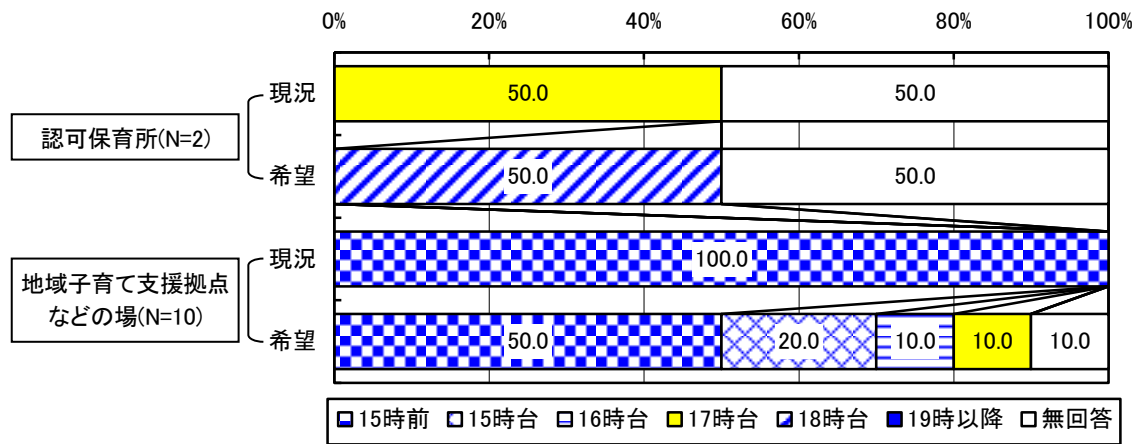
「地域子育て支援拠点などの場(N=1)」は、現況が「8時台」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

「ファミリー・サポート・センター(N=2)」は、現況が「8時台」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

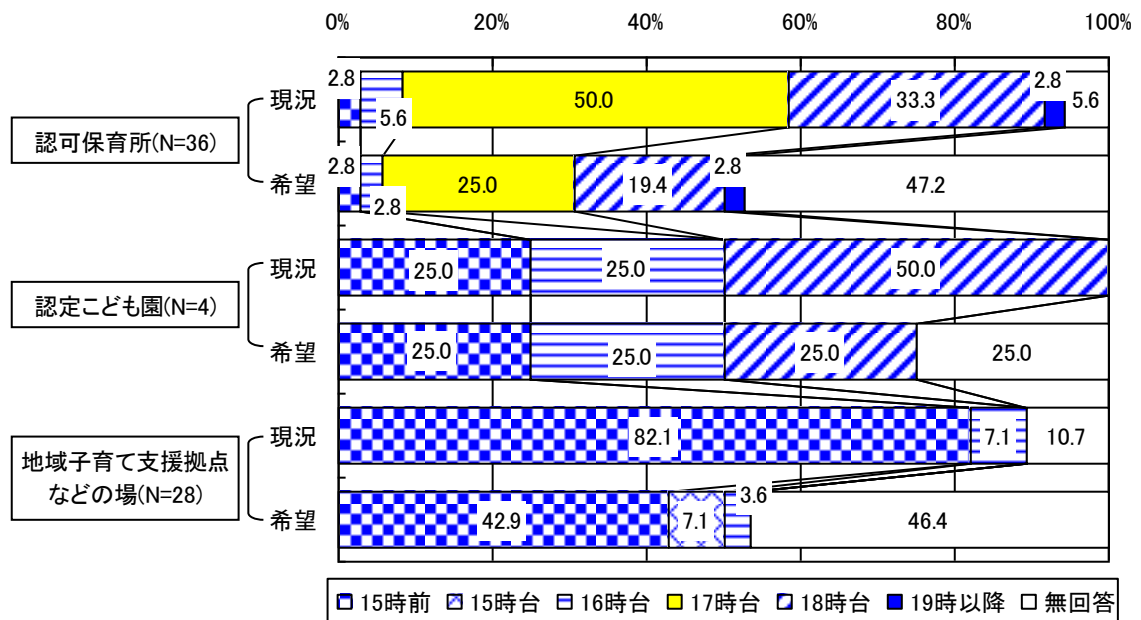
- 利用終了時間と希望終了時間では、0歳の地域子育て支援拠点などの場合は、「15時前」が100.0%の利用となっています。希望では「15時台」が20.0%、「16時台」及び「17時台」がそれぞれ10.0%となっています。
- 0歳児では、認可保育所の利用は、「17時台」が50.0%、「18時台」が33.3%、「19時以降」が2.8%などとなっています。地域子育て支援拠点などの場では、「15時前」が82.1%、「16時台」が7.1%となっています。
- 1歳児では、認可保育所の利用は、「17時台」が47.8%、「18時台」が28.3%、「19時以降」が6.5%などとなっています。希望は無回答が多い中で、「19時以降」が23.9%と現況の3倍以上となっています。
- 2歳児では、幼稚園の利用は、「15時前」が44.4%、「15時台」が38.9%、「16時台」が16.7%で、希望は無回答が多い中で、「17時台」が11.1%となっています。また、認可保育所の利用は、「17時台」が51.8%、「18時台」が26.8%、「19時以降」が12.5%などとなっています。希望の中で「19時以降」は16.1%と現況より高くなっています。
- 3歳児では、幼稚園の利用は、「15時前」が44.1%、「15時台」が30.9%、「16時台」が17.6%などとなっています。希望の中で「19時以降」が2.9%と低いながらみられます。また、認可保育所の利用は、「17時台」が52.4%、「18時台」が19.0%、「19時以降」が11.9%などで、「19時以降」の希望は9.5%と低くなっています。
- 4歳児では、幼稚園の利用は、「15時前」が69.6%、「15時台」が21.7%などとなっています。また、認可保育所の利用は、「17時台」が42.1%、「18時台」が29.8%、「19時以降」が14.0%で、「19時以降」の希望は15.8%で、現況より若干高くなっています。認定こども園の利用は、「17時台」が35.0%、「15時前」が30.0%、「16時台」及び「18時台」がそれぞれ10.0%となっています。希望は現況にはなかった「19時以降」が15.0%となっています。
- 5歳児では、幼稚園の利用は、「15時前」が66.3%、「15時台」が17.3%、「16時台」が10.2%などとなっています。認可保育所の利用は、「17時台」が51.1%、「18時台」が35.6%、「19時以降」が11.1%などで、「19時以降」の希望は15.6%で、現況より若干高くなっています。認定こども園は「15時前」が50.0%、「17時台」が16.7%などで、「19時以降」の希望は16.7%で、現況の8.3%の2倍となっています。

■子どもの年齢別・利用施設やサービス別 利用終了時間と希望終了時間
(子ども数による集計)

< 0歳 (N=13) >

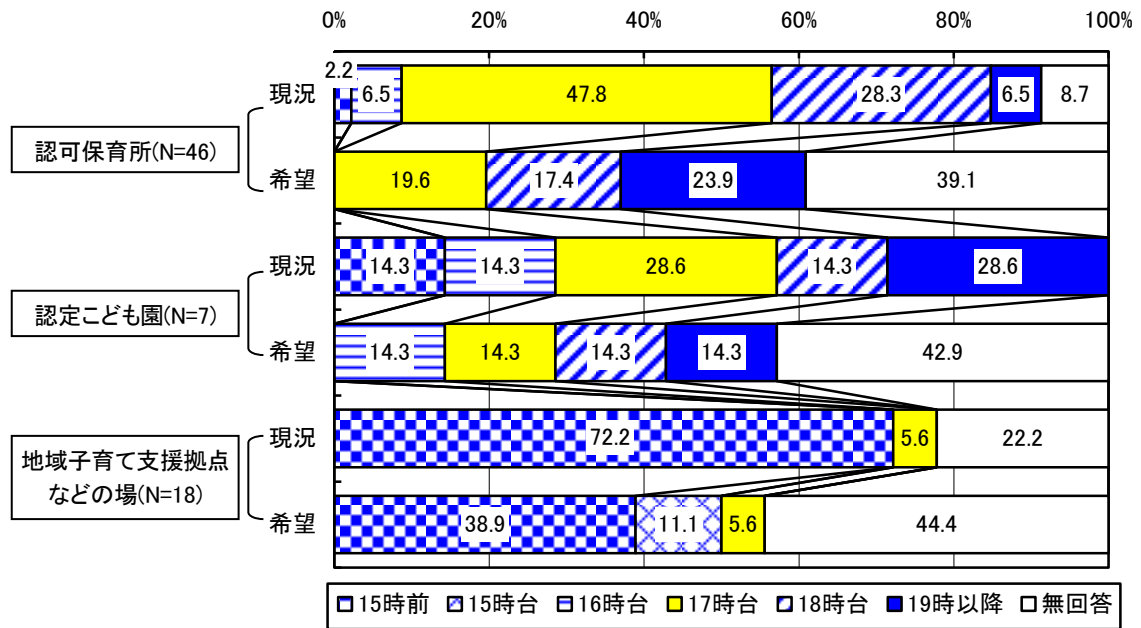


< 0歳児 (N=74) >



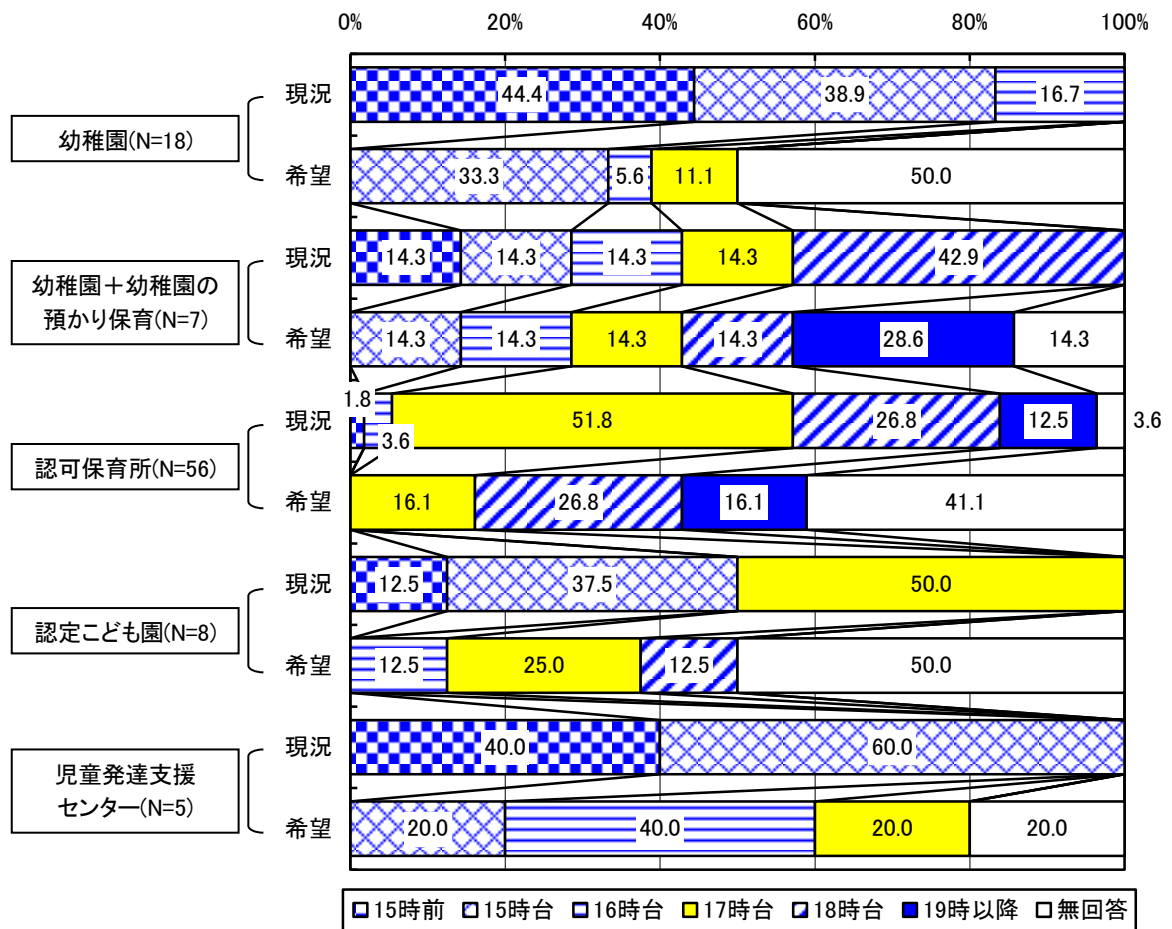
注)「事業所内保育施設(N=3)」は、現況が「17時台」及び「18時台」、無回答(各33.3%)、希望が「17時台」(66.7%)、「18時台」(33.3%)
「その他の認可外の保育施設(N=3)」は、現況が「18時台」(66.7%)、「19時以降」(33.3%)、希望が「19時以降」(66.7%)、無回答(33.3%)
「その他(N=2)」は、現況、希望共に「17時台」及び無回答(各50.0%)

< 1 歳児 (N=70) >

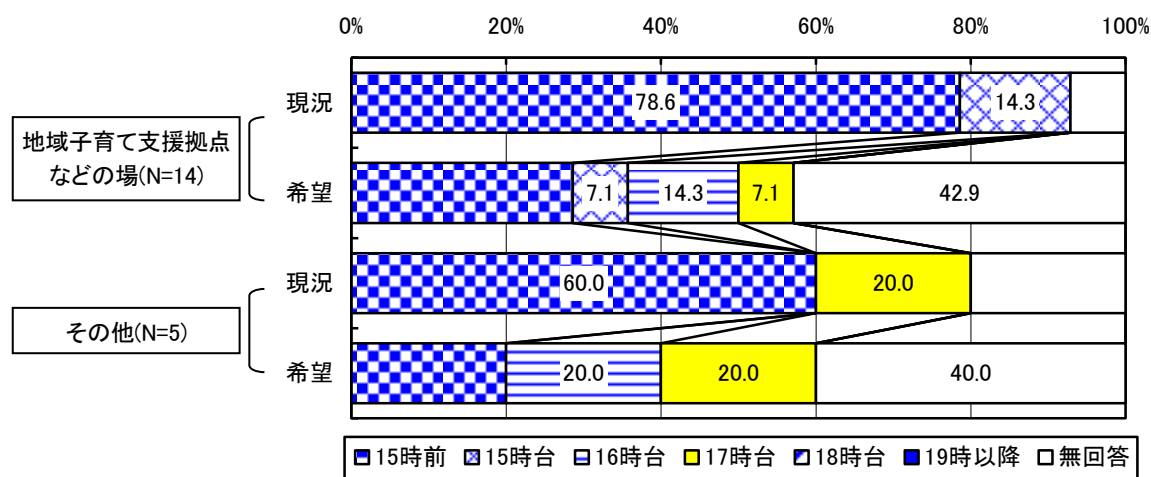


注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況が「18時台」(100.0%)、希望が「19時以降」(100.0%)
 「その他(N=2)」は、現況、希望共に「15時前」及び「17時台」(各50.0%)

< 2 歳児 (N=104) >

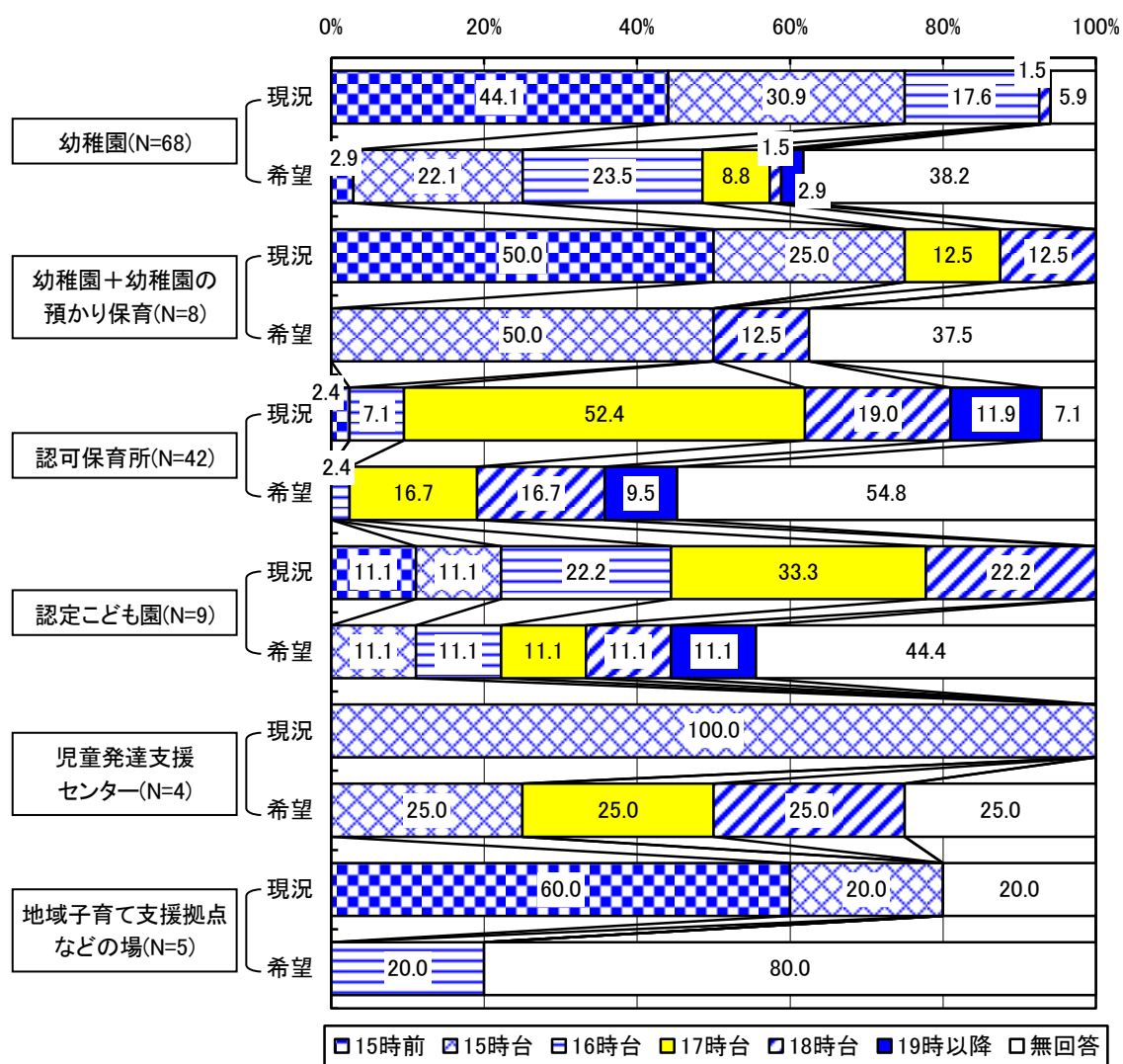


Ⅱ 就学前子ども保護者調査
2 施設やサービスの利用状況



注)「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況が「15時台」(100.0%)、希望が「16時台」(100.0%)

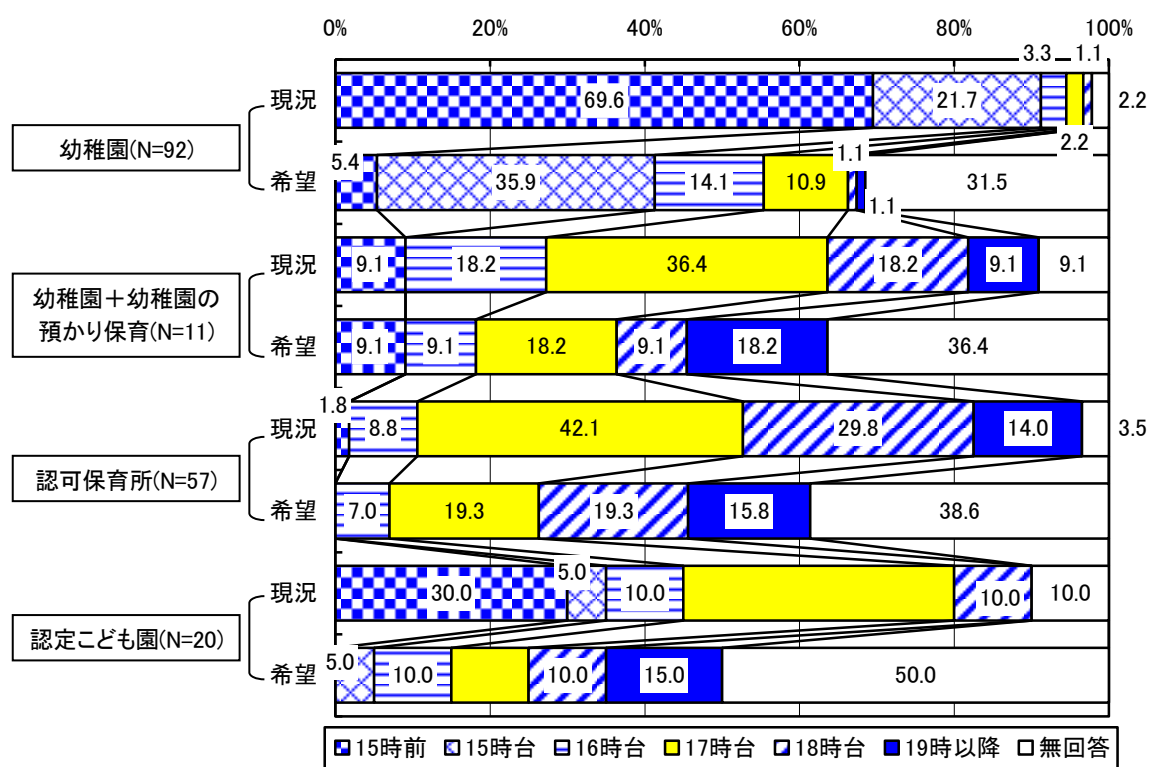
< 3 歳児 (N=135) >



注)「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況が「15時台」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

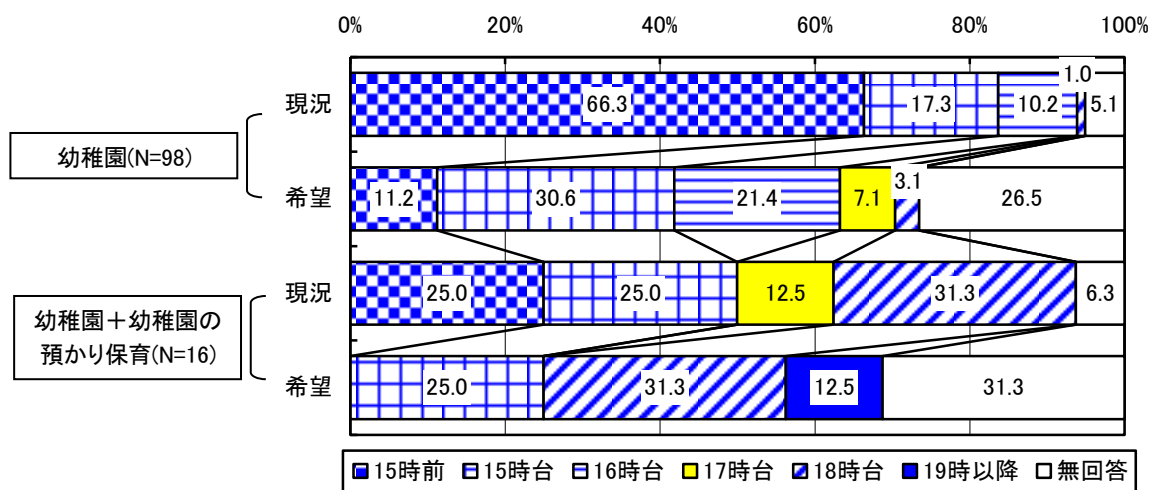
「その他(N=3)」は、現況が「15時前」(66.7%)、「15時台」(33.3%)、希望が「15時前」及び「16時台」、無回答(各33.3%)

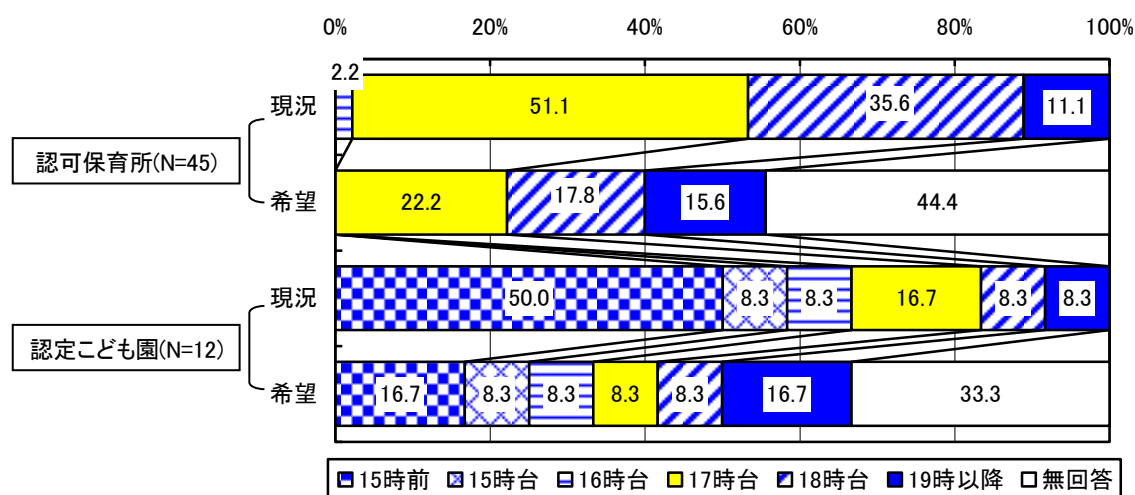
< 4 歳児 (N=177) >



注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現況が「15時台」(100.0%)、希望が「17時台」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現況が「15時台」(100.0%)、希望が「17時台」(100.0%)
「居宅訪問型保育(N=1)」は、現況が「17時台」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=3)」は、現況が「15時前」(100.0%)、希望が「15時前」及び「16時台」、無回答(各33.3%)
「ファミリー・サポート・センター(N=1)」は、現況、希望共に「18時台」(100.0%)
「その他(N=2)」は、現況が「17時台」(100.0%)、希望が「19時以降」(100.0%)

< 5 歳児 (N=170) >





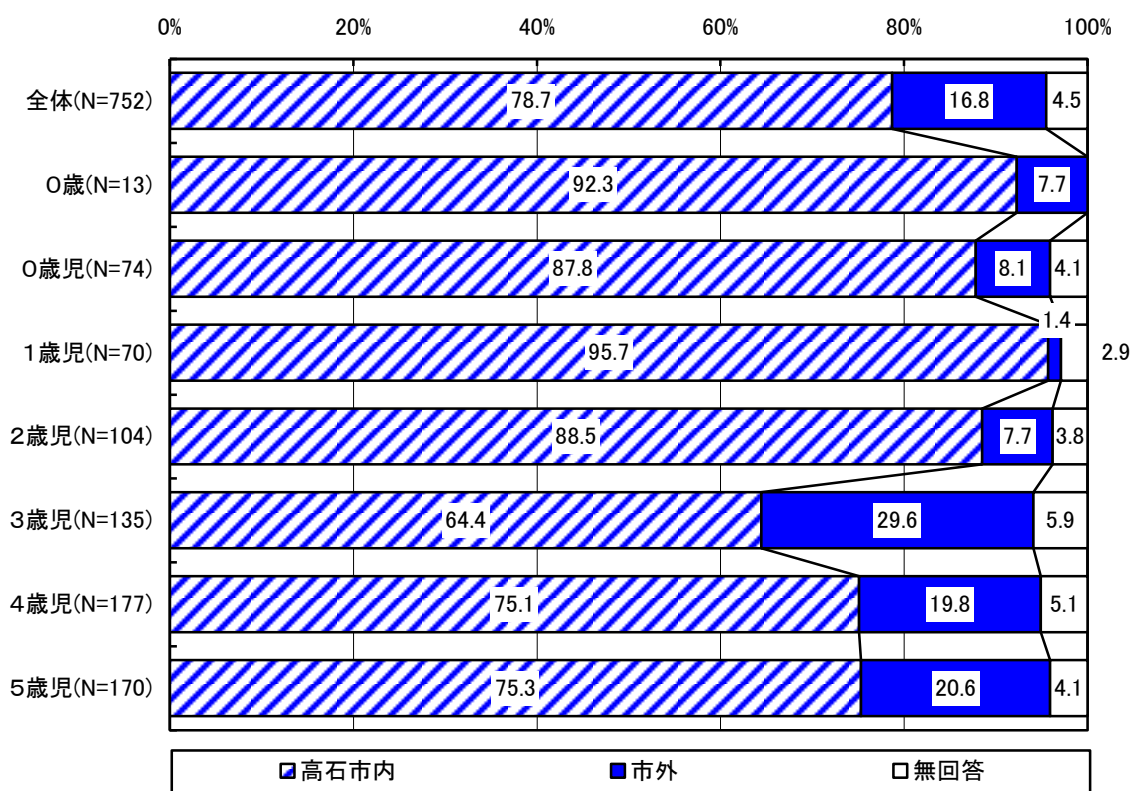
注)「児童発達支援センター(N=1)」は、現状が「15時台」(100.0%)、希望が「17時台」(100.0%)
「その他の認可外の保育施設(N=1)」は、現状、希望共に「18時台」(100.0%)
「地域子育て支援拠点などの場(N=1)」は、現状が「15時前」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)
「ファミリー・サポート・センター(N=2)」は、現状が「15時前」(100.0%)、希望が無回答(100.0%)

④ 現在利用している施設やサービスの実施場所

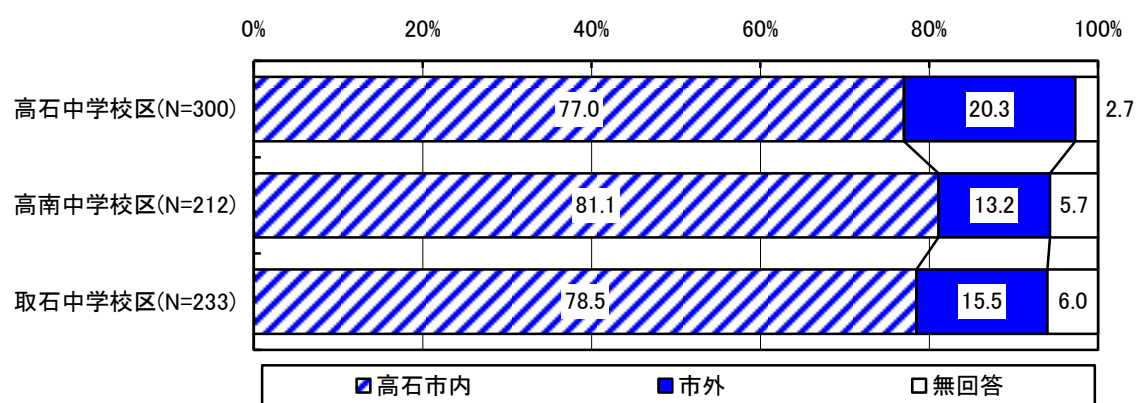
問11-3 問11で「1. 利用している」を選択した方に引き続きおうかがいします。施設やサービスはどこで利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、市外の場合は()内に市町名をご記入ください。

- 子どもを預かる施設やサービスの実施場所は、全体では「高石市内」が78.7%、「市外」が16.8%となっています。
- 子どもの年齢別では、0歳から2歳児は「市外」が10%を割っていますが、3歳児以上になると、「市外」の率が高くなり、3歳児が29.6%、4歳児が19.8%、5歳児が20.6%となっています。
- 中学校区別では、「市外」は高石中学校区が20.3%で最も高く、取石中学校区が15.5%、高南中学校区が13.2%となっています。
- 利用施設やサービス別では、回答数が少ない施設やサービスがあり、一概にはいえませんが、「市外」が最も高いのはその他の認可外の保育施設で50.0%、次いで「幼稚園」が36.7%、その他が23.1%、幼稚園+幼稚園の預かり保育が22.7%、児童発達支援センターが18.2%、認定こども園が5.0%、地域子育て支援拠点などの場が2.5%、認可保育所が0.7%で最も低くなっています。

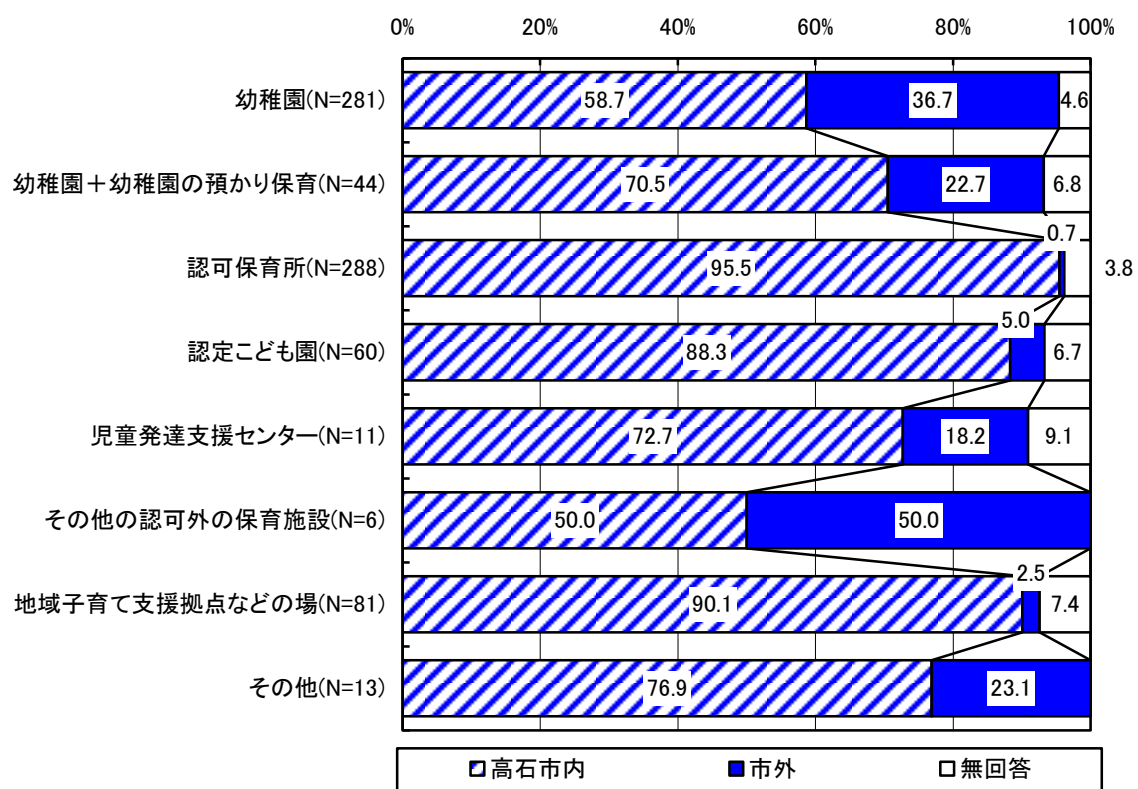
■子どもの年齢別 施設やサービスの実施場所（子ども数による集計）



■中学校区別 施設やサービスの実施場所（子ども数による集計）



■利用施設やサービス別 施設やサービスの実施場所



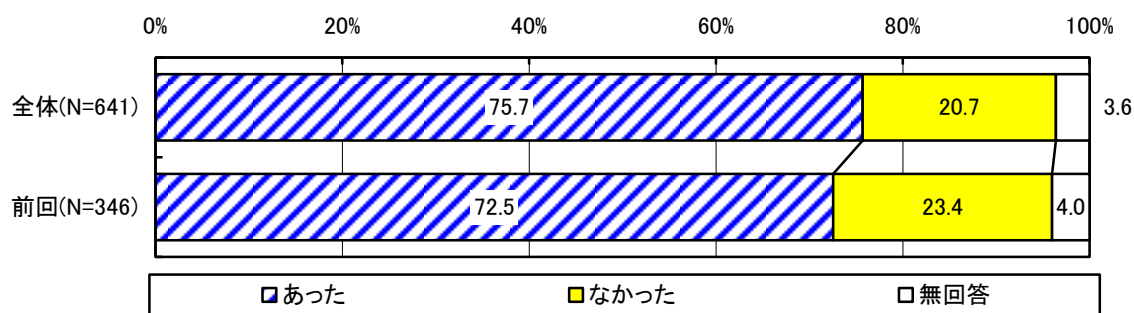
3 病児・病後児保育について

① この1年間に、子どもが病気やけがで施設やサービスを利用できなかったこと

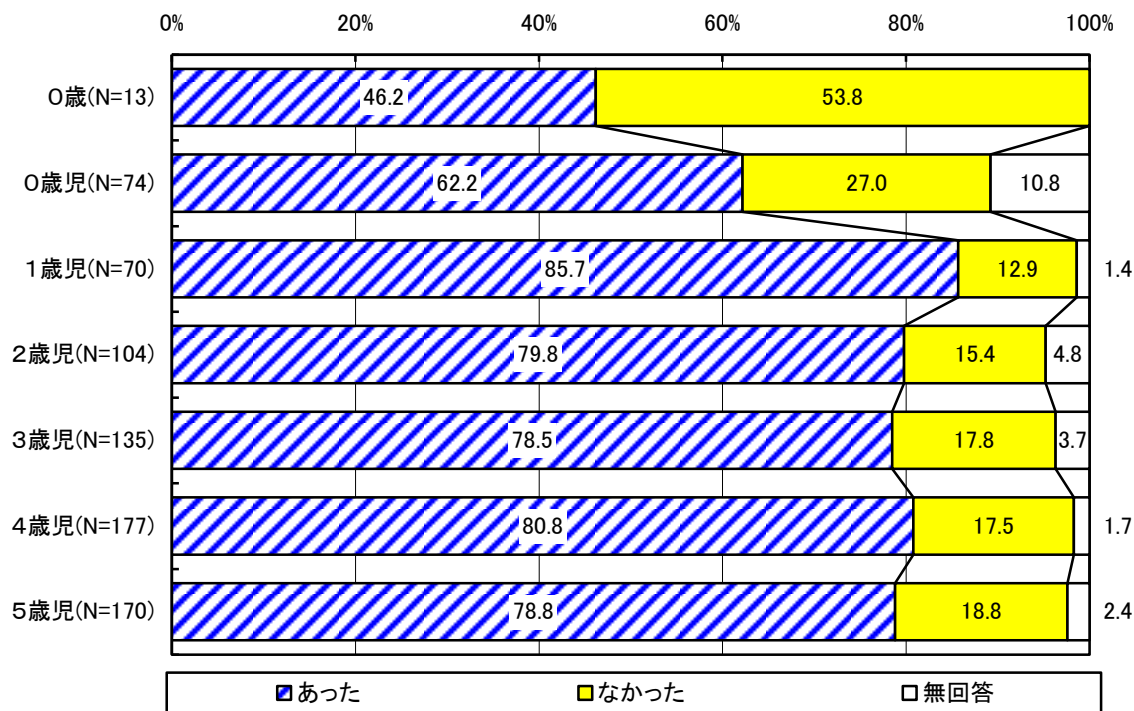
問12 問11で「1. 利用している」を選択した方に引き続き、未就学のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- この1年間に、子どもが病気やけがで施設やサービスを利用できなかったことが「あった」率は75.7%で、前回調査の72.5%より3.2ポイント高くなっています。
- 年齢別では、「あった」率は、1歳児が85.7%で最も高くなっています。

■この1年間に、子どもが病気やけがで施設やサービスを利用できなかったこと／前回調査との比較



■子どもの年齢別 施設やサービスを利用できなかったこと（子ども数による集計）

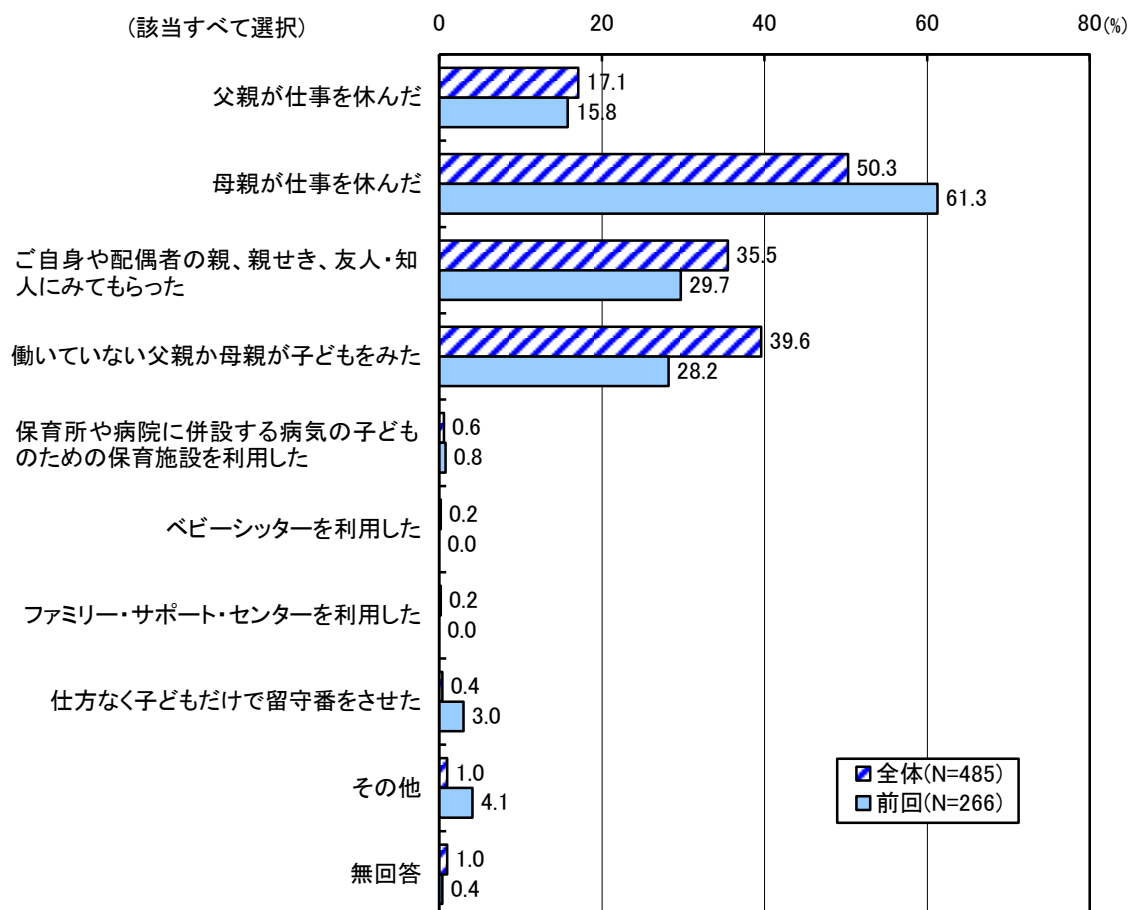


② この1年間の対処方法

問12-1 問12で「1. あった」を選択した方におうかがいします。この1年間で、お子さんが病気で幼稚園や保育所などの施設やサービスを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（ ）内に具体的な数字をご記入ください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

- この1年間の対処方法は、「母親が休んだ」が50.3%で最も高く、次いで「働いていない父親か母親が子どもをみた」が39.6%、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が35.5%、「父親が休んだ」が17.1%などで、「保育所や病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」は0.6%と低くなっています。
- 前回調査と比べると、「母親が休んだ」は11.0ポイント低下しています。反対に「働いていない父親か母親が子どもをみた」は11.4ポイント、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」は5.8ポイント高くなっています。

■ 「あった」と回答した人の、この1年間の対処方法／前回調査との比較



■対処方法別・子どもの年齢別 1年間に休んだ日数の平均

対処方法	0歳	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1. 父親が仕事を休んだ	0件	9件	20件	21件	16件	15件	14件
	0.0日	4.4日	4.6日	2.6日	2.7日	3.0日	2.1日
2. 母親が仕事を休んだ	2件	36件	43件	51件	44件	66件	48件
	10.0日	10.7日	10.4日	7.4日	7.5日	6.0日	5.8日
3. ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった	3件	17件	33件	35件	37件	34件	39件
	4.0日	6.6日	8.8日	9.4日	5.9日	5.4日	5.1日
4. 働いていない父親か母親が子どもをみた	1件	1件	9件	17件	51件	61件	62件
	10.0日	10.0日	11.6日	10.4日	6.1日	6.0日	5.3日
5. 保育所や病気の子どものための保育施設を利用した	0件	2件	0件	0件	1件	0件	1件
	0日	9.5日	0.0日	0.0日	2.0日	0.0日	2.0日
6. ベビーシッターを利用した	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	8.0日	0日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	4.0日	0日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
	0日	0日	0日	0日	0日	2.0日	3.0日
9. その他	0件	1件	1件	0件	1件	0件	2件
	0日	3.0日	4.0日	0日	2.0日	0日	5.0日

注)件数は、日数回答件数で、平均も日数回答件数による

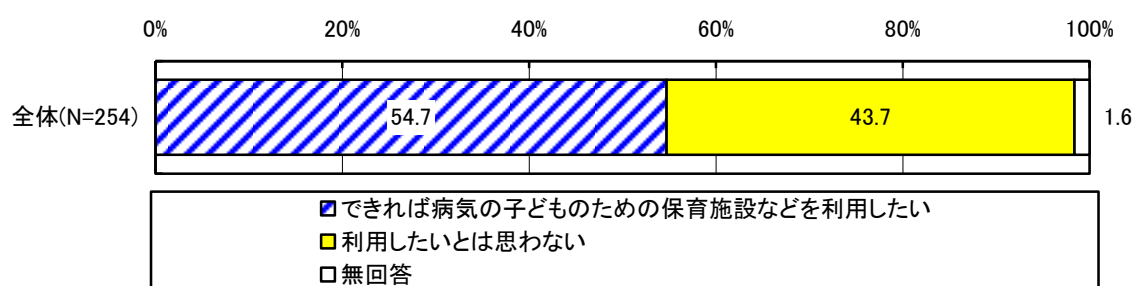
③ 病気の子どものための保育施設等の利用意向

問12-2 問12-1で「1.」「2.」を選択した、子どもの病気のため仕事を休んだ方におうかがいします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

なお、病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

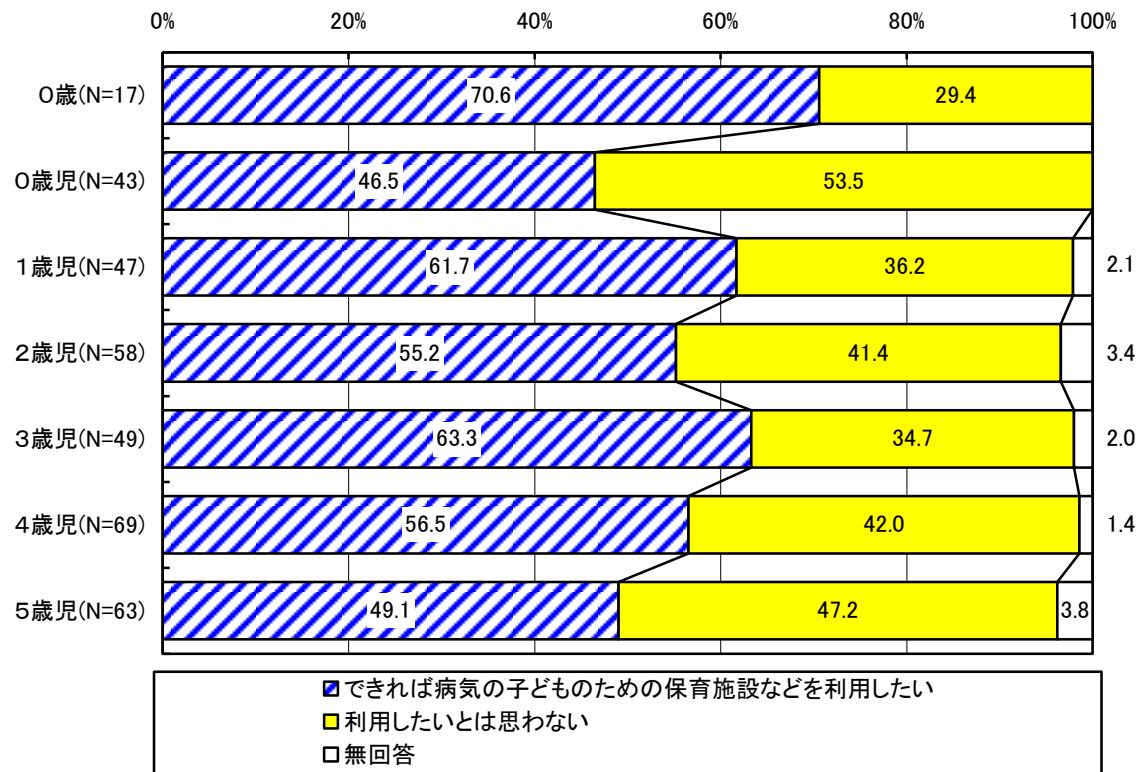
- 父親あるいは母親が仕事を休んだ人の場合、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は54.7%で、半数を超えています。

■病気の子どものための保育施設等の利用意向



- 子どもの年齢別では、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」は、0歳児が70.6%で最も高く、次いで3歳児が63.3%、1歳児が61.7%などとなっています。

■子どもの年齢別 病気の子どものための保育施設等の利用意向（子ども数による集計）



■子どもの年齢別 利用したい日数

対処方法	0歳	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
できれば病気の子どものための 保育施設などを利用したい	2件	17件	26件	30件	28件	38件	25件
	13.5日	9.4日	13.3日	21.1日	8.1日	8.1日	6.9日

注) 件数は、日数回答件数で、平均も日数回答件数による

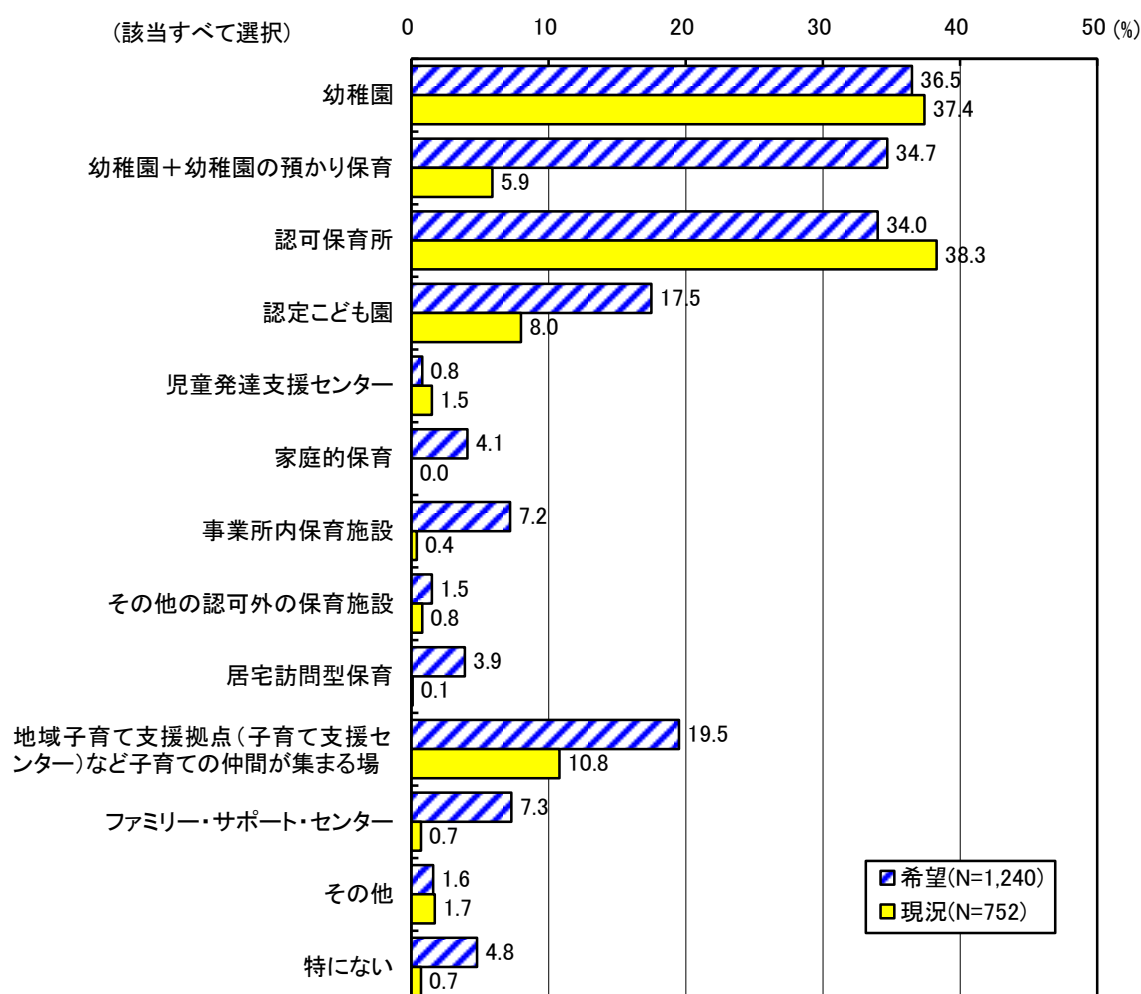
4 施設やサービスの利用意向

① 今後定期的に利用したい施設やサービス

問13 幼稚園や保育所などの施設やサービスを、現在利用している、利用していないにかかわらず、平日（月曜日から金曜日）に未就学のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える施設やサービスをお答えください。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するためには、一定の利用料を支払う必要があります。

- 今後定期的に利用したいと考える施設やサービスは、「幼稚園」が36.5%で最も高く、次いで「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が34.7%で、合わせて【幼稚園】は71.2%となります。「認可保育所」が34.0%、「地域子育て支援拠点（子育て支援センター）など子育ての仲間が集まる場」が19.5%、「認定こども園」が17.5%などとなっています。
- 「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」の利用希望率は、現在の利用に比べておよそ6倍と高くなっています。また、「認定こども園」をはじめ他の保育サービスも現況より高くなっています。

■今後定期的に利用したい施設やサービス／現在の利用状況との比較
(子ども数による集計)



- 子どもの年齢別では、0歳～1歳児は「認可保育所」、2歳児は「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」、3歳児～5歳児は「幼稚園」（5歳児は「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」が同率）の利用希望率が最も高く、次いで0歳と0歳児は「地域子育て支援拠点（子育て支援センター）など子育ての仲間が集まる場」、1歳児は「幼稚園」、2歳児と5歳児は「認可保育所」、3歳児と4歳児は「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」などとなっています。ただし、いずれの年齢も【幼稚園】利用が認可保育所を上回ります。
- 中学校区別では、高石中学校区は「幼稚園」、高南中学校区と取石中学校区は「認可保育所」がトップとなっています。ただし、【幼稚園】はどの中学校区も60%を超えます。

■子どもの年齢（児童数）別 今後定期的に利用したい施設やサービス

	回答数	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	児童発達支援センター	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点（子育て支援センター）など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	特になし
0歳	109	28.4	28.4	50.5	28.4	—	6.4	11.0	0.9	5.5	42.2	15.6	0.9	2.8
0歳児	207	27.5	28.0	43.5	24.2	—	5.3	11.1	3.4	6.8	35.3	9.7	1.0	4.8
1歳児	150	35.3	26.0	43.3	18.7	0.7	2.0	3.3	1.3	4.0	28.0	7.3	0.7	6.0
2歳児	186	32.3	43.5	35.5	18.8	1.1	7.0	7.5	2.2	7.0	24.2	8.1	3.2	3.8
3歳児	169	49.1	42.0	28.4	15.4	1.8	3.6	5.3	1.2	1.8	7.7	5.9	2.4	7.1
4歳児	186	43.5	33.3	28.5	12.4	0.5	2.2	6.5	0.5	1.1	3.8	4.8	2.2	4.3
5歳児	183	43.2	43.2	23.0	11.5	1.1	3.8	6.6	1.1	2.2	6.0	4.9	1.1	5.5

注) 網掛け 第1位 第2位 第3位

■地域別 今後定期的に利用したい施設やサービス

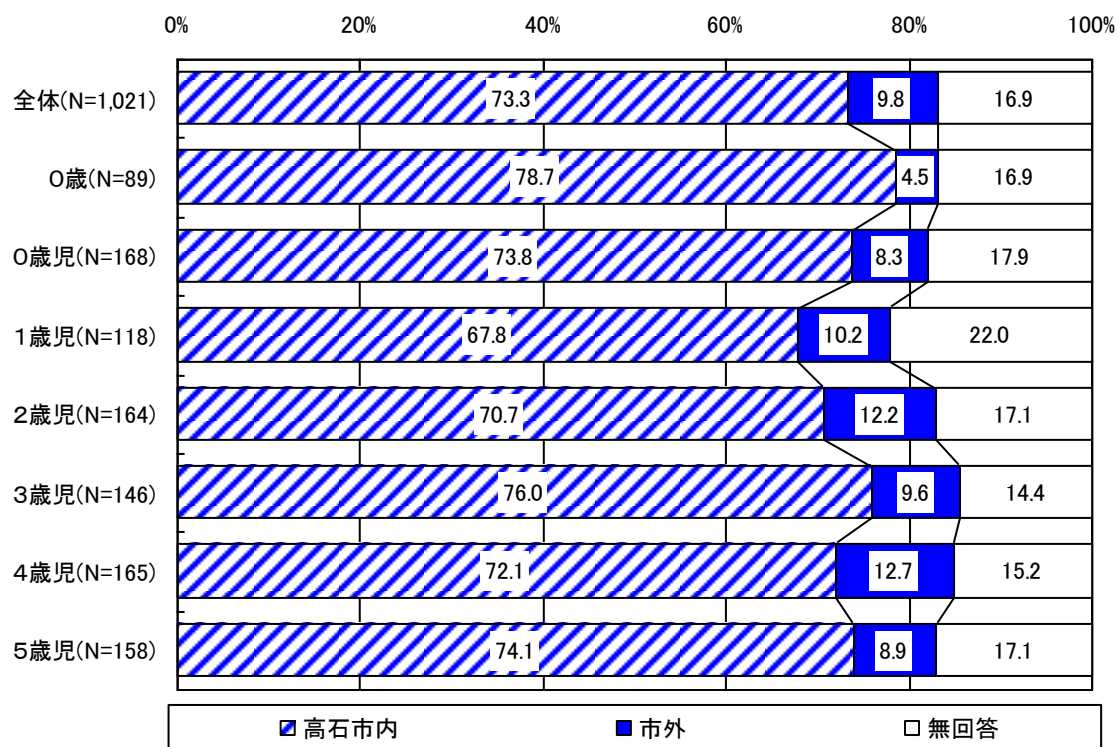
	回答数	幼稚園	幼稚園＋幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	児童発達支援センター	家庭的保育	事業所内保育施設	その他の認可外の保育施設	居宅訪問型保育	地域子育て支援拠点（子育て支援センター）など子育ての仲間が集まる場	ファミリー・サポート・センター	その他	特になし
高石中学校区	481	40.1	38.0	32.2	13.3	0.6	6.9	5.8	1.2	5.8	19.5	8.7	2.1	3.3
高南中学校区	346	35.3	31.8	37.6	15.3	0.6	3.8	6.4	0.9	3.5	19.1	4.3	1.2	6.6
取石中学校区	395	32.9	33.2	33.4	24.6	1.0	1.0	9.9	2.5	1.8	19.5	8.1	1.5	5.1

② 今後利用したい施設やサービスの希望実施場所

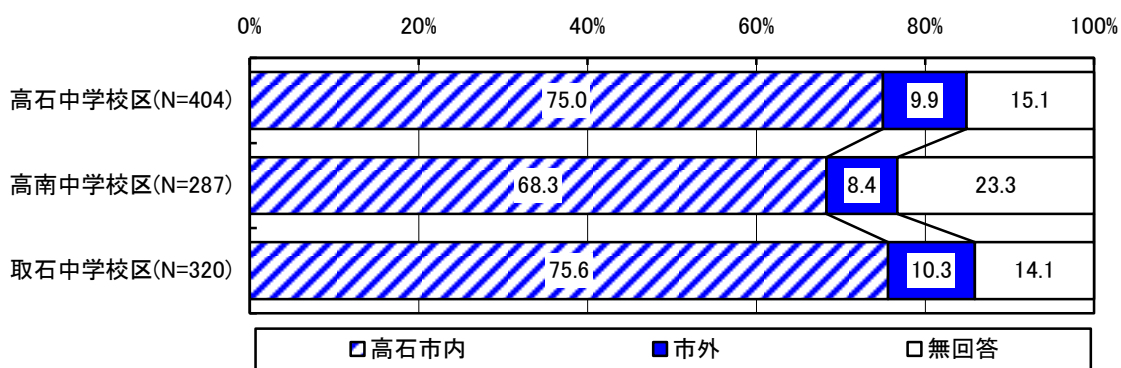
問13-1 問13で「1.」から「5.」、「7.」から「8.」のいずれかを選択し方におうかがいします。施設やサービスはどこで利用したいですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、市外の場合は（ ）内に市町名をご記入ください。

- 子どもの年齢別の施設やサービスの希望場所は、全体では「高石市内」が73.3%、「市外」が9.8%となっています。
- 子どもの年齢別では、どの年齢も「高石市内」が60%を超えていますが、「市外」が10%を超えるのは4歳児（12.7%）や2歳児（12.2%）、1歳児（10.2%）となっています。
- 中学校区別では、「市外」は取石中学校区が10.3%、高石中学校区が9.9%、高南中学校区が8.4%で、どの中学校区も現在の利用率よりも低くなっています。

■子どもの年齢別 今後利用したい施設やサービスの希望実施場所(子ども数による集計)

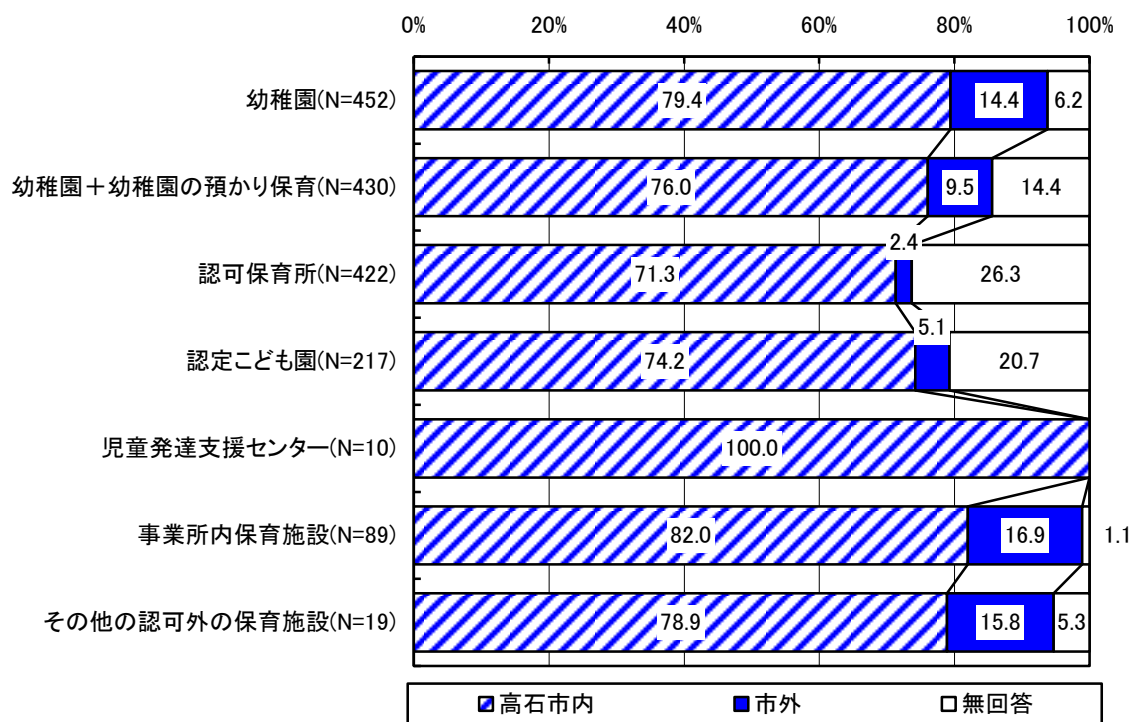


■中学校区別 今後利用したい施設やサービスの希望実施場所



- 利用施設やサービス別では、無回答が多い施設やサービスがあり、一概にはいえませんが、現在の利用で最も「市外」の率が高かったその他の認可外の保育施設は15.8%とおおよそ1/3に低下しています。他の施設やサービスでも現況より低下しています。

■利用施設やサービス別 今後利用したい施設やサービスの希望実施場所



5 土曜・休日や長期休暇中の利用希望

① 土曜日の利用意向

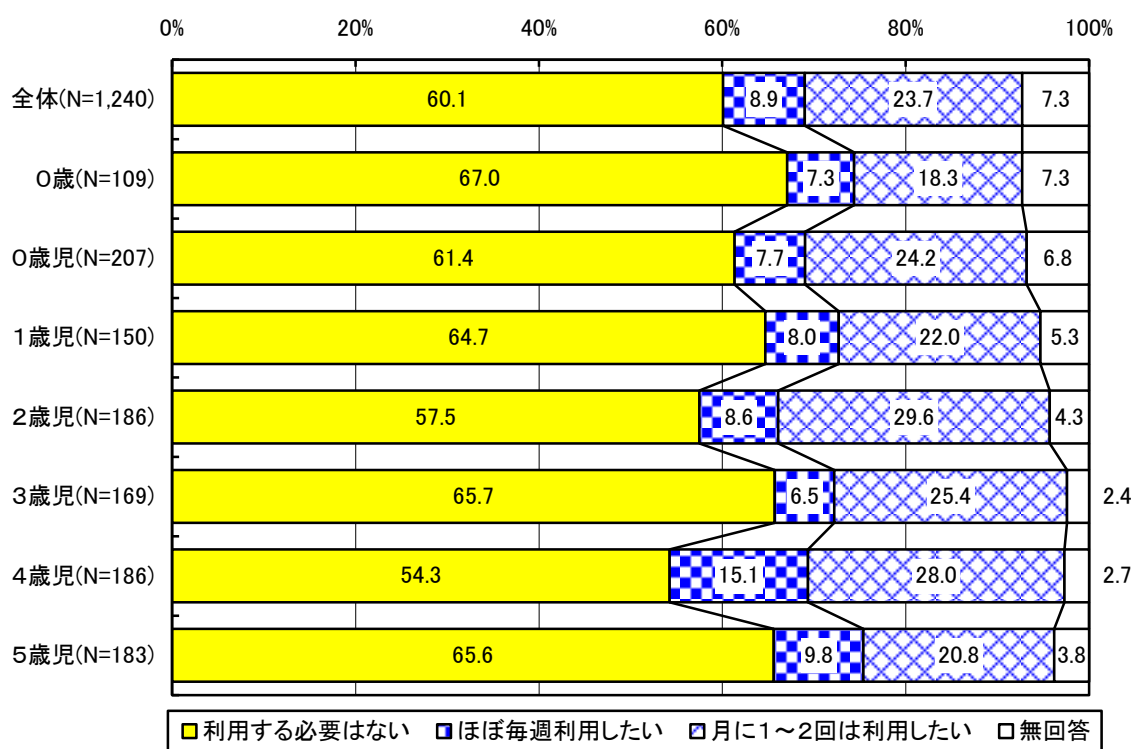
問14 未就学のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所などの利用希望がありますか（仕事や介護などになる定期的な理由で、一時的な利用は除きます）。お子さんの年齢の該当する欄のあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず（9:00～18:00）のように24時間制でご記入ください。

なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

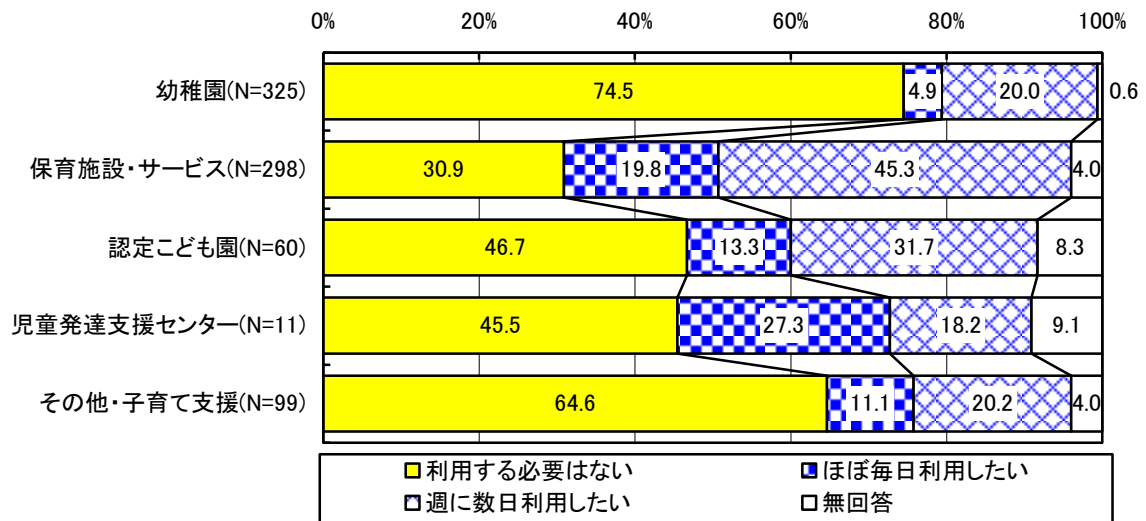
（1）土曜日 （2）日曜日・祝日

- 幼稚園や保育所などの土曜日の利用について、全体では「利用する必要はない」が60.1%と高く、【利用したい】率は「ほぼ毎週利用したい」（8.9%）と「月に1～2回は利用したい」（23.7%）を合わせて32.6%となっています。
- 子どもの年齢別では、「ほぼ毎週利用したい」は4歳児が15.1%で最も高く、「月に1～2回は利用したい」は2歳児が29.6%で最も高くなっています。両方を合わせた【利用したい】率は、4歳児が43.1%で最も高く、次いで2歳児が38.2%、0歳児及び3歳児がそれぞれ31.9%、5歳児が30.6%、1歳児が30.0%、0歳が25.6%で最も低くなっています。
- 利用施設やサービス別の土曜日に【利用したい】率は、保育施設・サービスが65.1%で最も高く、児童発達支援センターが45.5%、認定こども園が45.0%、その他・子育て支援が31.3%、幼稚園（預かり保育も含む）が24.9%となっています。

■子どもの年齢（児童数）別 土曜日の利用意向（子ども数による集計）

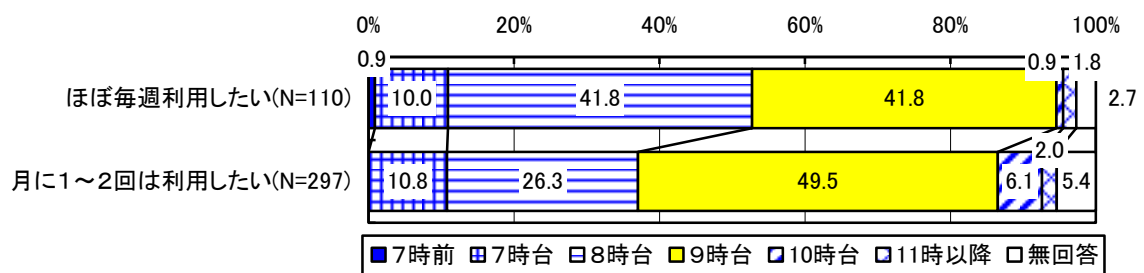


■利用施設やサービス別 土曜日の利用意向（子ども数による集計）

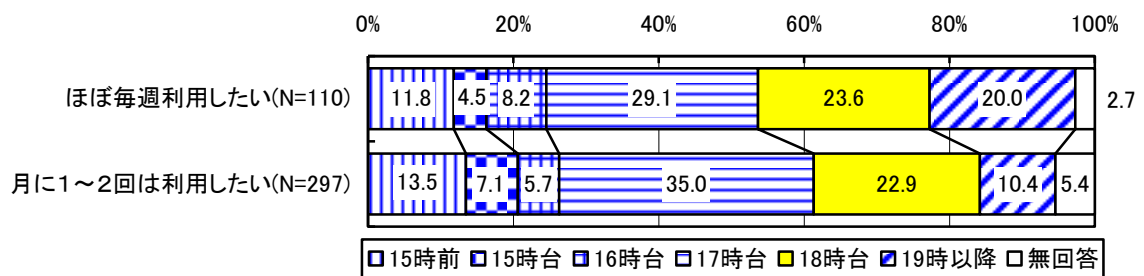


- 土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「8時台」及び「9時台」がそれぞれ41.8%、「7時台」が10.0%などとなっています。「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「9時台」が49.5%、「8時台」が26.3%、「7時前」が10.8%、「10時台」が6.1%などとなっています。
- 土曜日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望終了時間は、「17時台」が29.1%、「18時台」が23.6%、「19時以降」が20.0%などとなっています。「月に1～2回は利用したい」人の希望終了時間は、「17時台」が35.0%、「18時台」が22.9%などで、「ほぼ毎週利用したい」人に比べて「19時以降」が低くなっています。

■土曜日の利用希望別 希望開始時間（子ども数による集計）



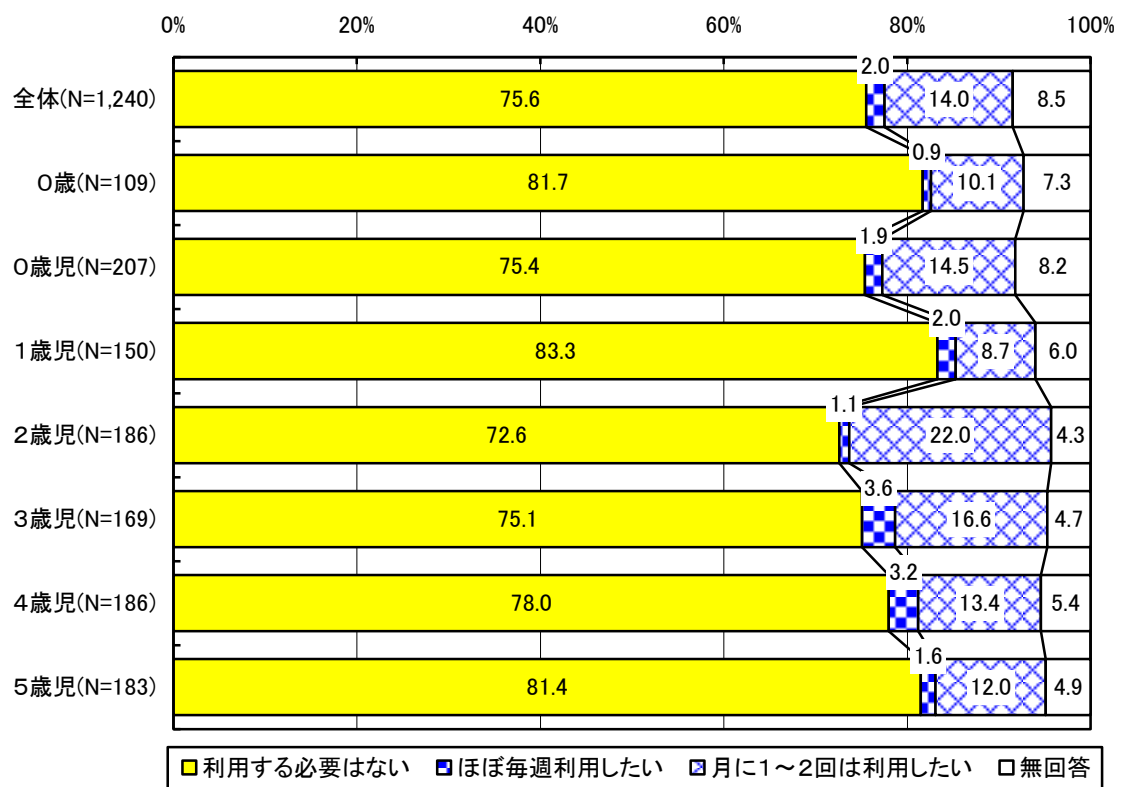
■土曜日の利用希望別 希望終了時間（子ども数による集計）



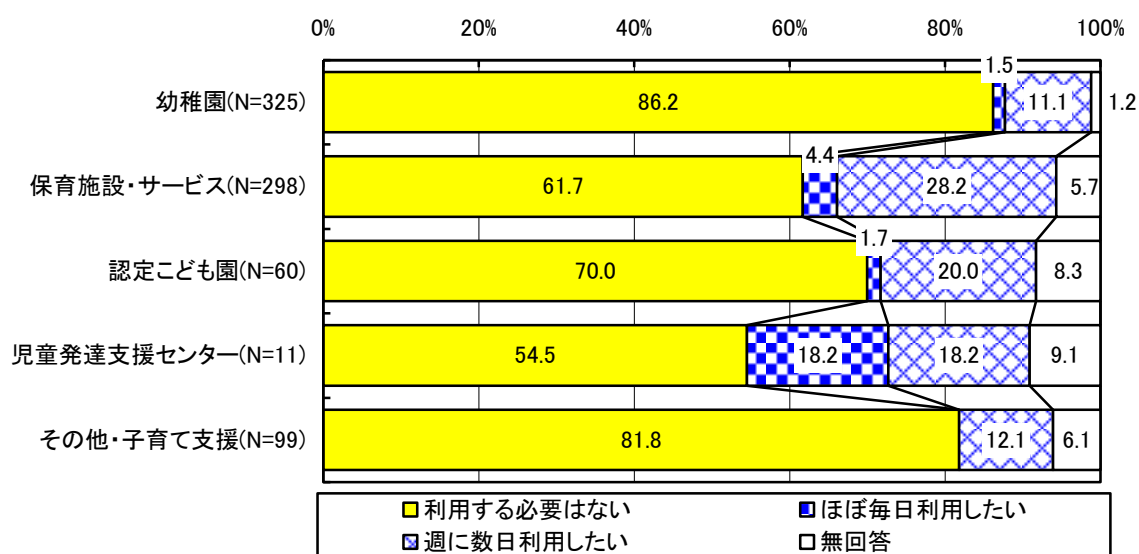
② 日曜日・祝日の利用意向

- 幼稚園や保育所などの日曜日・祝日の利用について、全体では「利用する必要はない」が75.6%で、土曜日より15.5ポイント高くなっています。【利用したい】率は「ほぼ毎週利用したい」（2.0%）と「月に1～2回は利用したい」（14.0%）を合わせて16.0%となっています。
- 子どもの年齢別では、土曜日と異なり、「ほぼ毎週利用したい」は各年齢層で4%を割って低く、最も高い3歳児で3.6%となっています。「月に1～2回は利用したい」を合わせた【利用したい】率は、2歳児が23.1%で最も高く、3歳児が19.9%、4歳児が16.6%、0歳児が16.4%、5歳児が13.6%、0歳が11.0%、1歳児が10.7%で最も低くなっています。
- 利用施設やサービス別の日曜日・祝日に【利用したい】率は、児童発達支援センターが36.4%で最も高く、保育施設・サービスが32.6%、認定こども園が21.7%、幼稚園が12.6%、その他・子育て支援が12.1%となっています。

■子どもの年齢（児童数）別 日曜日・祝日の利用意向（子ども数による集計）

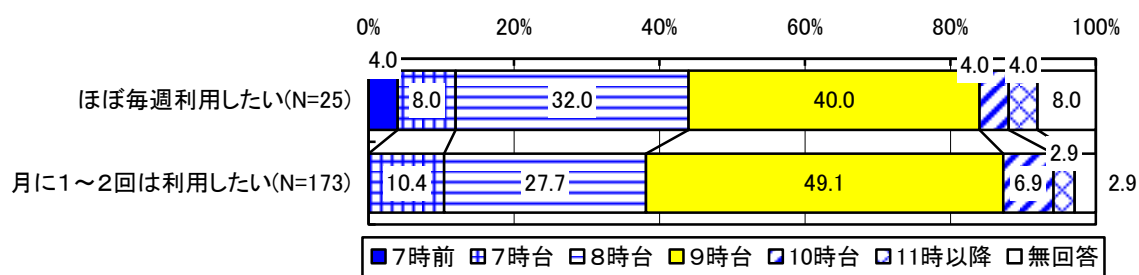


■利用施設やサービス別 日曜日・祝日の利用意向（子ども数による集計）

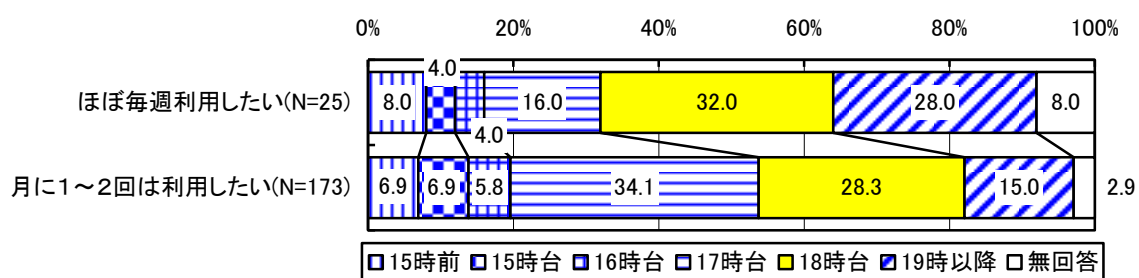


- 日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望開始時間は、「9時台」が40.0%、「8時台」が32.0%、「7時台」が8.0%などとなっています。「月に1～2回は利用したい」人の希望開始時間は、「9時台」が49.1%、「8時台」が27.7%、「7時台」が10.4%などで、「ほぼ毎週利用したい」人に比べて【9時以降】が高くなっています。
- 日曜日・祝日に「ほぼ毎週利用したい」人の希望終了時間は、「18時台」が32.0%、「19時以降」が28.0%、「17時台」が16.0%などとなっています。「月に1～2回は利用したい」人の希望終了時間は、「17時台」が34.1%、「18時台」が28.3%、「19時以降」が15.0%などで、「ほぼ毎週利用したい」人に比べて【18時以降】が低くなっています。

■日曜日・祝日の利用希望別 希望開始時間（子ども数による集計）



■日曜日・祝日の利用希望別 希望終了時間（子ども数による集計）



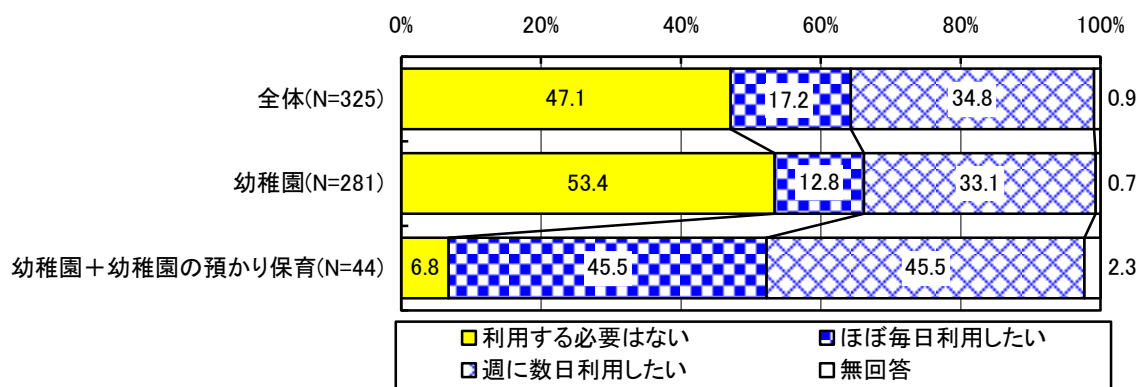
③ 幼稚園の長期休暇中の利用意向

問15 お子さんが「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。それ以外の方は問16へお進みください。「幼稚園」を利用されている方は、夏休み・冬休みなど長期休暇中の利用を希望しますか。お子さんの年齢の該当する欄のあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、希望がある場合は、() 内に具体的な数字をご記入ください。時間は、必ず(9:00~18:00)のように24時間制でご記入ください。

なお、これらの施設などを利用するには、一定の利用料が発生します。

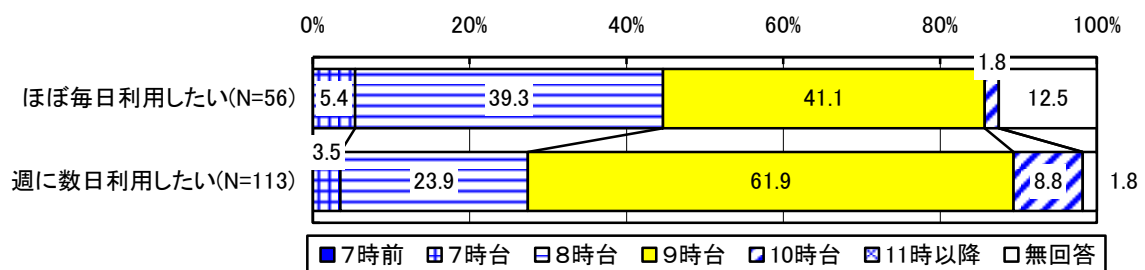
- 幼稚園の長期休暇中の利用について、全体では「利用する必要はない」が47.1%とおおよそ半数を占めます。また、「ほぼ毎日利用したい」が17.2%、「週に数日利用したい」が34.8%で、合わせて【利用したい】率は52.0%と半数を超えます。
- 利用幼稚園別の【利用したい】率は、幼稚園が45.9%、幼稚園+幼稚園の預かり保育が91.0%で、幼稚園+幼稚園の預かり保育が高くなっています。

■利用幼稚園別 長期休暇中の利用意向（子ども数による集計）

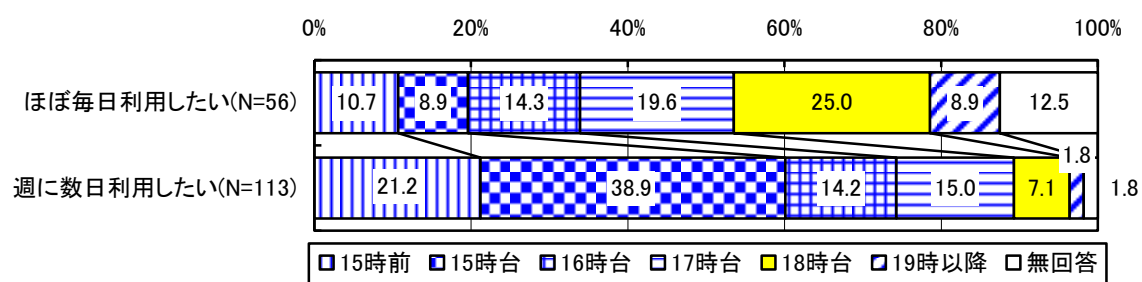


- 「ほぼ毎日利用したい」人も「週に数日利用したい」人も、希望開始時間は「9時台」が最も高く、それぞれ41.1%、61.9%となっています。
- 希望終了時間は、「ほぼ毎日利用したい」人は「18時台」が25.0%で最も高く、「週に数日利用したい」人は、「15時台」が38.9%で最も高くなっています。

■長期休暇中の利用希望別 希望開始時間（児童数統合）



■長期休暇中の利用希望別 希望終了時間（児童数統合）



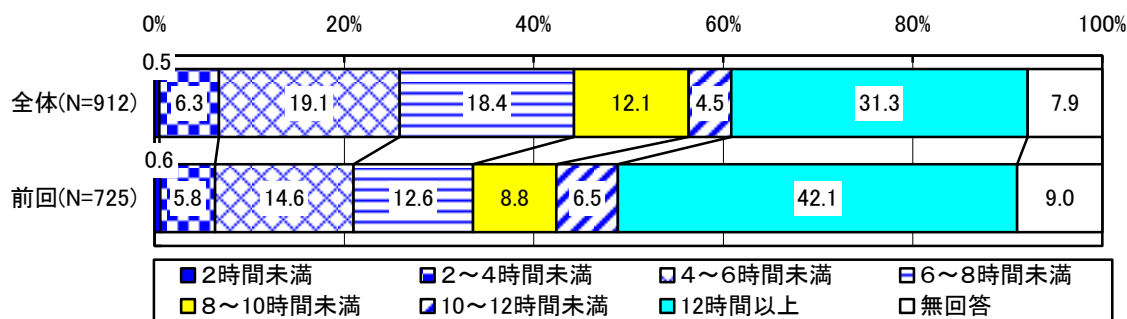
6 仕事と子育ての両立について

① 子どもと一緒に過ごす時間

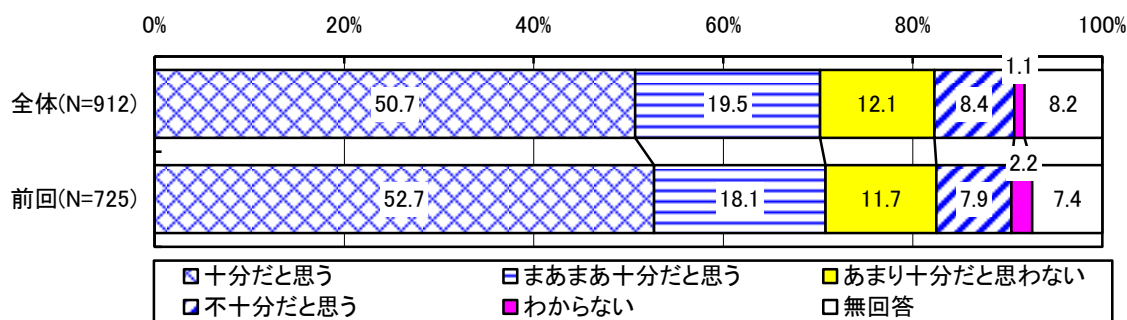
問16 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。1週間の平均的な時間を（ ）内にご記入ください。また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。なお、夜間の睡眠時間は含みません。

- 母親が子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」が31.3%で最も高く、「4～6時間未満」が19.1%、「6～8時間未満」が18.4%、「8～10時間未満」が12.1%などとなっています。前回調査に比べて【10時間未満】の率が高くなっています。
- 母親が子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が50.7%で最も高く、「まあまあ十分だと思う」が19.5%で、合わせて【十分】が70.2%となっています。また、「あまり十分だと思わない」が12.1%、「不十分だと思う」が8.4%で、合わせて【不十分】が20.5%となっています。前回調査と比べてそれぞれの項目に大差ありません。
- 親の就労状況による家庭類型別では、【十分】（十分だと思う＋まあまあ十分だと思う）はひとり親が32.6%で最も低く、フルタイム共働きが41.0%、フルタイム・パート等共働きが73.3%、専業主婦（主夫）が86.4%で、専業主婦（主夫）が最も高くなっています。

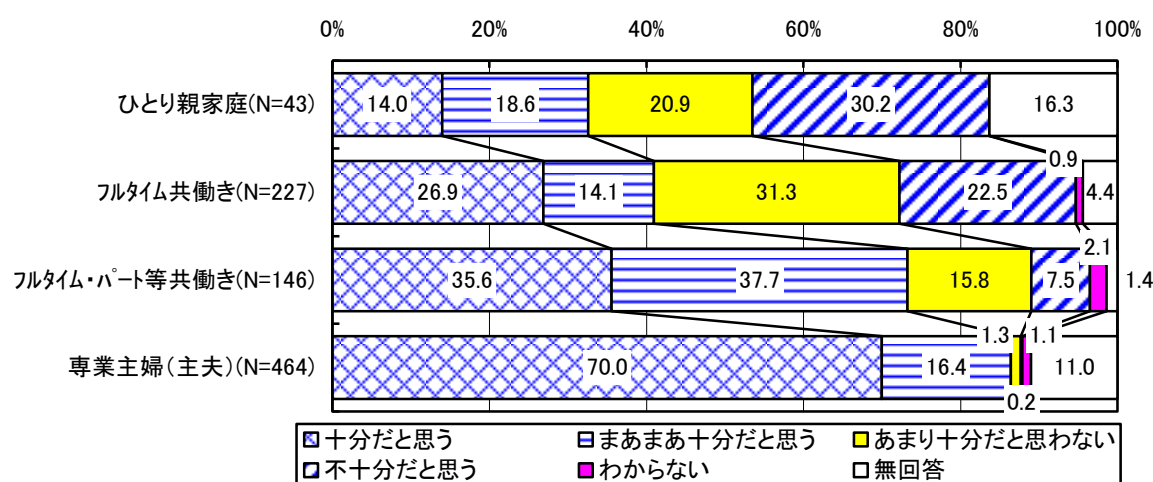
■ 母親が子どもと一緒に過ごす時間／前回調査との比較



■ 母親が子どもと一緒に過ごす時間について／前回調査との比較



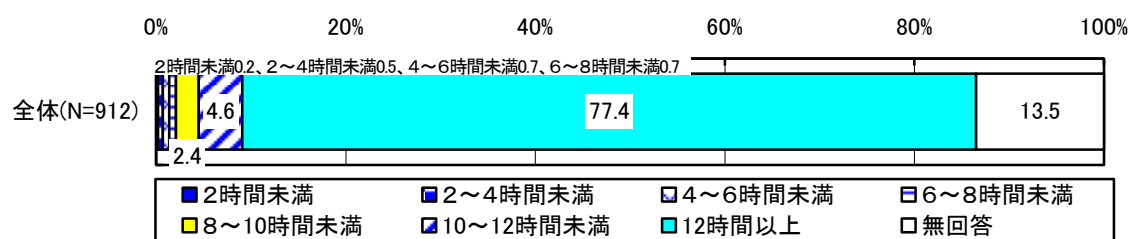
■家庭類型別 母親が子どもと一緒に過ごす時間について



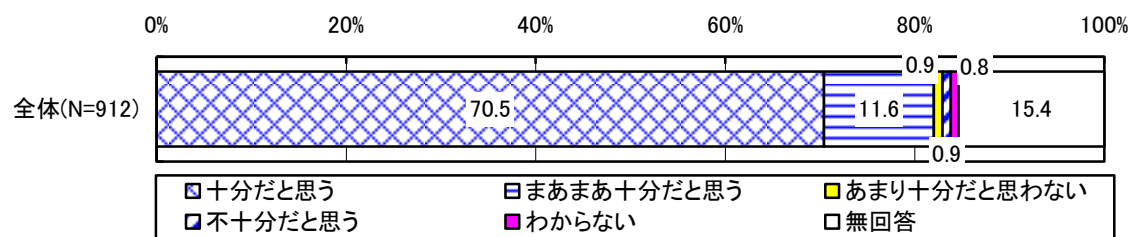
注)パート等共働き(N=1)は「まあまあ十分だと思う」(100.0%)、共に未就労(N=2)は「十分だと思う」及び「まあまあ十分だと思う」(各50.0%)

- 母親が休日に子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」が77.4%で最も高く、「10～12時間未満」が4.6%などとなっています。
- 母親が休日に子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が70.5%で最も高く、「まあまあ十分だと思う」が11.6%で、合わせて【十分】が82.1%となっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、【十分】はひとり親が62.8%で最も低く、フルタイム共働きが84.1%、フルタイム・パート等共働きが88.3%、専業主婦(主夫)が81.3%で、フルタイム・パート等共働きが最も高くなっています。

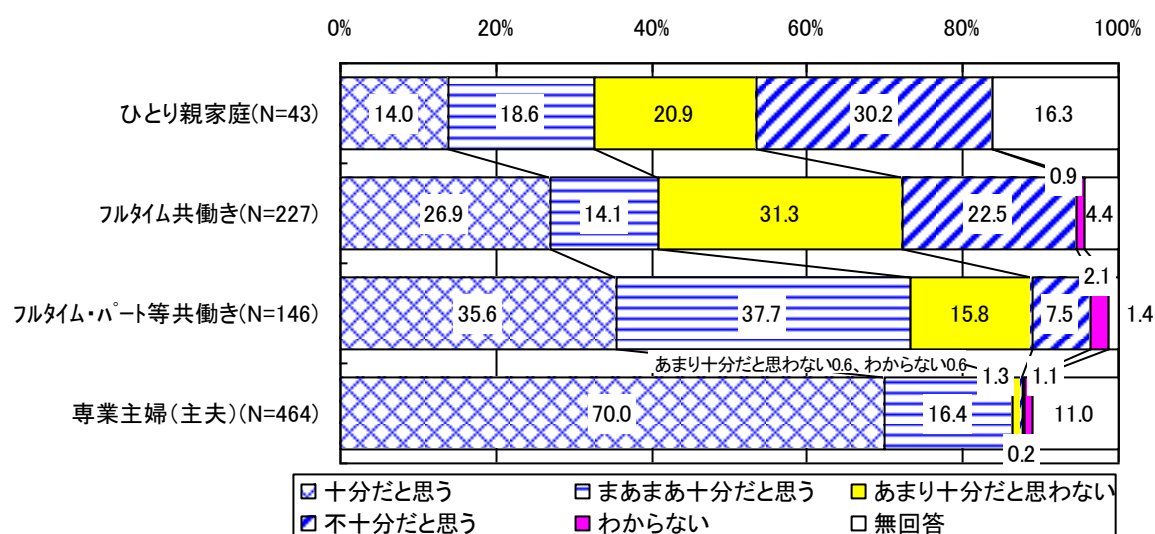
■母親が休日に子どもと一緒に過ごす時間



■母親が休日に子どもと一緒に過ごす時間について

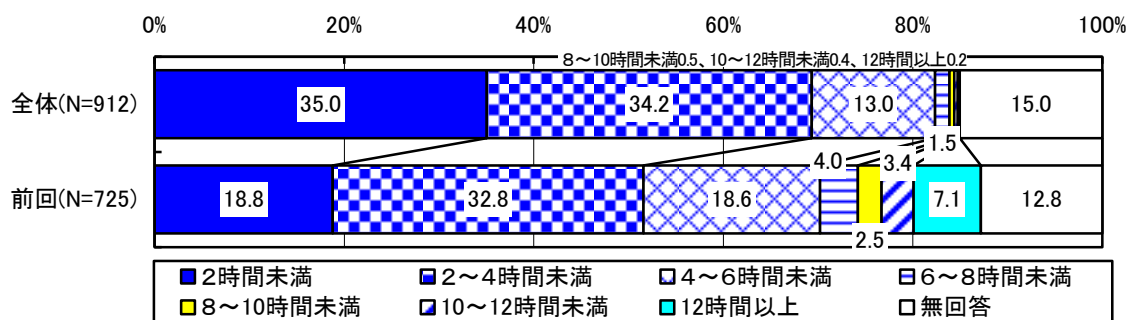


■家庭類型別 母親が休日に子どもと一緒に過ごす時間について

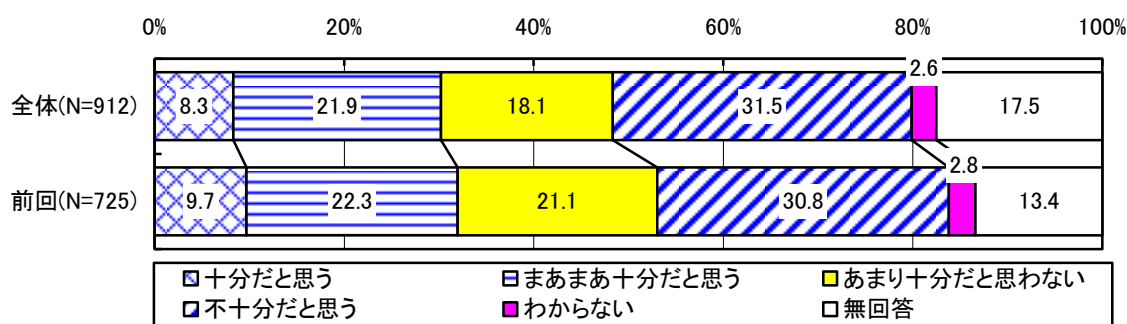


- 父親が子どもと一緒に過ごす時間は、「2時間未満」が35.0%、「2～4時間未満」が34.2%、「4～6時間未満」が13.0%などとなっています。前回調査に比べて4時間未満の率が高くなっています。
- 父親が子どもと一緒に過ごす時間について、「不十分だと思う」が31.5%、「あまり十分だと思わない」が18.1%で、合わせて【不十分】が49.6%で、前回調査と比べて大差ありません。
- 親の就労状況による家庭類型別では、無回答が多いひとり親を除くと、【不十分】はフルタイム共働きが64.3%、フルタイム・パート等共働きが56.2%、専業主婦(主夫)が46.3%で、フルタイム共働きが最も高くなっています。

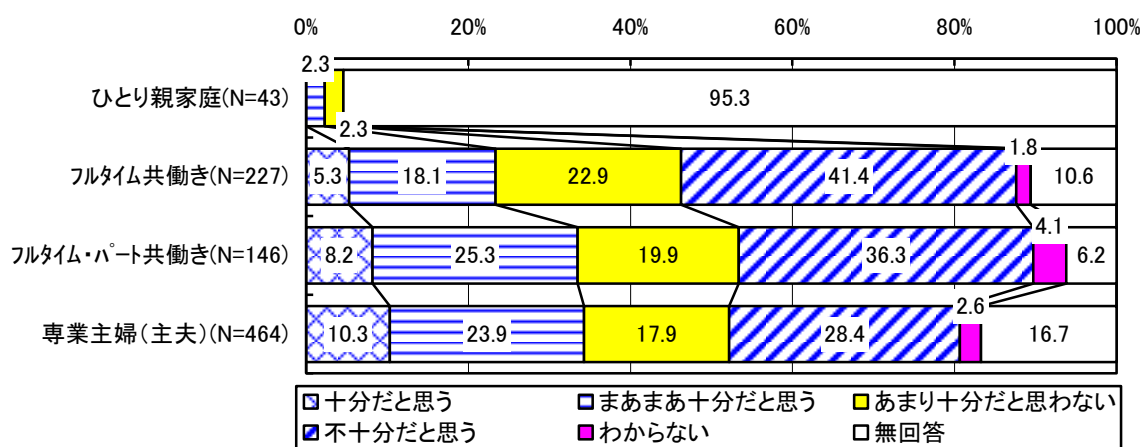
■父親が子どもと一緒に過ごす時間／前回調査との比較



■父親が平日に子どもと一緒に過ごす時間について／前回調査との比較



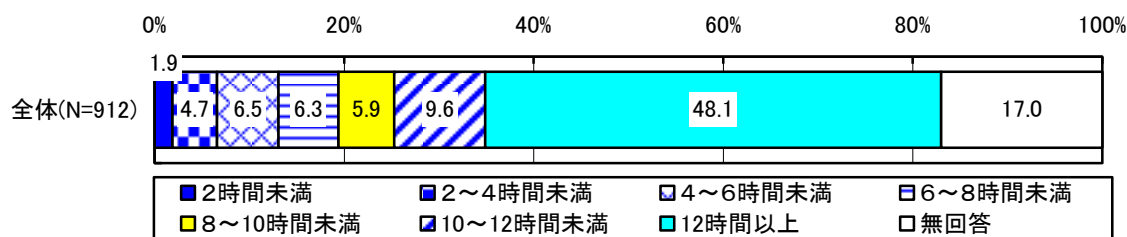
■家庭類型別 父親が平日に子どもと一緒に過ごす時間について



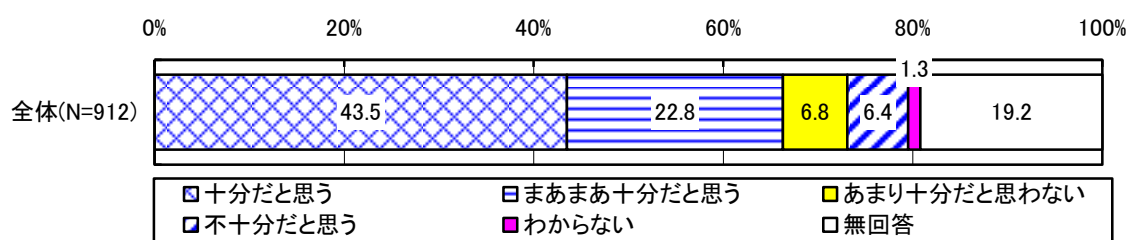
注)パート等共働き(N=1)は「まあまあ十分だと思う」(100.0%)、共に未就労(N=2)は「十分だと思う」及び無回答(各50.0%)

- 父親が休日に子どもと一緒に過ごす時間は、「12時間以上」が48.1%で最も高く、「10～12時間未満」が9.6%などとなっています。
- 父親が休日に子どもと一緒に過ごす時間については、「十分だと思う」が43.5%、「まあまあ十分だと思う」が22.8%で、合わせて【十分】が66.3%となっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、無回答が多いひとり親を除くと、【十分】はフルタイム共働きが68.8%、フルタイム・パート等共働きが72.6%、専業主婦(主夫)が69.2%で、フルタイム・パート等共働きが最も高くなっています。

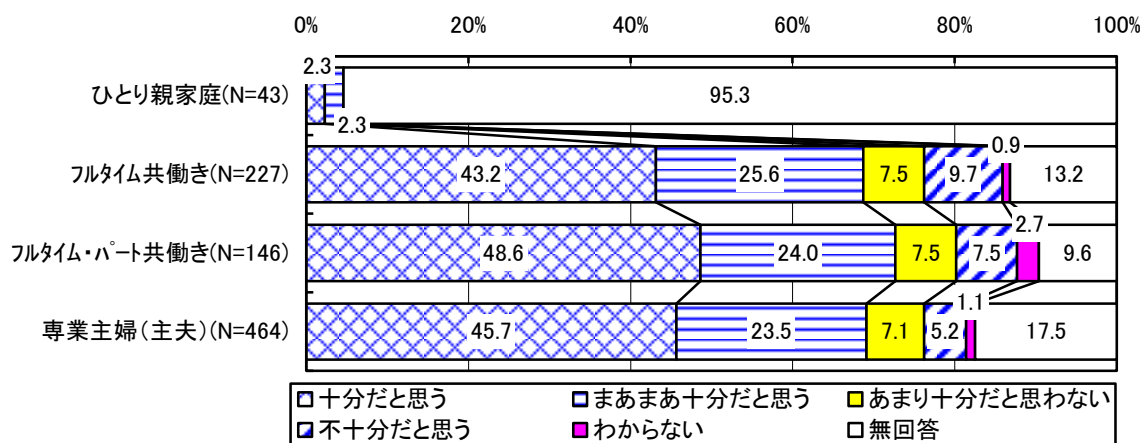
■父親が休日に子どもと一緒に過ごす時間



■父親が休日に子どもと一緒に過ごす時間について



■家庭類型別 父親が休日に子どもと一緒に過ごす時間について



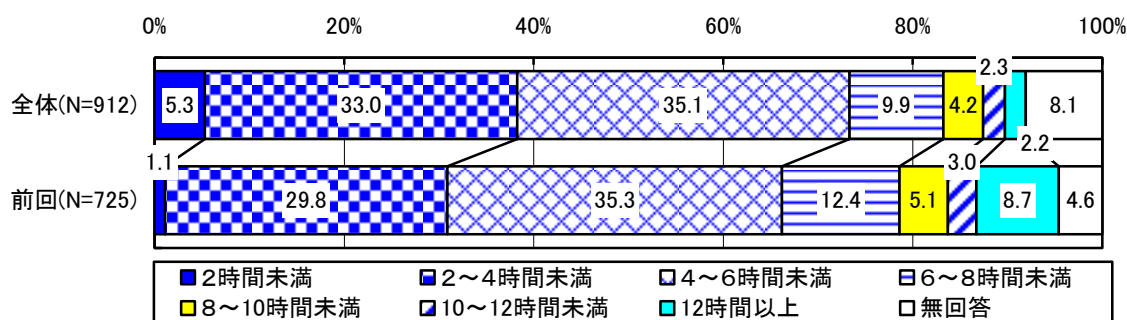
注)パート等共働き(N=1)は「まあまあ十分だと思う」(100.0%)、共に未就労(N=2)は無回答(100.0%)

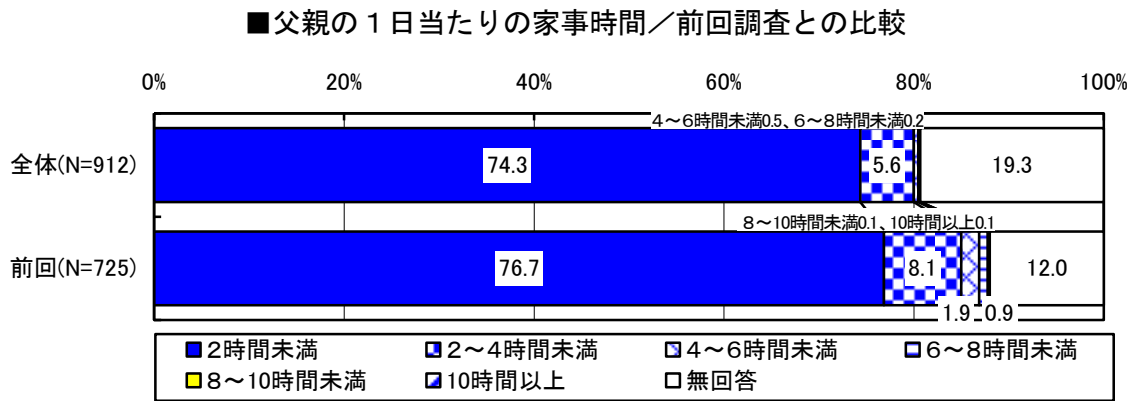
② 1日当たりの家事時間

問17 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。1週間の平均的な時間を記入してください。

- 母親の1日当たりの家事時間は、「4～6時間未満」が35.1%で最も高く、「2～4時間未満」が33.0%、「6～8時間未満」が9.9%などとなっています。前回調査に比べて「12時間以上」が6.5ポイント低下するなど、家事時間が短くなっています。
- 父親の1日当たりの家事時間は、「2時間未満」が74.3%で最も高く、「2～4時間未満」が5.6%などとなっています。前回調査と比べて【8時間以上】の該当がないなど、家事時間が短くなっています。

■母親の1日当たりの家事時間／前回調査との比較



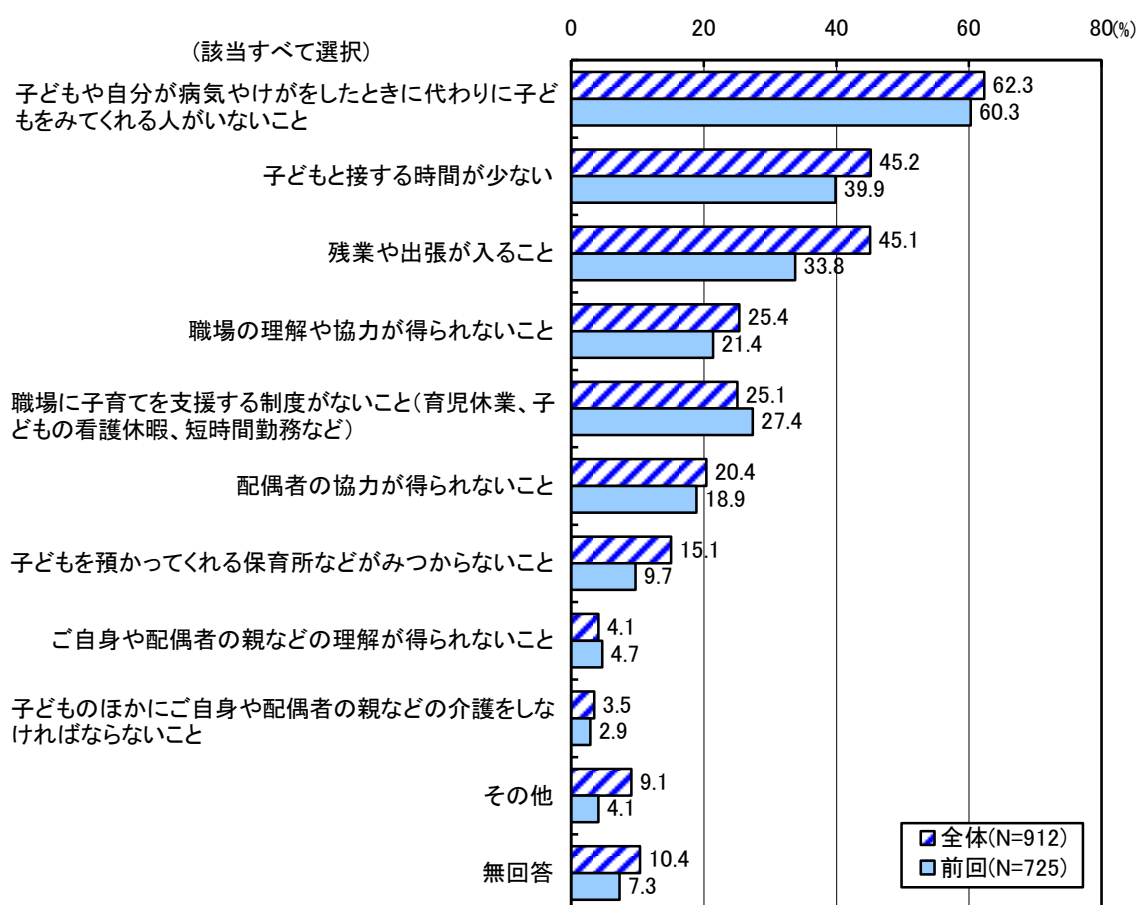


③ 仕事と子育てを両立する上で大変だと思うこと

問18 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 仕事と子育てを両立する上で大変だと思うことは、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと」が第1位で62.3%、次いで「子どもと接する時間が少ない」が45.2%、「残業や出張が入ること」が45.1%、「職場の理解や協力が得られないこと」が25.4%、「職場に子育てを支援する制度がないこと（育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など）」が25.1%などと続きます。前回調査に比べて、ほとんどの項目で高くなっています。
- 同居家族による世帯類型別では、二世帯及び三世帯等は「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと」が第1位で、特に二世帯は64.3%となっています。母子家庭や父子家庭では「子どもと接する時間が少ないこと」が第1位となっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、ひとり親は「子どもと接する時間が少ないこと」が第1位で、フルタイム共働きやフルタイム・パート等共働き、専業主婦（主夫）は、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてる人がいないこと」が第1位となっています。

■仕事と子育てを両立する上で大変だと思うこと



■世帯類型・家庭類型別 仕事と子育てを両立する上で大変だと思うこと

		回答数	残業や出張が入ること	子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと	配偶者の協力が得られないこと	ご自身や配偶者の親などの理解が得られないこと	職場に子育てを支援する制度がないこと(育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)	職場の理解や協力が得られないこと	子どものほかにご自身や配偶者の親などの介護をしなければならないこと	子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと	子どもと接する時間が少ないこと	その他	無回答
世帯類型	二世帯	815	46.3	64.3	20.6	3.6	24.9	25.3	2.6	16.0	45.6	9.4	10.1
	三世帯等	53	32.1	43.4	13.2	11.3	17.0	24.5	13.2	9.4	30.2	5.7	17.0
	母子家庭	40	40.0	50.0	25.0	5.0	42.5	32.5	10.0	7.5	55.0	7.5	5.0
	父子家庭	3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	66.7	—	33.3
家庭類型	ひとり親家庭	43	39.5	48.8	25.6	4.7	39.5	30.2	9.3	7.0	55.8	7.0	7.0
	フルタイム共働き	227	63.4	65.6	20.3	4.0	11.9	18.5	2.2	11.5	58.6	13.2	3.1
	フルタイム・パート等共働き	146	28.8	59.6	27.4	4.8	19.2	18.5	3.4	8.9	38.4	15.1	3.4
	専業主婦(主夫)	464	42.5	63.1	17.7	3.9	32.3	30.8	3.7	19.0	40.3	5.8	15.7

注) 網掛け 第1位 第2位 第3位

注) パート等共働き(N=1)、共に未就労(N=2)は回答数が少ないため省略

7 5歳児の小学校就学後の放課後に過ごさせたい場所

① 小学校低学年の時の放課後に過ごさせたい場所

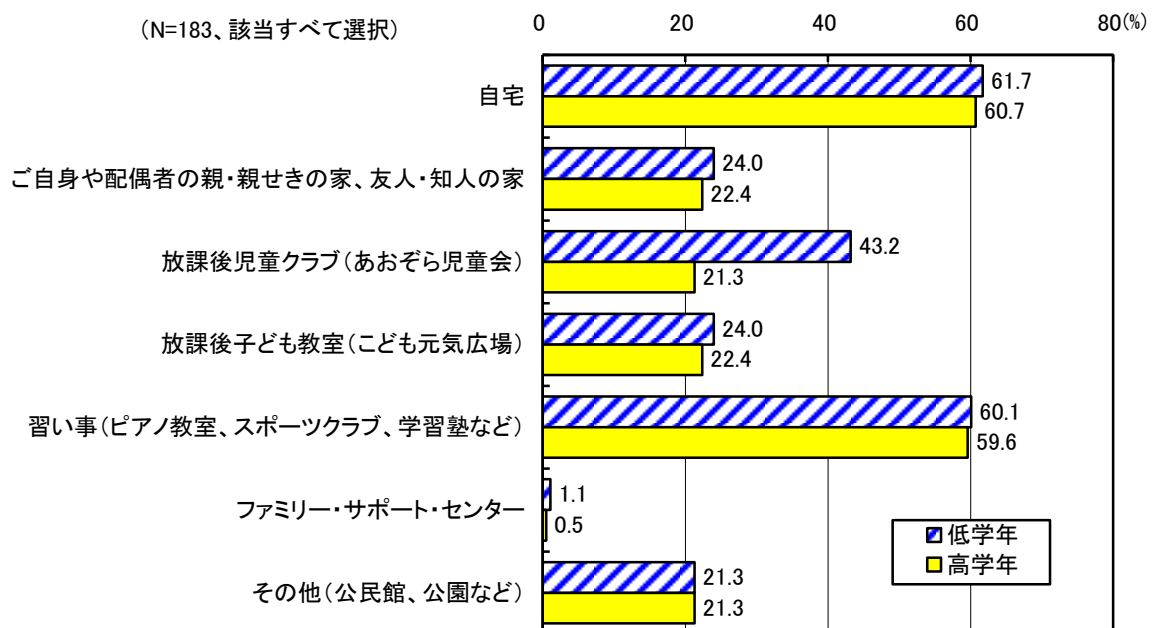
問19 来春、小学生になられるお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）および高学年（4～6年生）の期間について、あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

また、「放課後児童クラブ（あおぞら児童会）」を選択された場合には、利用を希望する時間についても（ ）内に具体的な数字をご記入ください。時間は必ず（18:00）のように24時間制でご記入ください。

高学年については、まだまだ先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

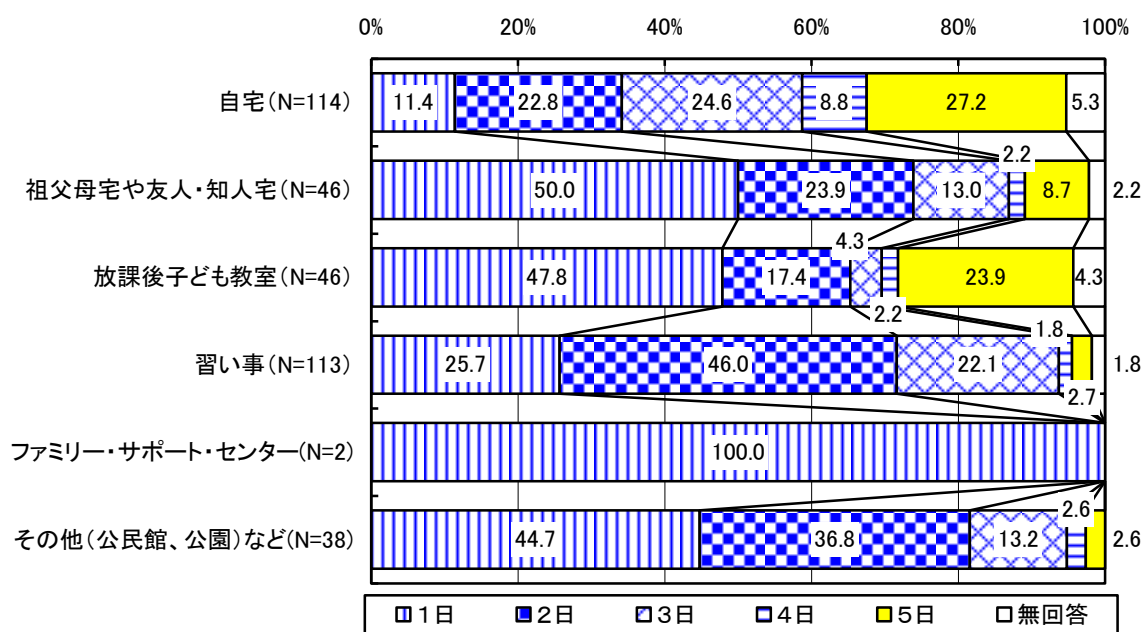
- 低学年時では、「自宅」の61.7%と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の60.1%がともに高く、次いで「放課後児童クラブ（あおぞら児童会）」が43.2%、「ご自身や配偶者の親・親戚の家、友人・知人の家」及び「放課後子ども教室（こども元気広場）」がそれぞれ24.0%となっています。
- 高学年時も、「自宅」の60.7%と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の59.6%がともに高く、「ご自身や配偶者の親・親戚の家、友人・知人の家」及び「放課後子ども教室（こども元気広場）」がそれぞれ22.4%、「放課後児童クラブ（あおぞら児童会）」及び「その他（公民館、公園など）」がそれぞれ21.3%となっています。

■ 過ごさせたい場所（子ども数による集計）

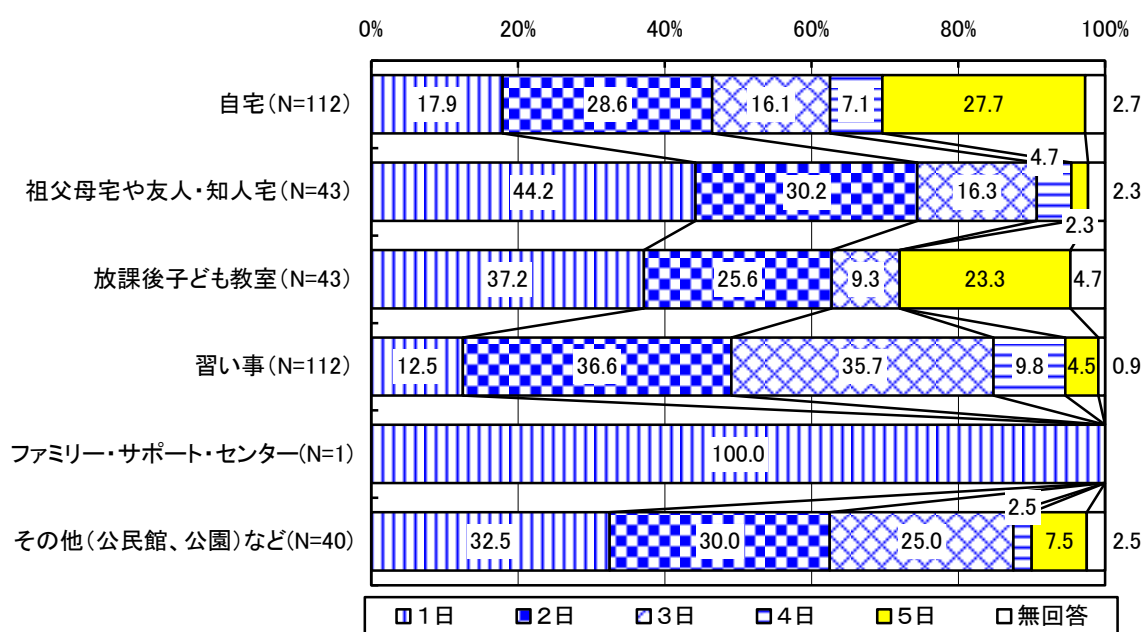


- 放課後児童クラブを除く低学年時に過ごさせたい場所の1週当たりの利用希望日数では、放課後子ども教室は「1日」が47.8%で最も高く、次いで「5日」が23.9%などとなっています。習い事は「2日」が46.0%で最も高くなっています。
- 高学年時に過ごさせたい場所では、放課後子ども教室は「1日」が37.2%で最も高く、次いで「2日」が25.6%、「5日」が23.3%などとなっています。習い事は「2日」が36.6%、「3日」が35.7%などとなっています。

■ 低学年 過ごさせたい場所の1週当たりの利用希望日数（放課後児童クラブを除く）
（子ども数による集計）



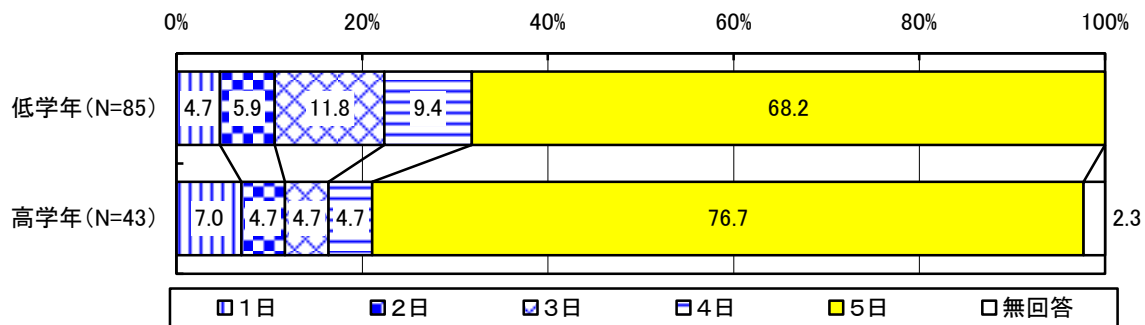
■ 高学年 過ごさせたい場所の1週当たりの利用希望日数（放課後児童クラブを除く）
（子ども数による集計）



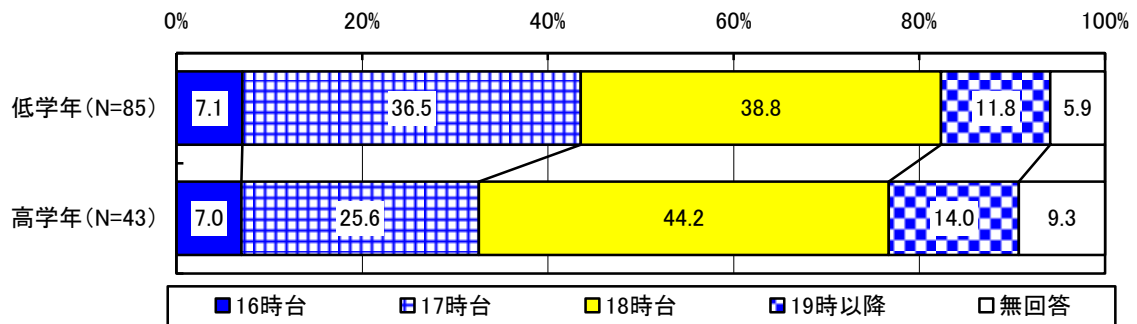
② 放課後児童クラブ（あおぞら児童会）の利用希望日数等

- 放課後児童クラブ（あおぞら児童会）の低学年時の利用希望日数は、1 週当たり「5日」が68.2%と高いものの、週の半分までの【3日以下】が合わせて22.4%となっています。
- 高学年時も1 週当たり「5日」が76.7%で最も高く、低学年時より8.5ポイント高くなっています。また、【3日以下】が合わせて16.4%となっています。
- 利用希望終了時間は、低学年時は「18時台」が38.8%、「17時台」が36.5%、「19時以降」が11.8%などとなっています。
- 高学年時は、「18時台」が44.2%、「17時台」が25.6%、「19時以降」が14.0%で、「18時台」及び「19時以降」は低学年より高くなっています。

■ 1 週当たりの利用希望日数（子ども数による集計）



■ 利用希望終了時間（子ども数による集計）



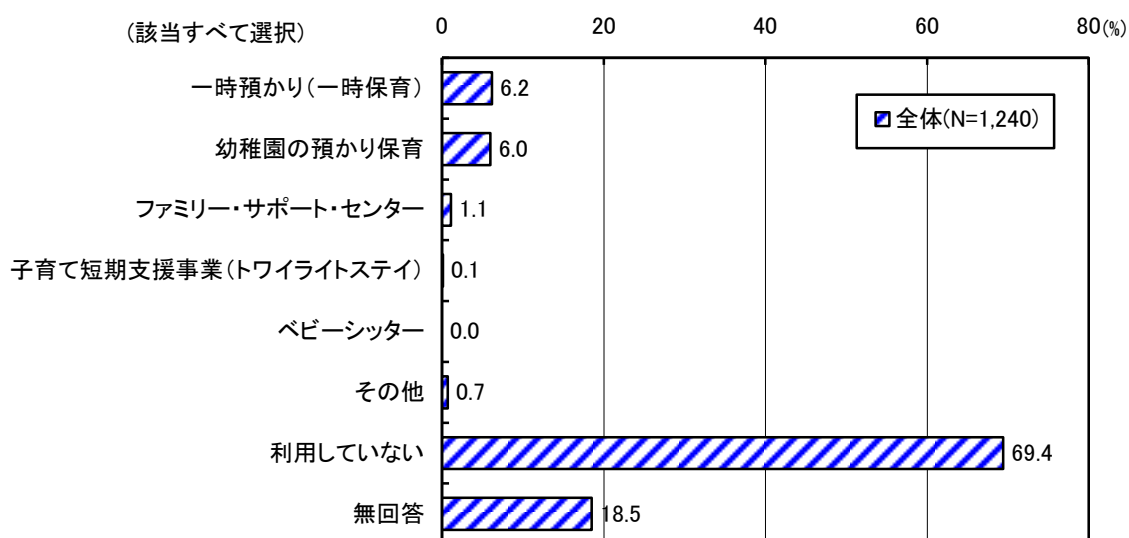
8 一時預かりについて

① 不定期に利用しているサービス

問20 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。（幼稚園や保育所などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。）あてはまる番号すべてに○をつけ、未就学のお子さんの年齢の該当する欄に1年間のおおよその利用日数について（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

- 保護者の用事などで子どもを預かる事業を不定期に利用したことが「ある」率は、「利用していない」の69.4%及び無回答を除くと12.1%となっています。その中では「一時預かり（一時保育）」が6.2%、「幼稚園の預かり保育」が6.0%などとなっています。

■子どもを預かるサービスの不定期な利用状況（子ども数による集計）



■利用サービス別・子どもの年齢別 1年間に預けた日数の平均（子ども数による集計）

利用サービス	0歳	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1. 一時預かり	0件	10件	7件	14件	6件	7件	8件
	0日	10.0日	11.6日	18.8日	23.8日	8.4日	8.0日
2. 幼稚園の預かり保育	0件	0件	0件	5件	17件	14件	21件
	0日	0日	0日	8.4日	22.4日	9.0日	10.1日
3. ファミリー・サポート・センター	1件	1件	1件	0件	0件	1件	1件
	1.0日	1.0日	15.0日	0日	0日	2.0日	1.0日
4. 子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
5. ベビーシッター	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
6. その他	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日

注) 件数は、日数回答件数で、平均も日数回答件数による

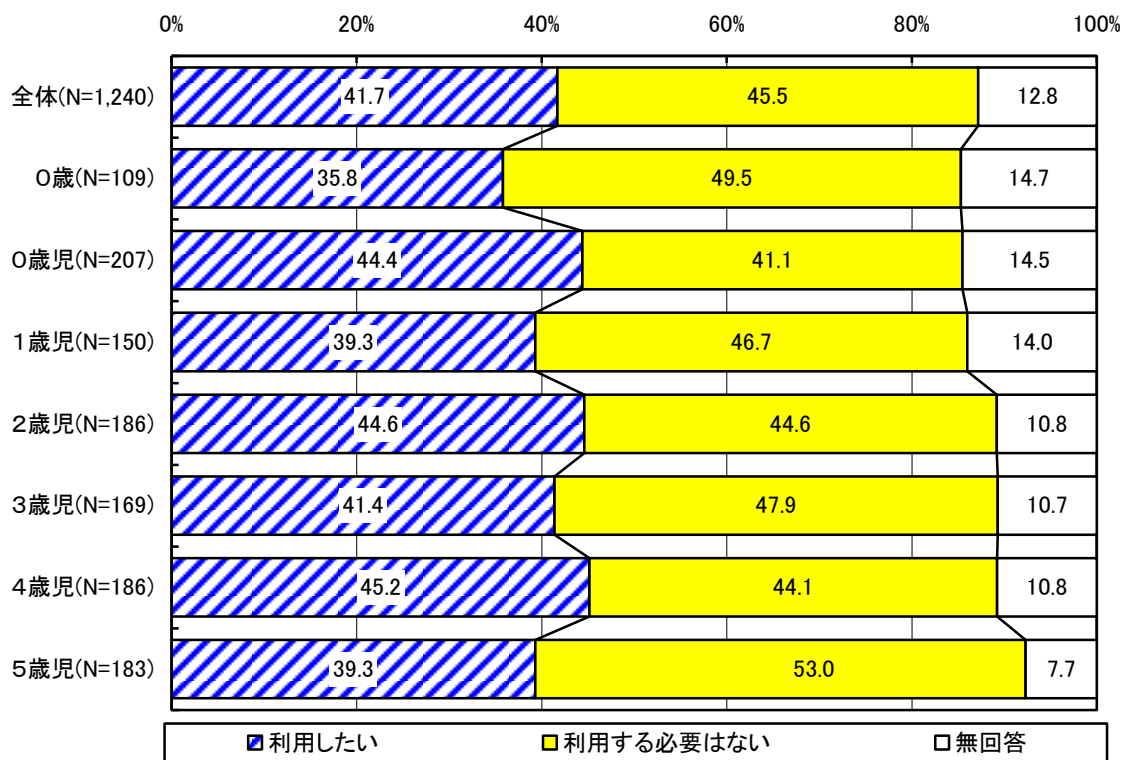
② 「一時預かり」の今後の利用意向

問21 私用、ご自身や配偶者の親の通院、不規則な仕事などを理由として、1年間に何日くらい保育所などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いますか。利用したいか、する必要がないかについて、あてはまる記号すべてに○をつけてください。利用したい場合、利用したい目的ごとに（ ）内に日数を記入し、合計についてもご記入ください。

なお、サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

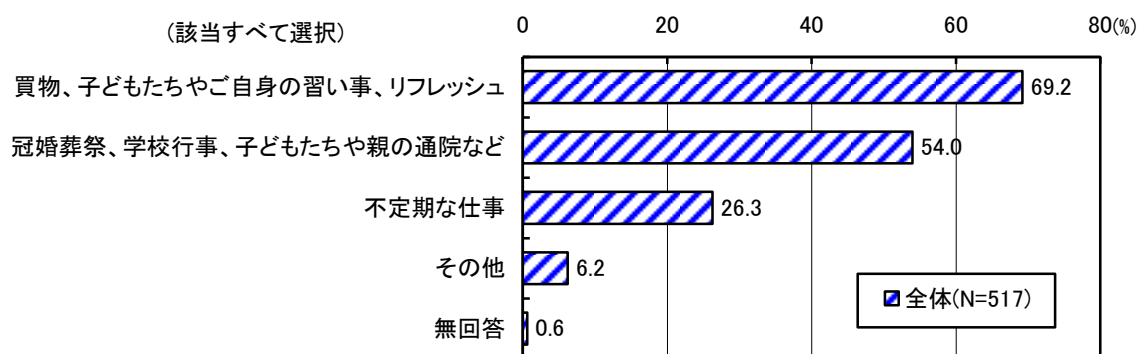
- 今後、一時預かりを「利用したい」率は、全体で41.7%となっています。
- 子どもの年齢別では、「利用したい」率は、4歳児が45.2%で最も高く、次いで2歳児が44.6%、0歳児が44.4%などと僅差で続き、0歳が35.8%で最も低くなっています。

■子どもの年齢別 「一時預かり」の利用意向（子ども数による集計）



- 利用したい理由は、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が69.2%で第1位、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が54.0%で続きますが、「不規則な仕事」も26.3%で、利用したい人のおよそ1/4となっています。
- 子どもの年齢別では、0歳以外は「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」が第1位で、0歳児～3歳児は70%を超えています。0歳は「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」が第1位となっています。

■「一時預かり」を利用したい理由（子ども数による集計）



■子どもの年齢別 「一時預かり」を利用したい理由
(子ども数による集計)

	回答数	買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	不定期的な仕事	その他	無回答
0歳	39	59.0	61.5	25.6	7.7	—
0歳児	92	72.8	47.8	32.6	9.8	1.1
1歳児	59	79.7	49.2	20.3	5.1	—
2歳児	83	77.1	49.4	22.9	6.0	—
3歳児	70	71.4	61.4	25.7	2.9	—
4歳児	84	61.9	51.2	27.4	9.5	1.2
5歳児	72	62.5	62.5	22.2	2.8	1.4

注) 網掛け 第1位

■利用理由別・子どもの年齢別 1年間に預けた日数の平均（子ども数による集計）

利用理由	0歳	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ア. 買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ	23件	64件	47件	61件	48件	51件	43件
	14.3日	16.7日	15.9日	18.3日	13.8日	20.0日	9.4日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など	23件	35件	28件	38件	40件	38件	42件
	5.8日	5.4日	8.6日	7.4日	6.7日	5.2日	7.1日
ウ. 不定期的な仕事	9件	23件	12件	18件	17件	21件	16件
	8.8日	26.3日	18.8日	24.3日	18.9日	28.8日	11.4日
エ. その他	3件	7件	3件	4件	2件	8件	0件
	18.0日	9.4日	9.7日	19.5日	15日	9.1日	0日
合 計	38件	78件	59件	79件	67件	78件	66件
	16.6日	24.7日	21.7日	24.2日	19.2日	24.0日	13.2日

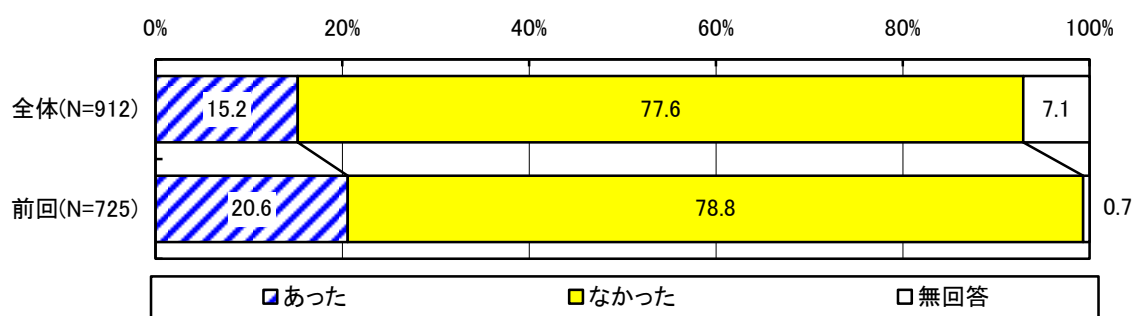
注) 件数は、日数回答件数で、平均も日数回答件数による

③ この1年間に、子どもを泊りがけで預けたこと

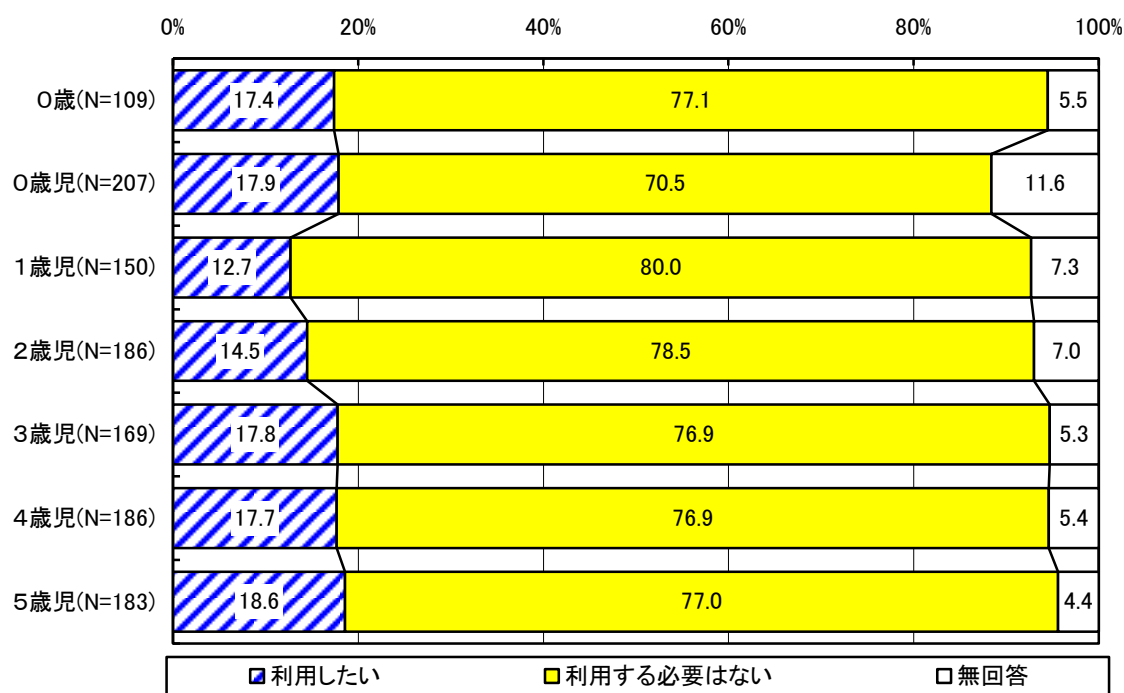
問21 この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気などの保護者の用事により、お子さんを「泊りがけで」家族以外にみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。) あてはまる記号に1つだけ○をつけてください。

- この1年間に、保護者の用事などにより子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことが「あった」率は15.2%で、前回調査の20.6%より低下しています。
- 子どもの年齢別では、「あった」率は5歳児が18.6%で最も高く、次いで0歳児が17.9%、3歳児が17.8%、4歳児が17.7%、0歳が17.4%など僅差で続き、1歳児が12.7%で最も低くなっています。

■この1年間に、子どもを泊りがけで預けたこと／前回調査との比較



■子どもの年齢別 この1年間に、子どもを泊りがけで預けたこと (子ども数による集計)

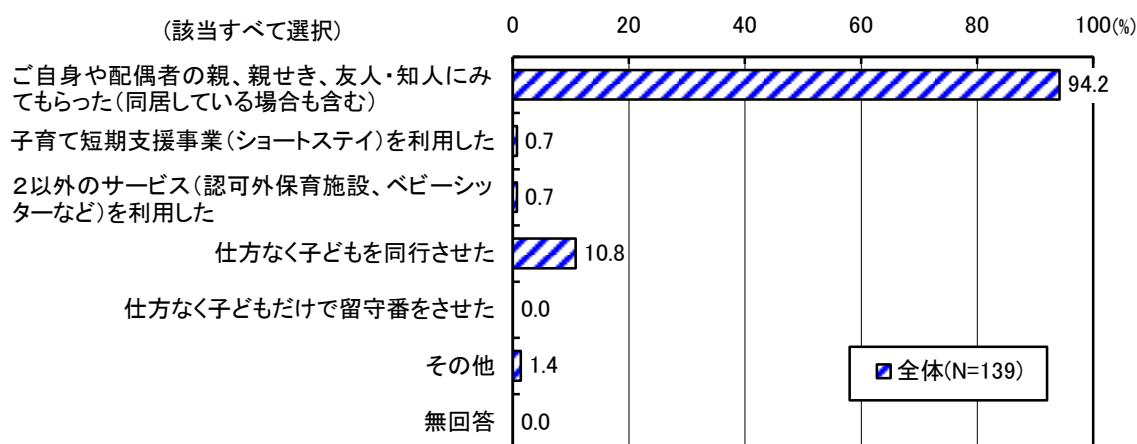


④ この1年間の対処方法

問22-1 問22で「1. あった」を選択した方におうかがいします。あった場合、どのような対処をされましたか。あてはまる番号すべてに○をつけ、未就学のお子さんの年齢の該当する欄の()内にそれぞれ年間当たりの泊数をご記入ください。

- 「あった」と回答した人の、この1年間の対処方法は、「ご自身や配偶者の親、親せき、友人・知人にみてもらった」が94.2%で最も高く、これ以外は「仕方なく子どもを同行させた」が10.8%、「子育て短期支援事業を利用した」及び「子育て短期支援事業以外のサービスを利用した」がそれぞれ0.7%、「その他」が1.4%となっています。

■「あった」と回答した人の、この1年間の対処方法



■対処方法別・子どもの年齢別 1年間に宿泊した日数の平均

対処方法	0歳	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
1. 親族・知人にみてもらった	1件	20件	18件	25件	28件	30件	31件
	5.0日	8.4日	4.6日	5.4日	4.1日	8.6日	5.7日
2. 子育て短期支援事業を利用した	0件	0件	0件	0件	0件	1件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	120.0日	0日
3. 2以外のサービスを利用した	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
	0日	0日	0日	0日	0日	0日	14.0日
4. 仕方なく子どもを同行させた	0件	6件	1件	1件	1件	3件	1件
	0日	5.0日	1.0日	5.0日	5.0日	2.7日	2.0日
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日
6. その他	0件	1件	0件	1件	0件	0件	0件
	0日	2.0日	0日	3.0日	0日	0日	0日

注)件数は、日数回答件数で、平均も日数回答件数による

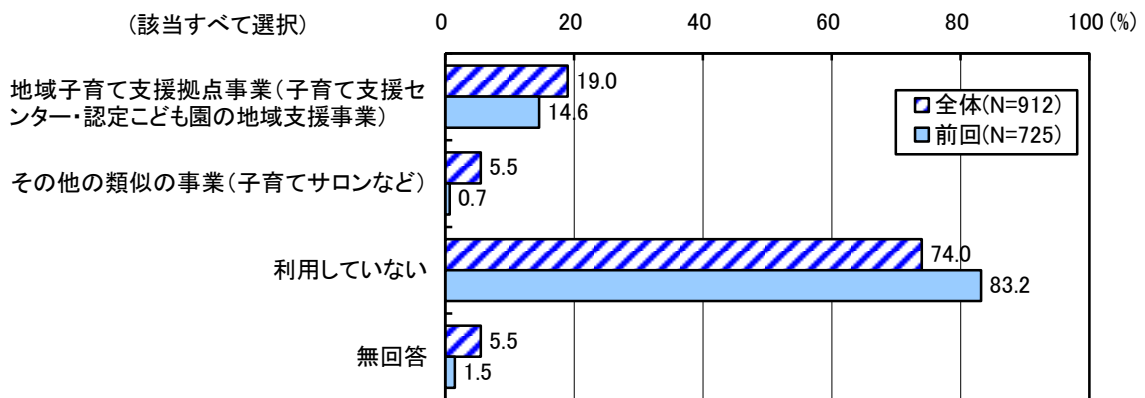
9 地域の子育て支援サービスの利用状況等

① 地域の子育て支援サービスの利用状況

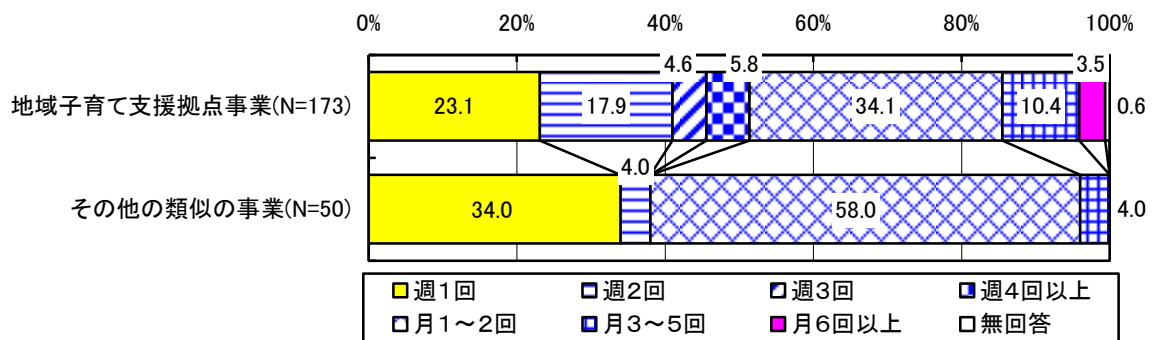
問23 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）についておうかがいします。
現在、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）を利用していますか。
あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

- 地域の子育て支援サービスについて「利用していない」が74.0%で、無回答を合わせて除くと、利用率は20.5%となっています。利用の中では、「地域子育て支援拠点事業」が19.0%、「その他の類似の事業（子育てサロンなど）」が5.5%となっています。前回調査に比べて両事業の利用率が高くなっています。
- 両事業ともに「月1～2回」の利用が高く、地域子育て支援拠点事業は34.1%、その他の類似の事業は58.0%となっています。また、地域子育て支援拠点事業では週の半分以上の「週3回」及び「週4回以上」の利用が、合わせて10.4%となっています。

■ 地域の子育て支援サービスの利用状況／前回調査との比較



■ 利用サービス別 利用回数



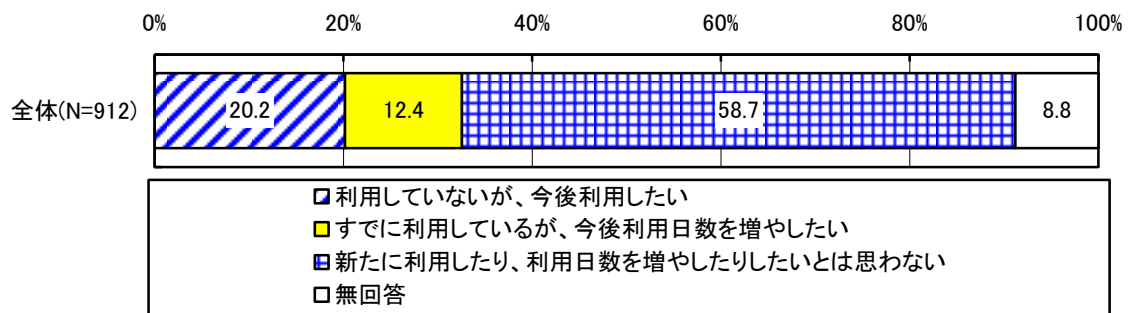
② 地域の子育て支援サービスの今後の利用意向

問24 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は（ ）内に具体的な数字をご記入ください。

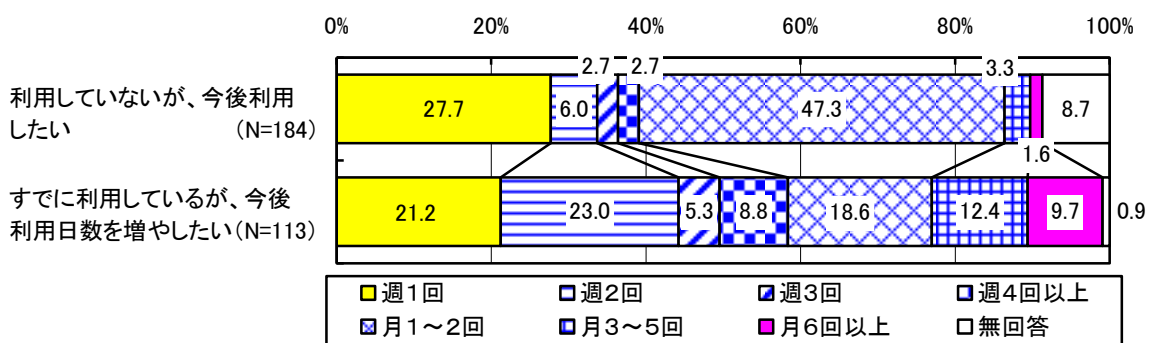
なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

- 地域の子育て支援サービスについて、「利用していないが、今後利用したい」が20.2%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が12.4%で、合わせて【利用したい】率は32.6%となっています。
- 「利用していないが、今後利用したい」人の場合、利用希望回数は「月1～2回」が47.3%で最も高く、「週1回」が27.7%などとなっています。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の場合、利用希望回数は「週2回」が23.0%、「週1回」が21.2%、「月1～2回」が18.6%などとなっています。

■地域の子育て支援サービスの今後の利用意向



■利用意向別 利用希望回数



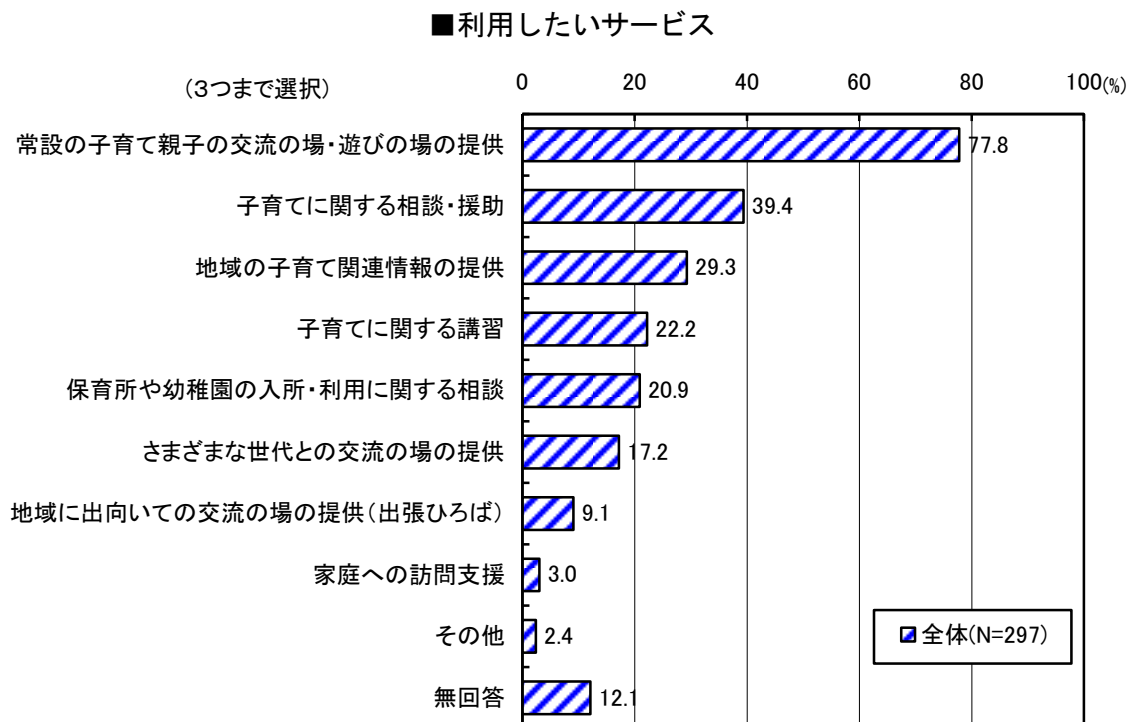
③ 地域の子育て支援サービスを利用するにあたって、利用したいサービス

問24-1 問24で「1.」、「2.」を選択した、地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）を利用している方におうかがいします。「3.」を選択した方は問25へお進みください。

地域子育て支援拠点事業（子育て支援センターなど）を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。

なお、事業の内容によっては、一定の利用料が発生する場合があります。

- 地域子育て支援拠点事業の利用にあたって利用したいサービスとしては、「常設の子育て親子の交流の場・遊びの場の提供」が77.8%で第1位、次いで「子育てに関する相談・援助」が39.4%、「地域の子育て関連情報の提供」が29.3%、「子育てに関する講習」が22.2%、「保育所や幼稚園の入所・利用に関する相談」が20.9%などとなっています。

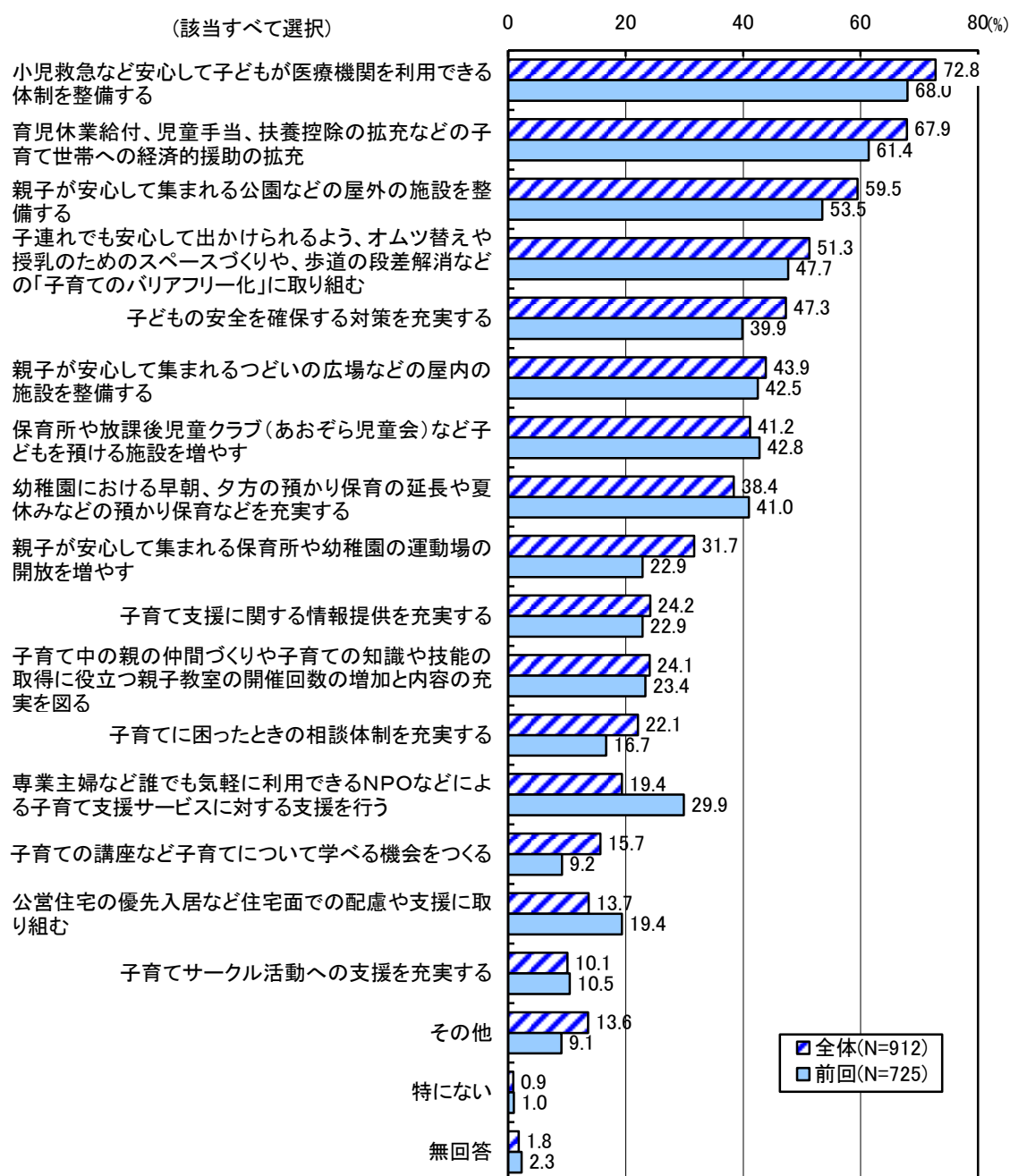


10 市役所などへの要望

問25 市役所などに対して、あなたの子育て経験などから、どのような子育て支援サービスを充実してほしいですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子育て支援サービスに対する要望では、「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制を整備する」が72.8%で第1位、次いで「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」（67.9%）、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」（59.5%）などで、上位は前回調査と同じ項目となっています。

■市役所などへの要望／前回調査との比較



11 子どもの生活習慣について

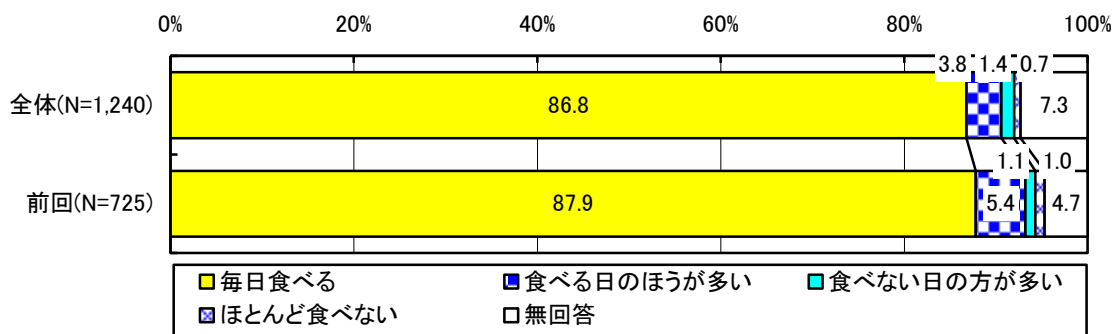
① 朝食

問26 未就学のお子さんの生活習慣について、(1)～(4)のそれぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

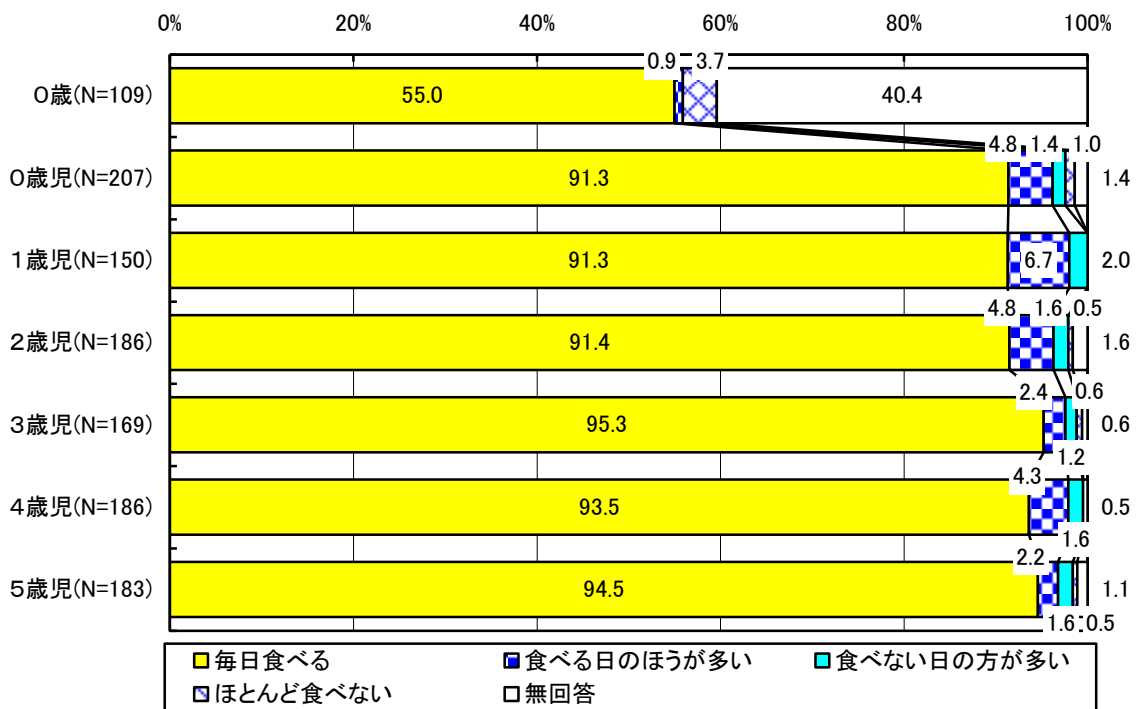
(1) 朝ごはんを食べますか。

- 全体では、朝食を「毎日食べる」が86.8%となっていますが、一方、「食べない日の方が多い」や「ほとんど食べない」を合わせた【食べない】率は2.1%で、前回調査と同率となっています。
- 子どもの年齢別では、【食べない】率は、0歳を除くと、0歳児が2.4%、2歳児及び5歳児が2.1%、1歳児が2.0%、3歳児が1.8%、4歳児が1.6%となっています。

■朝食（子ども数による集計）／前回調査との比較



■子どもの年齢別 朝食

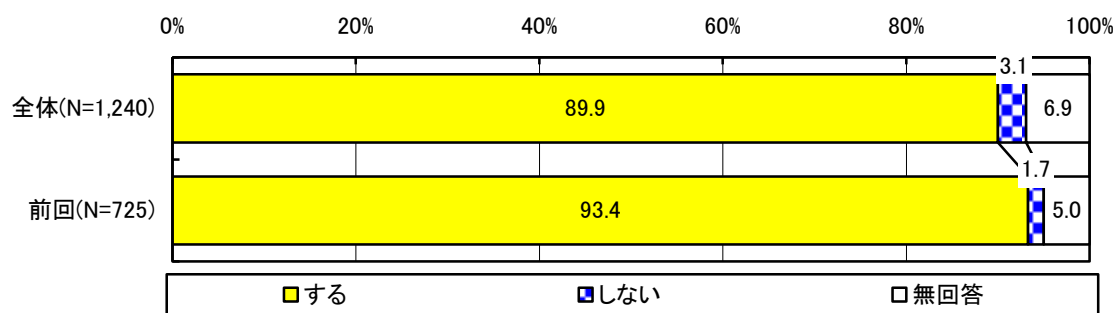


② 家族との食事

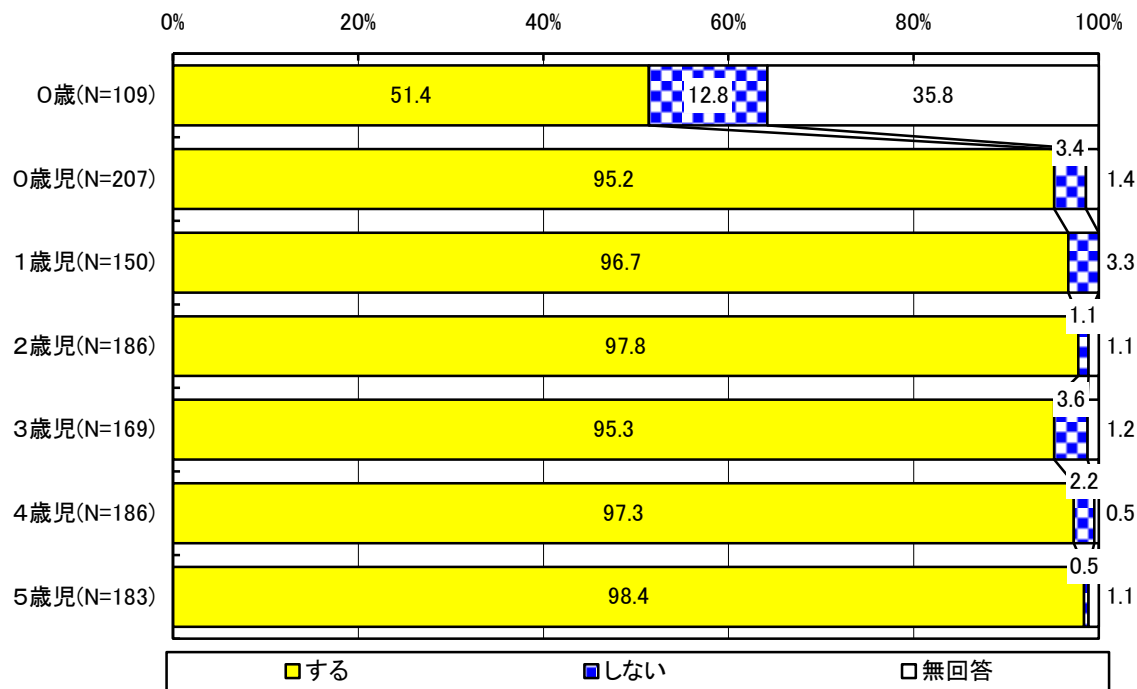
(2) 1日1回は家族と一緒に食事をしますか。

- 1日1回、家族と食事を「しない」率は3.1%で、前回調査の1.7%より高くなっています。
- 子どもの年齢別では、「しない」率は0歳を除くと、3歳児が3.6%で最も高く、0歳児が3.4%、1歳児が3.3%、4歳児が2.2%、2歳児が1.1%、5歳児が0.5%で最も低くなっています。

■家族との食事（子ども数による集計）／前回調査との比較



■子どもの年齢別 家族との食事（子ども数による集計）

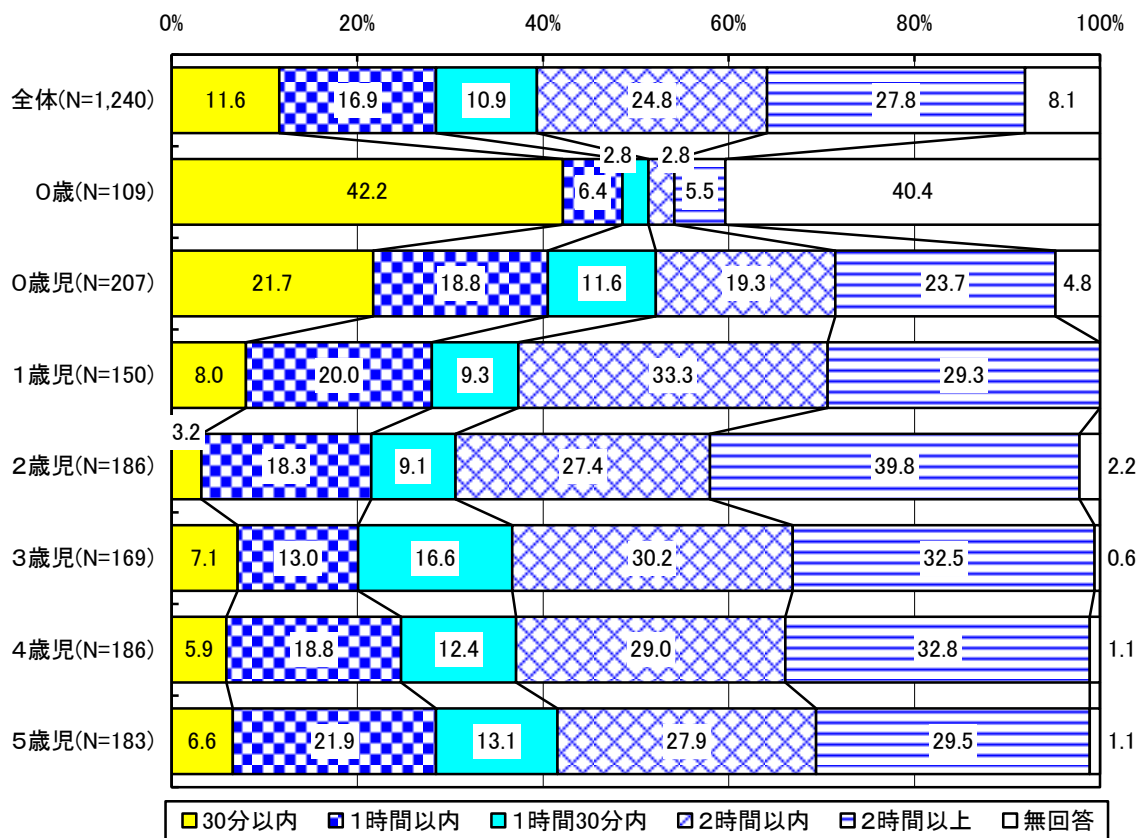


③ 視聴時間

(3) 平日のテレビ・ビデオ（ゲームも含む）の1日当たり平均視聴時間は何時間ですか。

- 平日の1日当たりのテレビ・ビデオの視聴時間は、「2時間以上」が27.8%で最も高く、次いで「1時間30分以上2時間以内」が24.8%などとなっています。
- 子どもの年齢別では、0歳は「30分以内」が42.2%で最も高く、年齢が上がるにしたがい低下し、代わって視聴時間が長くなります。「2時間以上」は、2歳児が39.8%で最も高く、4歳児が32.8%、3歳児が32.5%、5歳児が29.5%、1歳児が29.3%、0歳児が23.7%となっています。

■子どもの年齢別 テレビ・ビデオの視聴平均時間（子ども数による集計）

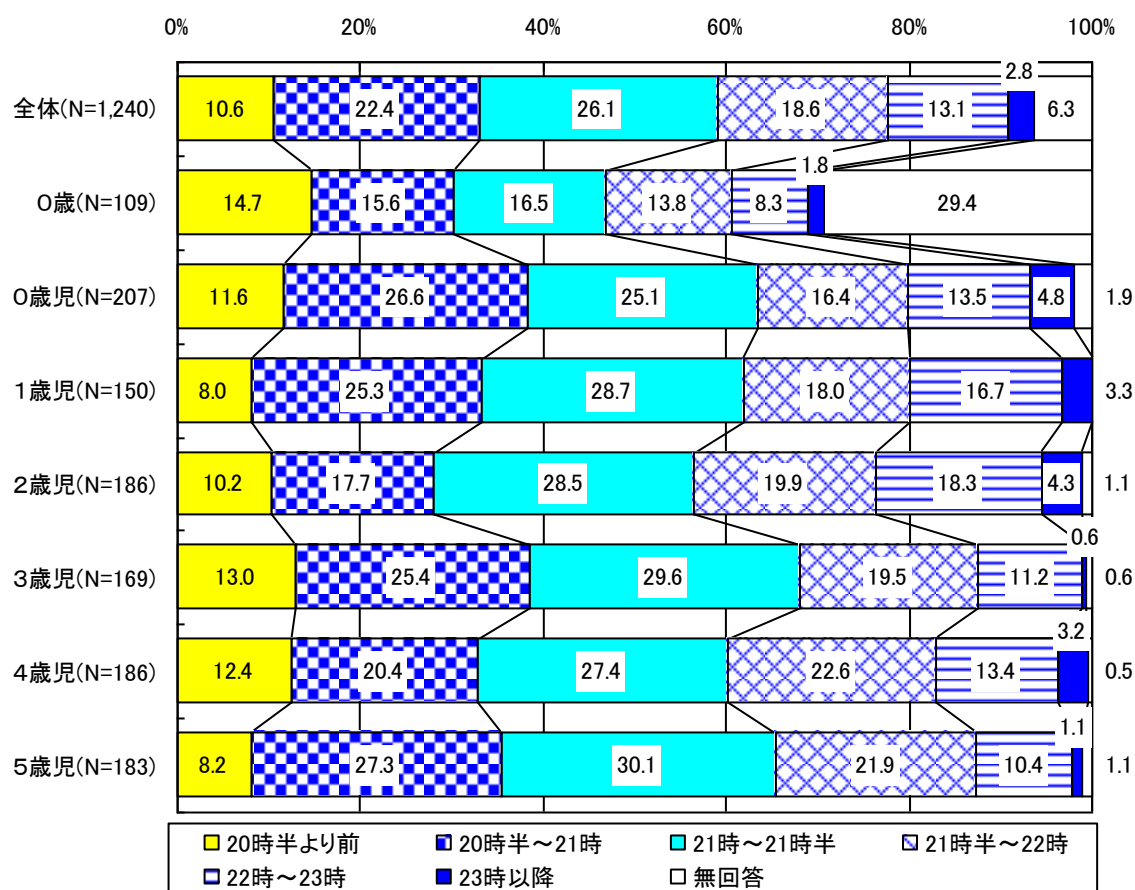


④ 就寝時刻

(4) 就寝時刻は何時ですか。

- 就寝時刻は、全体では「21時～21時半」の率が26.1%で最も高く、次いで「20時半～21時」が22.4%、「21時半～22時」が18.6%、「22時～23時」が13.1%、「20時半より前」が10.6%、「23時以降」が2.8%となっています。
- 子どもの年齢別では、0歳児以外は「21時～21時半」の率が最も高く、0歳児は「20時半～21時」の率が最も高くなっています。「22時～23時」及び「23時以降」の遅い就寝は、2歳児が22.6%で最も高く、1歳児が20.0%、0歳児が18.3%、4歳児が16.6%、3歳児が11.8%。5歳児が11.5%、0歳が10.1%となっています。

■子どもの年齢別 就寝時刻（子ども数による集計）



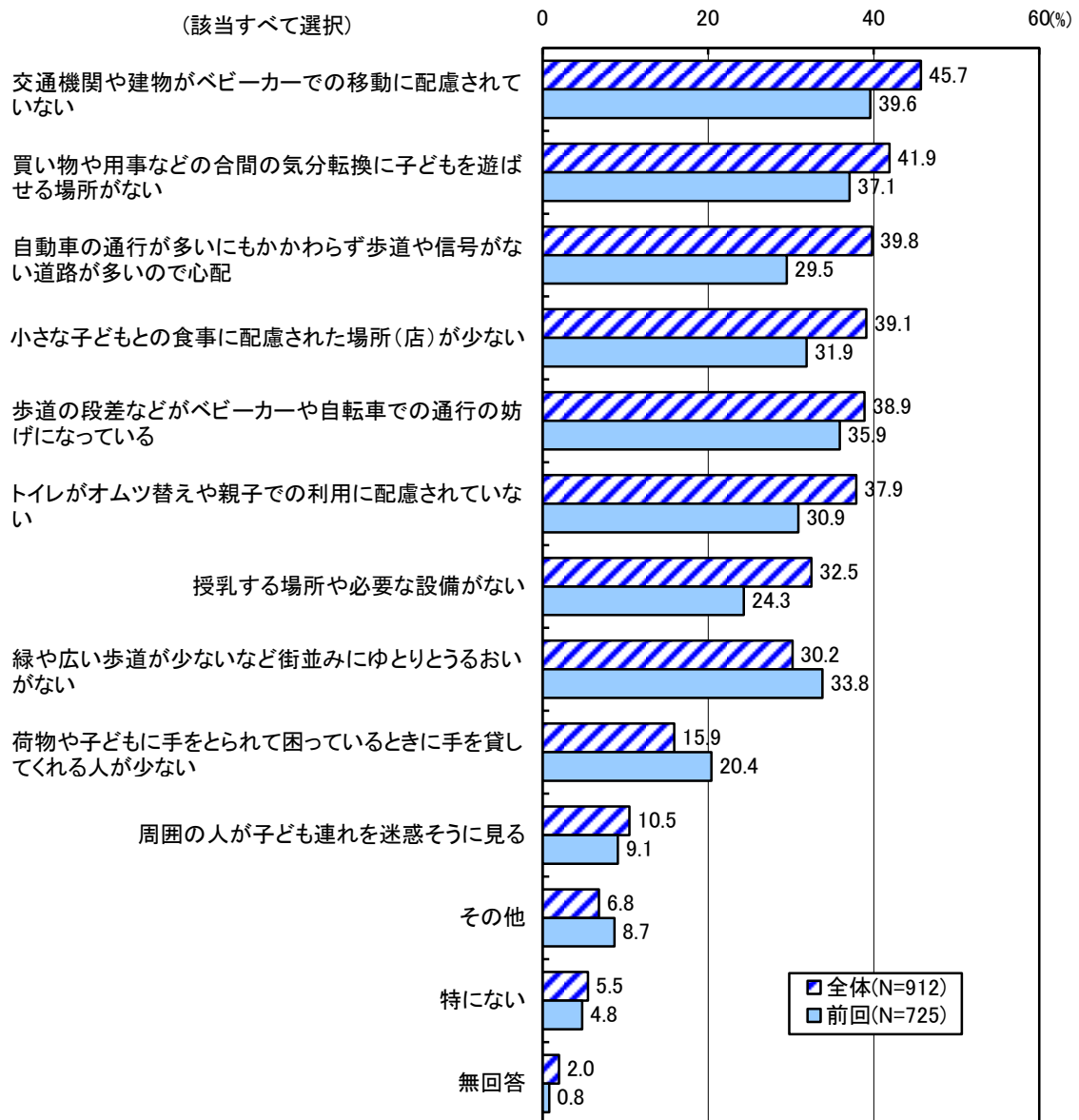
12 子育てを支援する生活環境の整備について

① 子どもとの外出時に困ること、困ったこと

問27 未就学のお子さんと外出されるときに、困ること、困ったことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

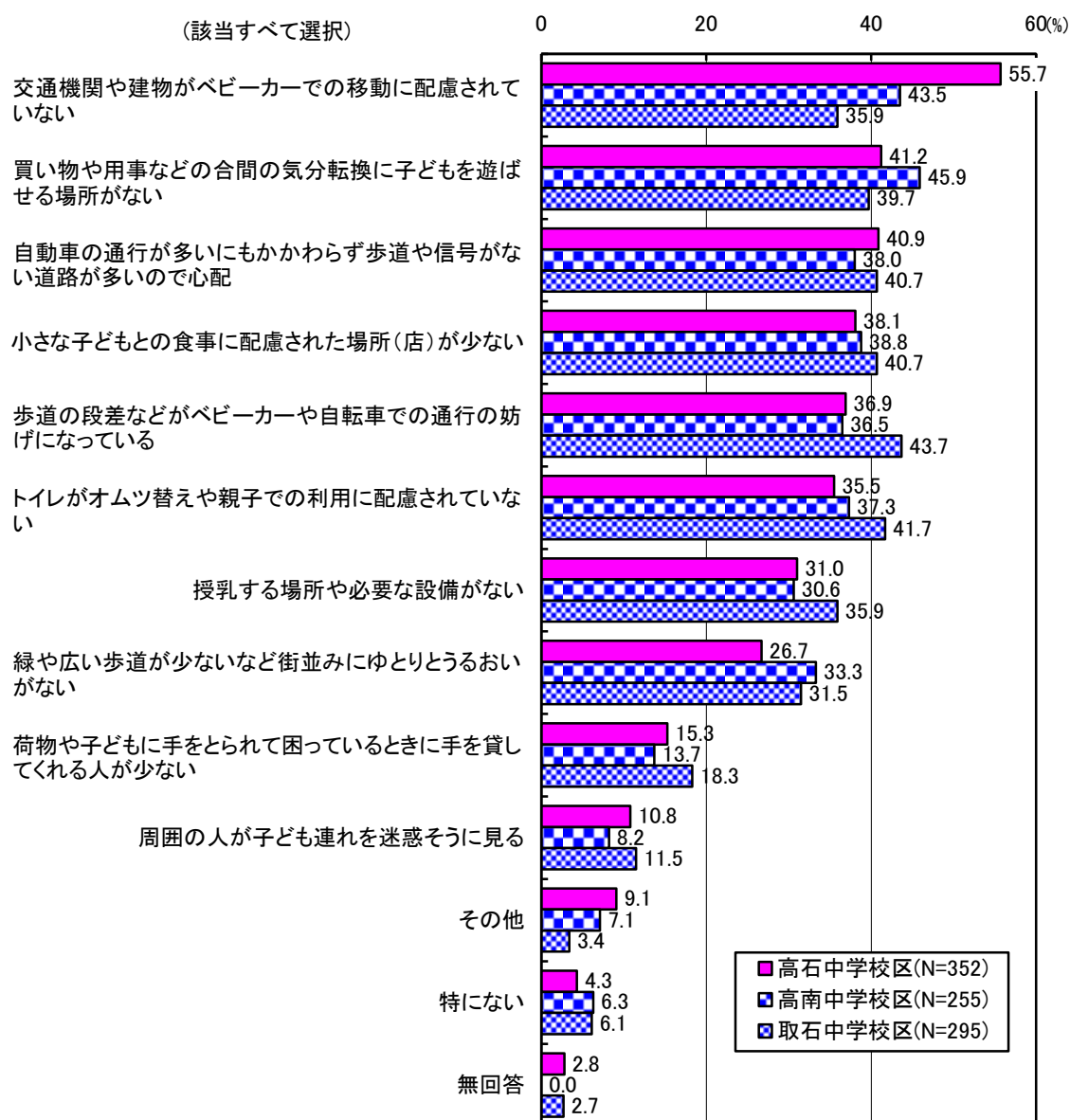
- 子どもとの外出時に困ること、困ったことは、「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」が45.7%で第1位、次いで「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」(41.9%)、「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」(39.8%)、「小さな子どもとの食事に配慮された場所(店)が少ない」(39.1%)などと続き、これらは前回調査より高くなっています。

■ 子どもとの外出時に困ること、困ったこと／前回調査との比較



- 中学校区別の困ること、困ったことの第1位は、高石中学校が「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」で55.7%、高南中学校区が「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」で45.9%、取石中学校区が「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」で43.7%となっています。このほかで40%以上となっている項目は、高石市中学校区が「買い物や用事などの合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」や「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」で、高南中学校区が「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」で、取石中学校区が「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない」や「自動車の通行が多いにもかかわらず歩道や信号がない道路が多いので心配」「小さな子どもとの食事に配慮された場所（店）が少ない」となっています。

■中学校区別 子どもとの外出時に困ること、困ったこと

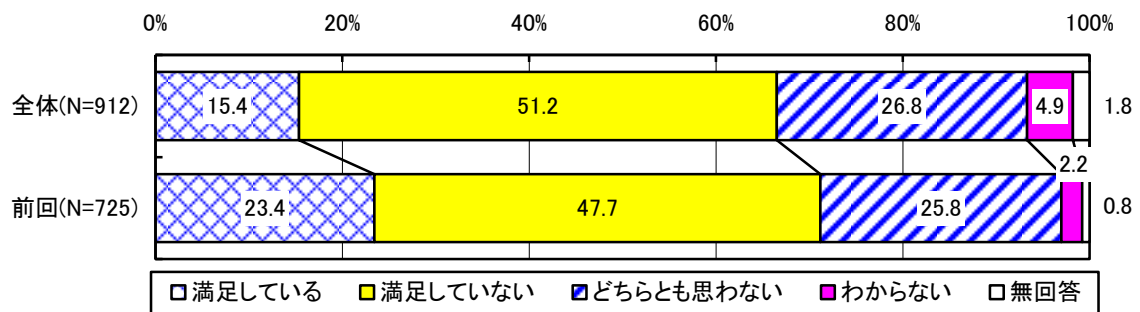


② 子どもの遊び場に関する満足度

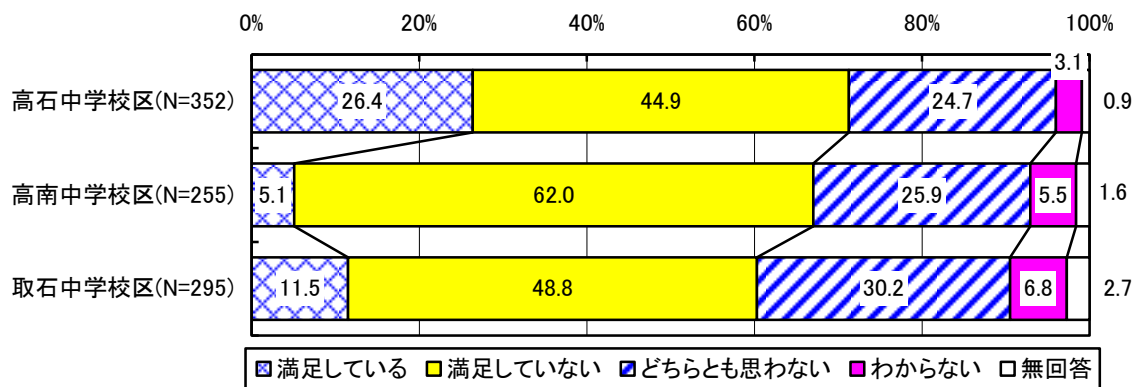
問28 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 子どもの遊び場に関して「満足している」が15.4%、「満足していない」が51.2%で、前回調査より「満足している」が低下し、「満足していない」が高くなっています。
- 中学校区別では、「満足している」は高石中学校区が26.4%で最も高く、取石中学校区が11.5%、高南中学校区が5.1%となっています。一方、「満足していない」は高南中学校区が62.0%と高く、取石中学校区が48.8%、高石中学校区が44.9%となっています。

■ 子どもの遊び場に関する満足度／前回調査との比較



■ 中学校区別 子どもの遊び場に関する満足度

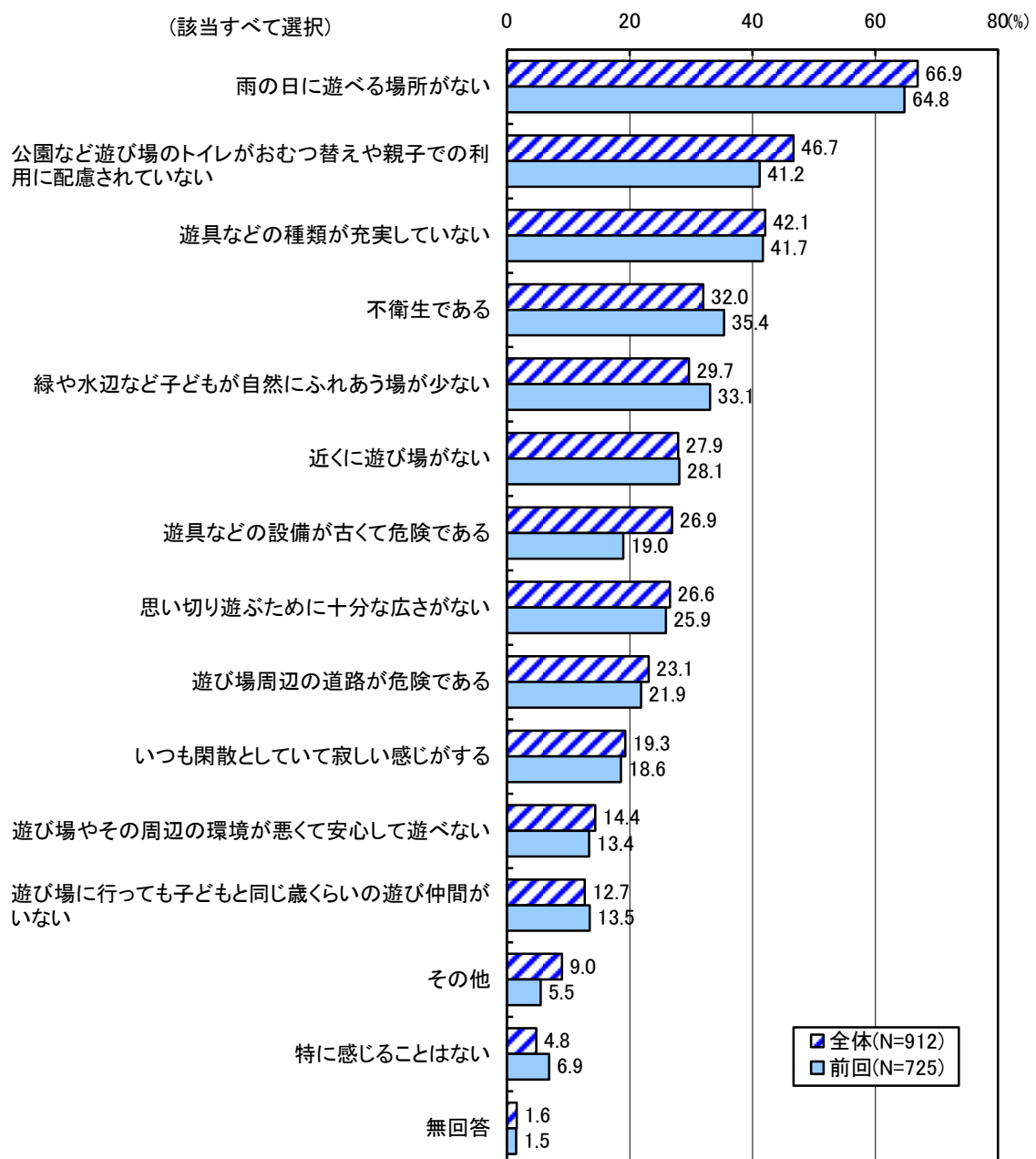


③ 子どもの遊び場について感じる事

問29 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

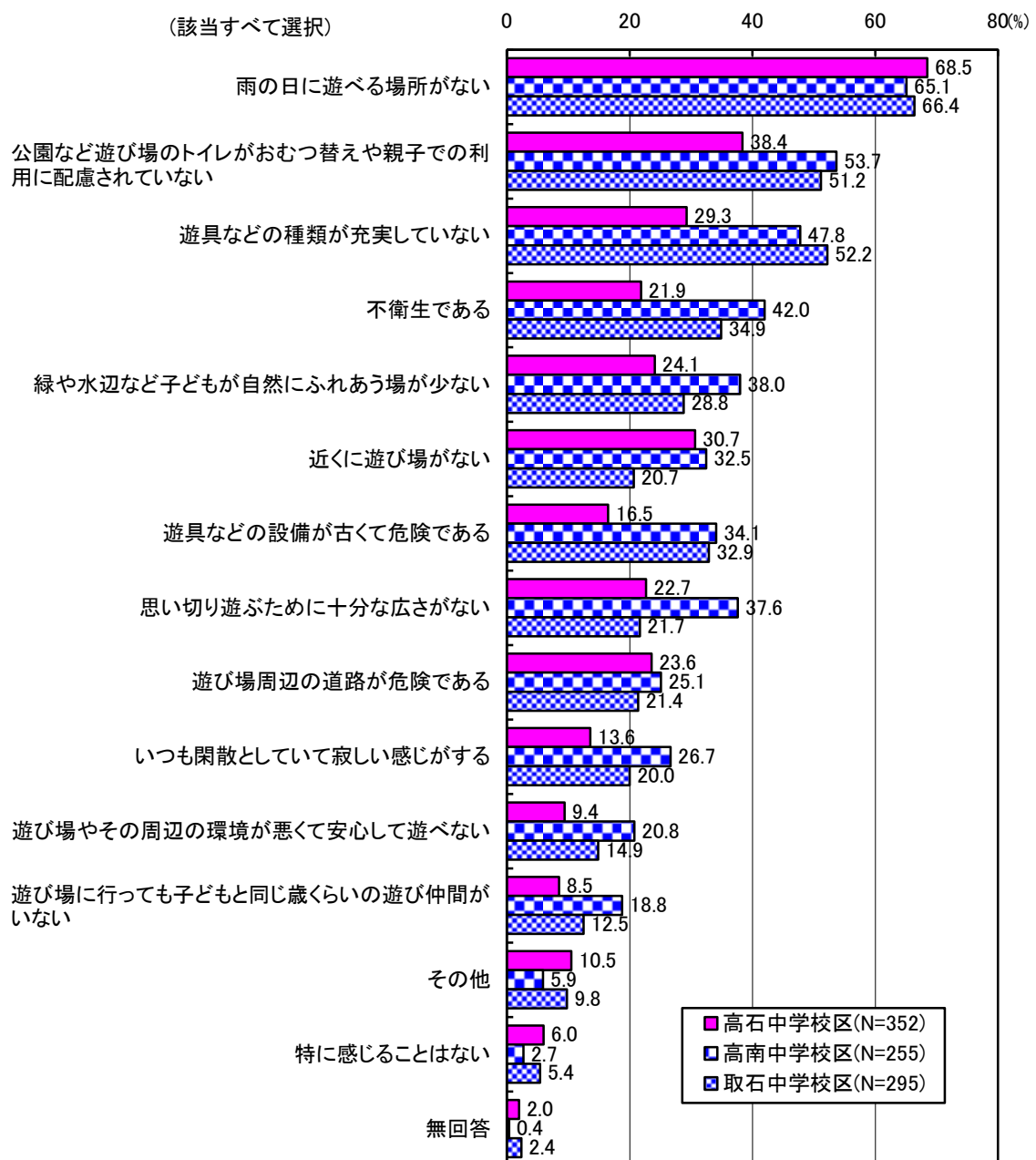
- 子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所がない」が66.9%で第1位、次いで「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(46.7%)、「道具などの種類が充実していない」(42.1%)、「不衛生である」(32.0%)、「緑や水辺など子どもが自然にふれあう場が少ない」(29.7%)などと続きます。上位の項目は順番が少し違いますが、前回と同じ項目が挙げられます。

■子どもの遊び場について感じる事／前回調査との比較



- 中学校区別では、3中学校区ともに「雨の日に遊べる場所がない」が第1位で、60%を超えています。次いで、高石中学校区は「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(38.4%)、「道具などの種類が充実していない」(29.3%)などと続きますが、40%を割っています。
- 高南中学校区は「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(53.7%)、「道具などの種類が充実していない」(47.8%)、「不衛生である」(42.0%)が40%を超えています。
- 取石中学校区は「道具などの種類が充実していない」(52.2%)、「公園など遊び場のトイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていない」(51.2%)が40%を超えています。

■中学校区別 子どもの遊び場について感じること



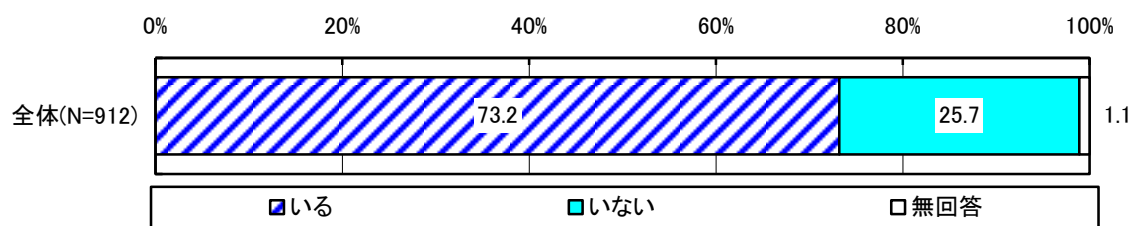
13 子育てに対する意識について

① 近所で日常的に子どもの話等をする人の有無

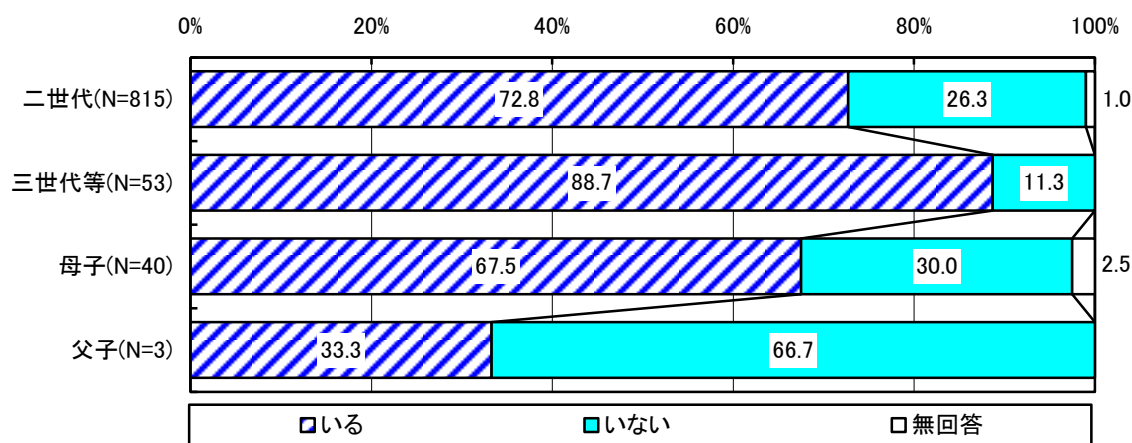
問30 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 全体では、近所で日常的に子どもの話等をする人が「いる」は73.2%、「いない」は25.7%となっています。
- 同居家族による世帯類型別では、「いない」率は父子世帯が66.7%と高く、母子世帯が30.0%、二世帯世帯が26.3%、三世帯等世帯が11.3%で最も低くなっています。
- 親の就労状況による家庭類型別では、「いない」率はフルタイム共働き家庭が33.0%、ひとり親家庭が32.6%、専業主婦（主夫）家庭が24.1%、フルタイム・パート等共働き家庭が15.8%で最も低くなっています。
- 中学校区別では、「いない」率は高南中学校区が28.2%で最も高く、取石中学校区が24.4%、高石中学校区が24.1%となっています。

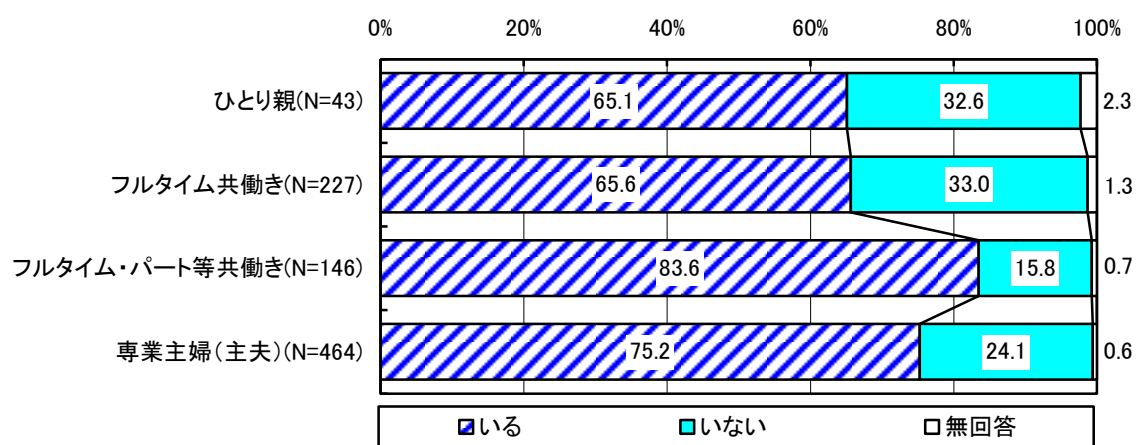
■近所で日常的に子どもの話等をする人の有無



■世帯類型別 近所で日常的に子どもの話等をする人の有無

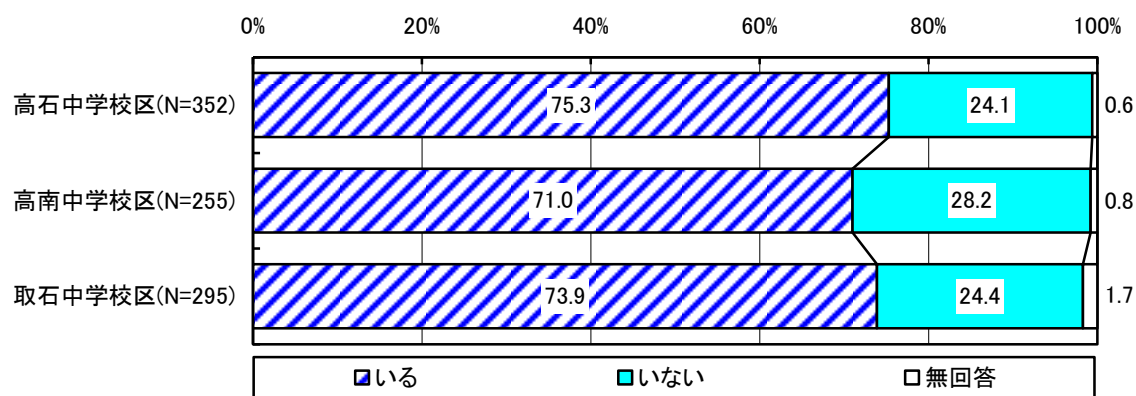


■家庭類型別 近所で日常的に子どもの話等をする人の有無



注)パート等共働き(N=1)、共に未就労(N=2)は回答数が少ないため省略

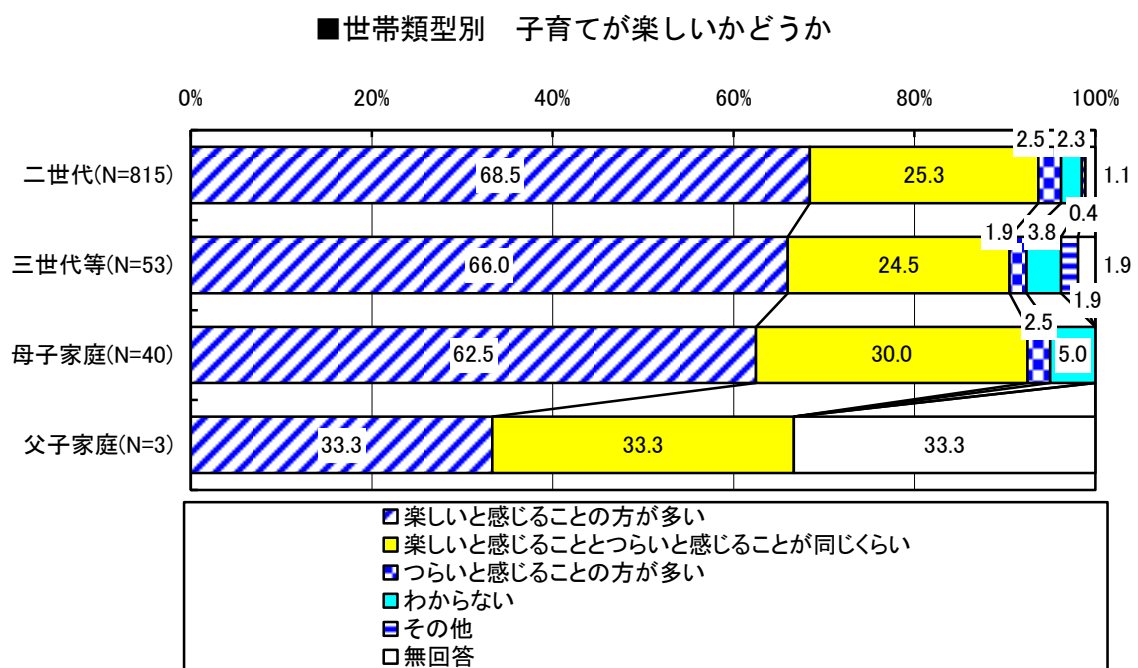
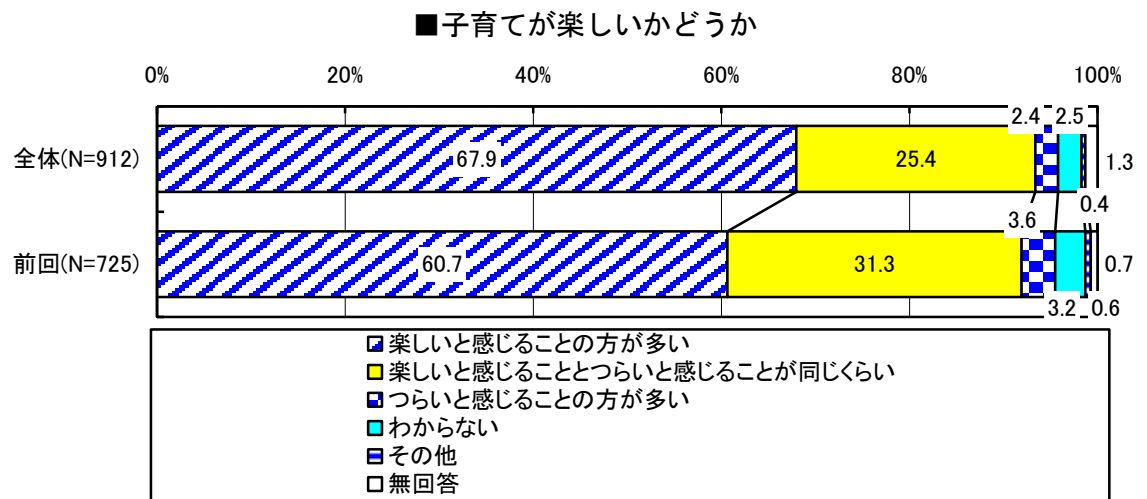
■中学校区別 近所で日常的に子どもの話等をする人の有無



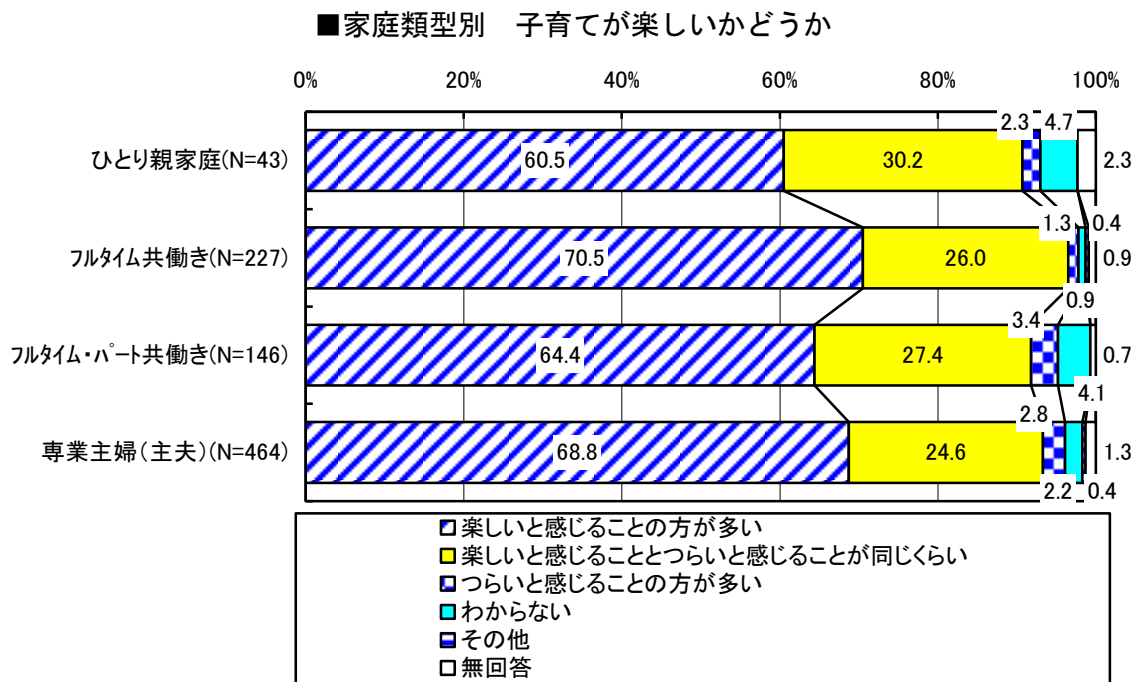
② 子育てが楽しいかどうか

問31 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 全体では、子育てが「楽しいと感じることの方が多い」は、67.9%でおよそ2/3となっています。「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」が25.4%、「つらいと感じることの方が多い」は2.4%で、前回調査に比べて「楽しいと感じることの方が多い」が7.2ポイント高く、一方、「楽しいと感じることと、つらいと感じることが同じくらい」や「つらいと感じることの方が多い」はそれぞれ5.9ポイント、1.2ポイント低下しています。
- 同居家族による世帯類型別では、「つらいと感じることの方が多い」は、二世帯、三世帯等、母子家庭で大差ありません。



- 親の就労状況による家庭類型別では、「つらいと感じることの方が多い」はフルタイム・パート等共働き家庭が3.4%、専業主婦（主夫）家庭が2.8%、ひとり親家庭が2.3%、フルタイム共働き家庭が1.3%で最も低くなっています。



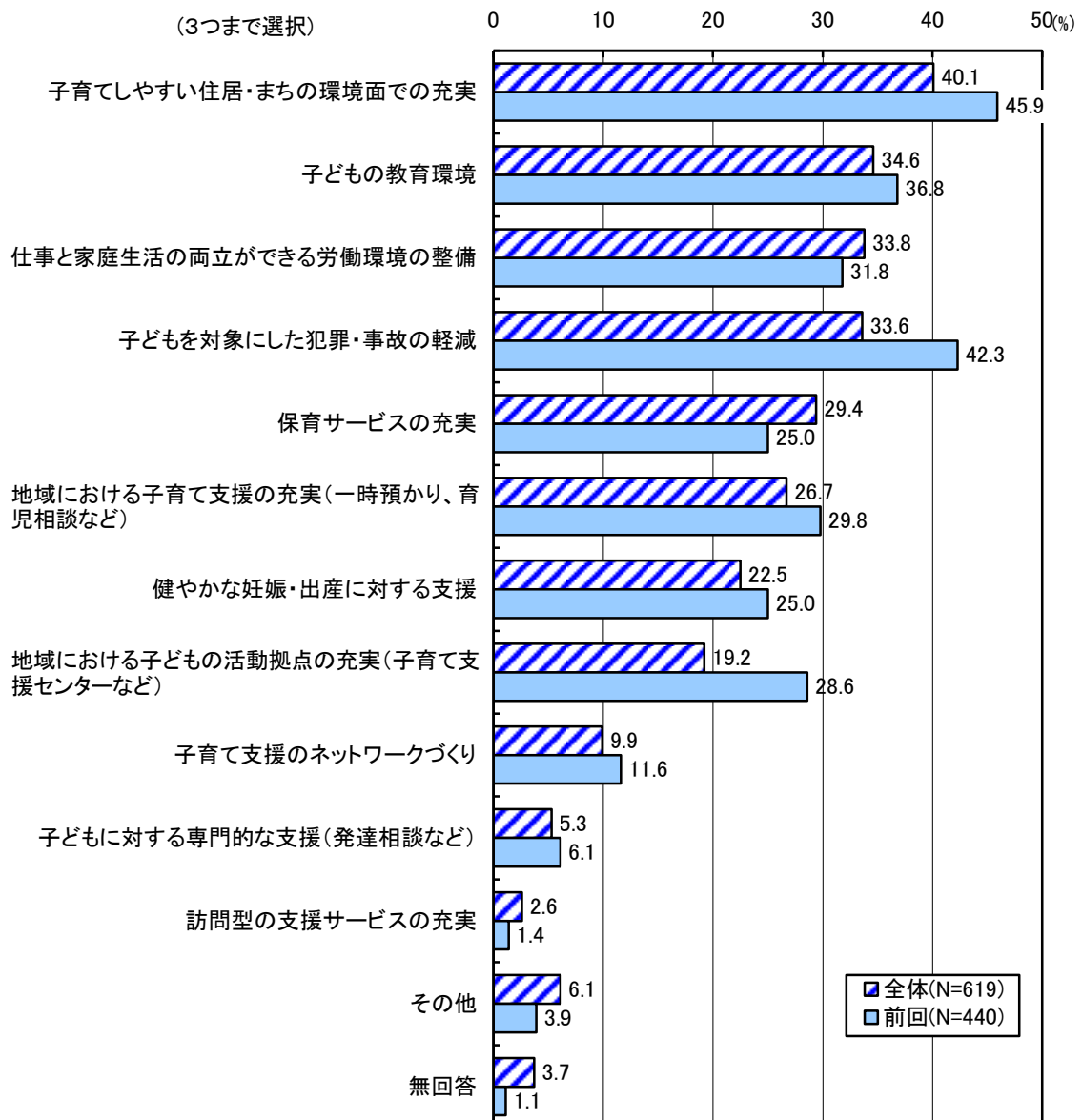
注) パート等共働き(N=1)、共に未就労(N=2)は回答数が少ないため省略

③ 子育て中に有効と感じる支援・対策

問31-1 問31で「1.」を選択した、子育てを楽しんでいる方におうかがいします。
子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 子育てを楽しんでいる人が、子育て中に有効と感じる支援・対策としては、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が40.1%で第1位、次いで「子どもの教育環境」(34.6%)、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」(33.8%)、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」(33.6%)、「保育サービスの充実」(29.4%)などと続きます。前回調査より「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」や「子どもの教育環境」「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」などは低下し、「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」や「保育サービスの充実」などは高くなっています。

■子育て中に有効と感じる支援・対策／前回調査との比較



- 同居家族による世帯類型別第1位は、二世帯及び三世帯等世帯では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」、母子世帯では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」となっています。また、母子世帯では「保育サービスの充実」や「子どもの教育環境」がそれぞれ40.0%で、他の世帯より高くなっています。
- 親の就労状況による家庭類型別の第1位は、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、フルタイム・パート等共働き家庭では「子どもの教育環境」、専業主婦（主夫）家庭では「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」となっています。

■世帯類型・家庭類型別 子育て中に有効と感じる支援・対策

		回答数	地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（子育て支援センターなど）	訪問型の支援サービスの充実	健やかな妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	子どもに対する専門的な支援（発達相談など）	その他	無回答
世帯類型	二世帯	558	27.8	29.0	10.0	19.7	2.9	21.0	34.8	40.5	33.3	33.3	5.4	5.9	3.8
	三世帯等	35	14.3	28.6	11.4	20.0	—	37.1	28.6	40.0	28.6	37.1	2.9	5.7	5.7
	母子世帯	25	16.0	40.0	4.0	8.0	—	36.0	40.0	28.0	52.0	36.0	4.0	12.0	—
家庭類型	ひとり親家庭	26	19.2	38.5	3.8	7.7	—	34.6	38.5	30.8	50.0	34.6	7.7	11.5	—
	フルタイム共働き	160	28.1	43.1	11.9	14.4	3.8	27.5	32.5	36.3	51.3	34.4	4.4	4.4	1.9
	フルタイム・パート等共働き	94	22.3	31.9	7.4	9.6	3.2	12.8	51.1	41.5	35.1	38.3	4.3	7.4	5.3
	専業主婦（主夫）	319	27.9	21.3	10.7	25.1	2.2	21.3	30.4	41.1	23.8	32.9	6.3	6.0	4.4

注) 網掛け **第1位** **第2位** **第3位**

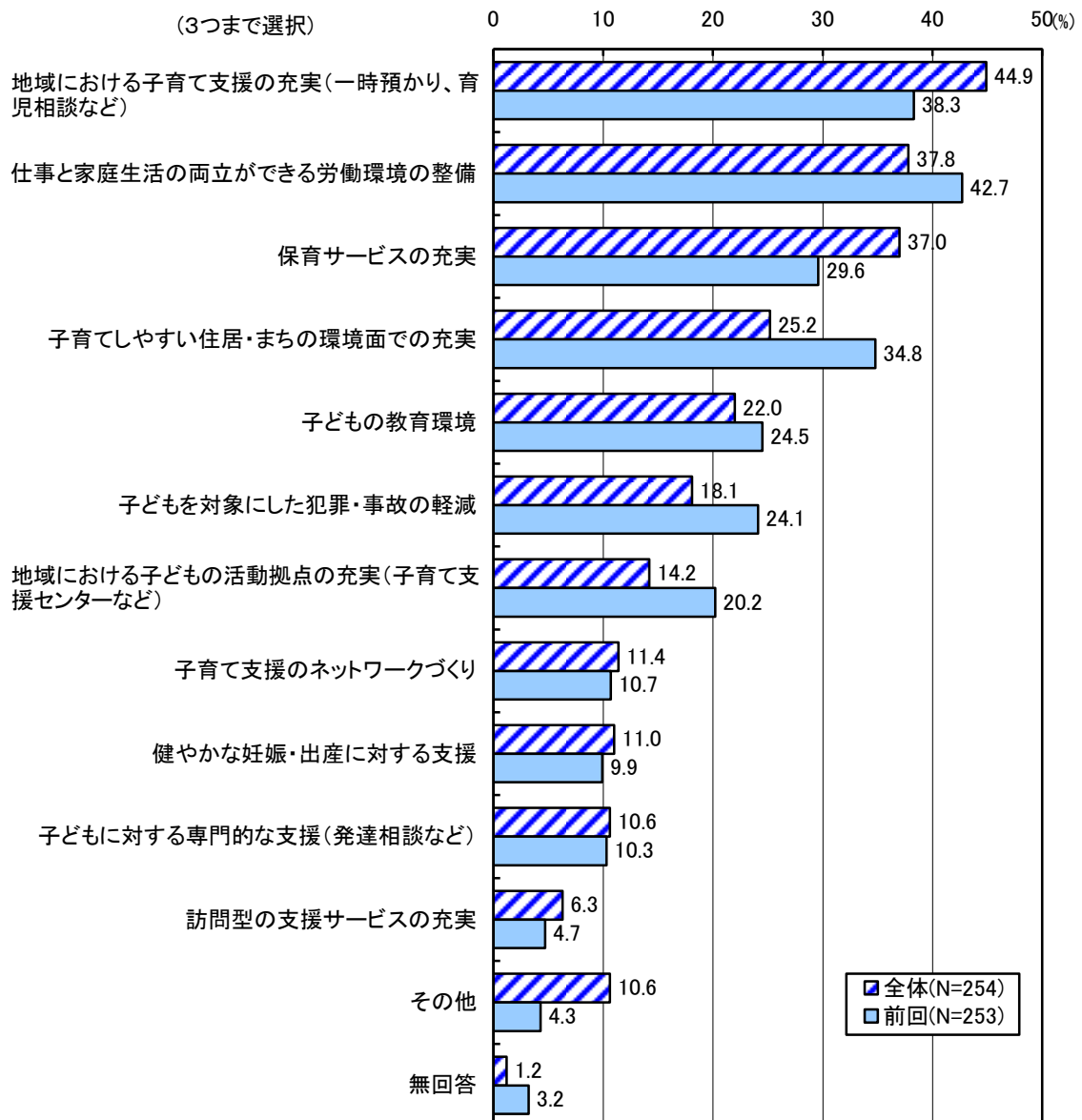
注) 父子家庭(N=3)、パート等共働き(N=1)、共に未就労(N=2)は回答数が少ないため省略

④ 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

問31-2 問31で「2.」「3.」を選択した方におうかがいします。あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

- 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策としては、「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」が44.9%で第1位、次いで「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」（37.8%）、「保育サービスの充実」（37.0%）などと続き、前回調査に比べて「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」や「保育サービスの充実」などは高くなっています。

■子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策／前回調査との比較



- 同居家族による世帯類型別の第1位は、二世帯世帯では「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」、三世帯等世帯では「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」、母子世帯では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」となっています。子育ては楽しいと感じている人の子育て中に有効と感じる支援・対策の第1位と、母子世帯は同じ項目が挙げられています。
- 親の就労状況による家庭類型別の第1位は、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭では「仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備」、フルタイム・パート等共働き世帯では「保育サービスの充実」、専業主婦（主夫）家庭では「地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）」となっています。子育ては楽しいと感じている人の子育て中に有効と感じる支援・対策の第1位と、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭では同じ項目が挙げられています。

■ 世帯類型・家庭類型別 子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策

		回答数	地域における子育て支援の充実（一時預かり、育児相談など）	保育サービスの充実	子育て支援のネットワークづくり	地域における子どもの活動拠点の充実（子育て支援センターなど）	訪問型の支援サービスの充実	健やかな妊娠・出産に対する支援	子どもの教育環境	子育てしやすい住居・まちの環境面での充実	仕事と家庭生活の両立ができる労働環境の整備	子どもを対象にした犯罪・事故の軽減	子どもに対する専門的な支援（発達相談など）	その他	無回答
世帯類型	二世帯	226	47.3	38.1	12.4	14.2	6.2	11.1	22.1	23.9	36.7	16.8	10.6	10.6	1.3
	三世帯等	14	28.6	42.9	7.1	7.1	14.3	21.4	28.6	28.6	21.4	42.9	21.4	7.1	—
	母子世帯	13	15.4	15.4	—	15.4	—	—	15.4	46.2	69.2	15.4	—	15.4	—
家庭類型	ひとり親家庭	14	14.3	14.3	—	21.4	—	—	14.3	42.9	71.4	14.3	—	14.3	—
	フルタイム共働き	62	35.5	46.8	6.5	6.5	11.3	17.7	22.6	30.6	54.8	11.3	11.3	9.7	—
	フルタイム・パート等共働き	45	33.3	42.2	11.1	8.9	—	8.9	31.1	22.2	40.0	31.1	8.9	13.3	—
	専業主婦（主夫）	127	57.5	33.1	15.7	18.9	7.1	8.7	18.9	21.3	25.2	16.5	11.8	10.2	2.4

注) 網掛け 第1位 第2位 第3位

注) パート等共働き(N=1)は該当なし、父子家庭(N=1)、共に未就労(N=1)は回答数が少ないため省略

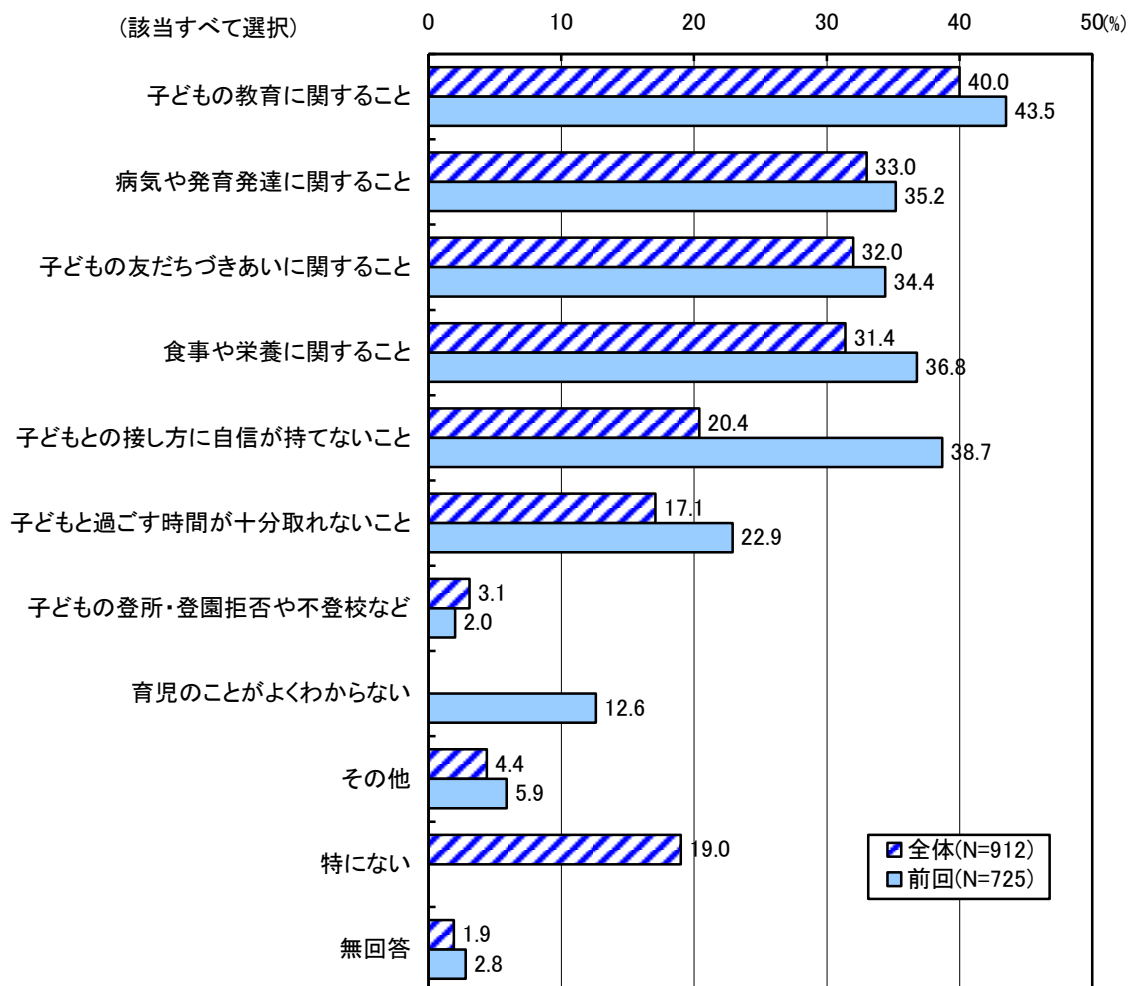
⑤ 子どもに関する悩みや気になること

問32 すべての方におうかがいします。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。あてはまる番号にすべてに○をつけてください。

(1) 子どもに関すること (2) ご自身に関すること

- 子どもに関する悩みや気になることは、「子どもの教育に関すること」が40.0%で第1位、次いで「病気や発育発達に関すること」(33.0%)、「子どもの友だちづきあいに関すること」(32.0%)、「食事や栄養に関すること」(31.4%)、「子どもとの接し方に自信が持てないこと」(20.4%)などと続きます。前回調査に比べて上位の項目はそれぞれ低下し、特に「子どもとの接し方に自信が持てないこと」は18.3ポイント低下しています。

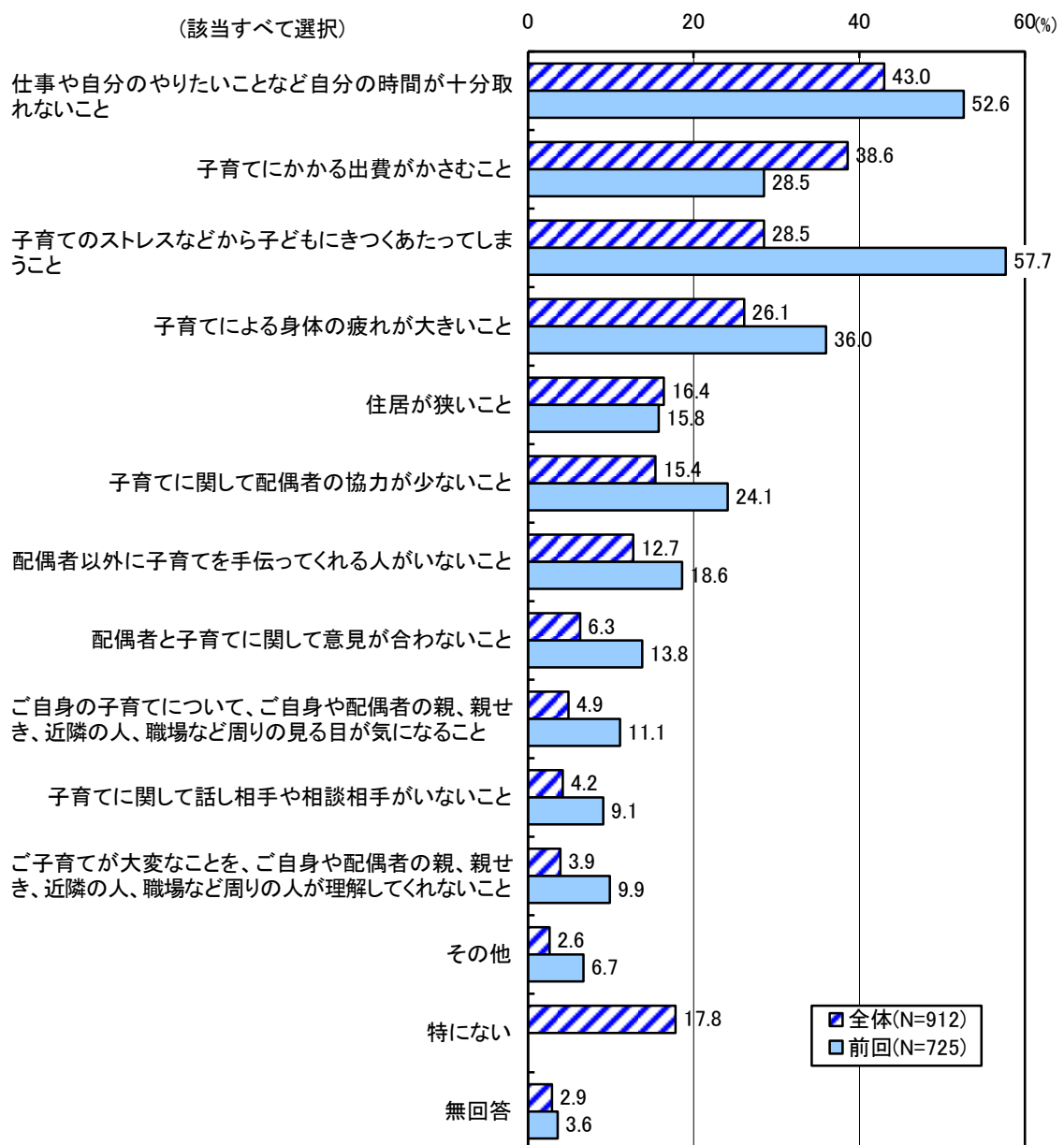
■ 子どもに関する悩みや気になること／前回調査との比較



⑥ 自身に関する悩みや気になること

- 自身に関する悩みや気になることは、「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」が43.0%で第1位、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」(38.6%)、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」(28.5%)、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」(26.1%)などと続きます。前回調査に比べて「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」や「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」などは大きく低下し、一方、「子育てにかかる出費がかさむこと」は高くなっています。

■自身に関する悩みや気になること／前回調査との比較

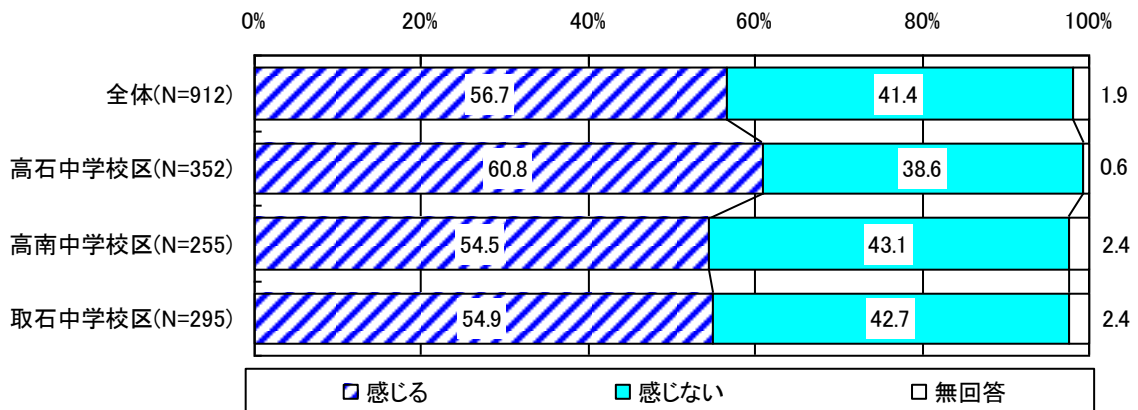


⑦ 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

問33 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- 子育てが地域の人に支えられていると「感じる」率は、全体では56.7%と半数を超えています。
- 中学校区別では、「感じる」率は高石中学校区が60.8%、取石中学校区が54.9%、高南中学校区が54.5%で、高石中学校区が若干高くなっています。

■中学校区別 子育てが地域の人に支えられていると感じるか

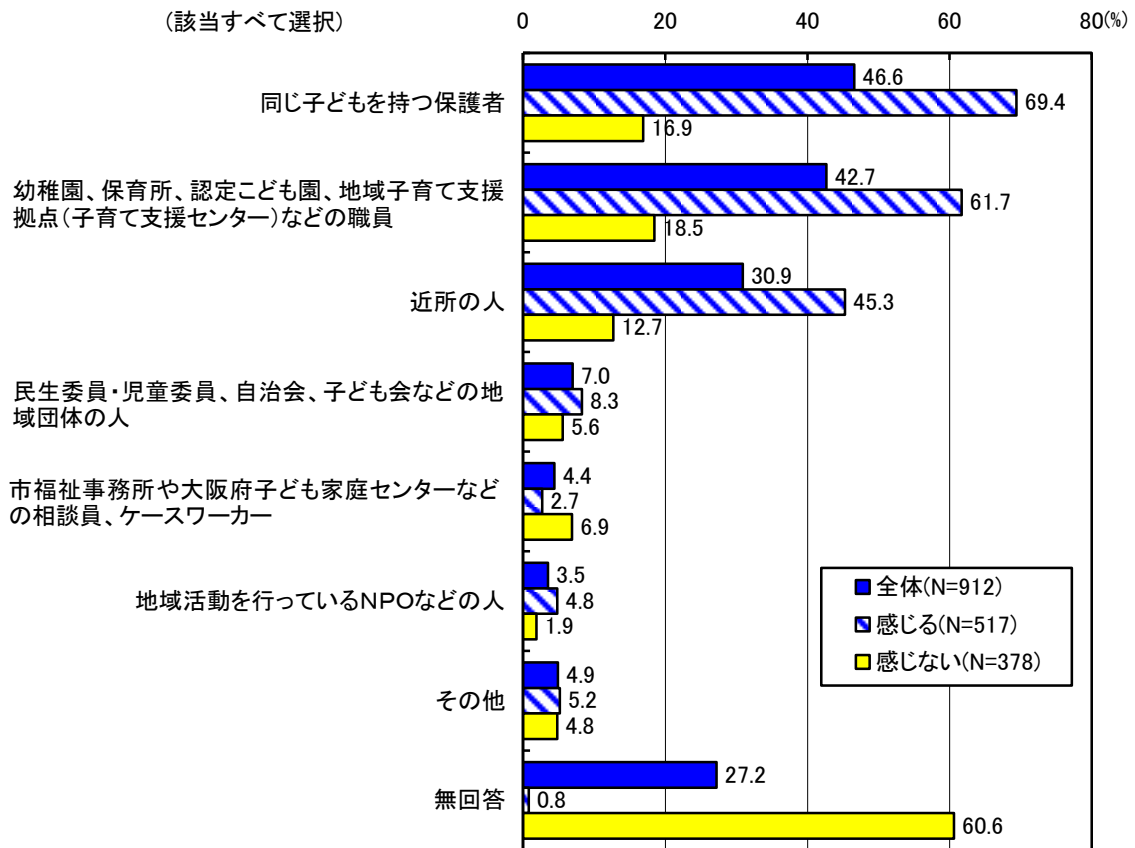


⑧ 特に誰から支えられ、誰に支えてほしいか

問33-1 感じる場合は、特に誰から支えられていると感じますか。感じない場合は、特に誰に支えてほしいと感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 感じる場合、特に誰から支えられてほしいか、また、感じない場合、誰に支えてほしいかでは、全体では「同じ世代の子どもを持つ保護者」が第1位で46.6%、次いで「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が42.7%、「近所の人」が30.9%などと続きます。
- 子育てが地域の人に支えられていると感じる人は、「同じ子どもを持つ保護者」が69.4%、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が61.7%、「近所の人」が45.3%と高く、一方、子育てが地域の人に支えられていると感じない人は、無回答が60.6%と高く、その中で支えてほしい人は、「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」が18.5%、「同じ子どもを持つ保護者」が16.9%、「近所の人」が12.7%などとなっています。
- 中学校区別では、「同じ世代の子どもを持つ保護者」や「幼稚園、保育所、認定こども園、地域子育て支援拠点などの職員」「近所の人」はともに高石中学校区が最も高くなっています。

■地域の人に支えられていると感じるかどうか別
特に誰から支えられ、誰に支えてほしいか



■中学校区別 特に誰から支えられ、誰に支えてほしいか

